令和５年度

総合美容専門課程　履修の手引き

高度総合美容学科

ハリウッド美容専門学校

目　次

Ⅰ　単位の認定と卒業　1

Ⅱ　開講科目　2

Ⅲ　実務経験のある教員等による授業科　4

Ⅳ　シラバス

関係法規・制度　7
衛生管理①　8
衛生管理②　9
衛生管理③　10
保健①　11
保健②　12
保健③　13
香粧品化学①　14
香粧品化学②　15
文化論①　16
文化論②　17
運営管理　18
美容技術理論①　19
美容技術理論②　20
美容技術理論③　21
コスメ総合Ⅰ①　22
コスメ総合Ⅰ②　23
コスメ総合Ⅰ③　24
コスメ総合Ⅱ①　25
コスメ総合Ⅱ②　26
薬用化粧品Ⅰ　27
薬用化粧品Ⅱ　28
ファッションⅠ　29
ファッションⅡ　30
カラー検定　31
ビジネス基礎Ⅰ　32
ビジネス基礎Ⅱ①　33
ビジネス基礎Ⅱ②　34
カット基礎　35
カットⅠ　36
カットⅡ　37
シャンプーⅠ　38
シャンプーⅡ　39
シャンプーⅢ　40
シャンプーⅣ　41
ヘッドスパⅠ　42
ヘッドスパⅡ　43
サロンブローⅠ　44
サロンブローⅡ　45
ワインディングⅠ①　46
ワインディングⅠ②　47
ワインディングⅠ③　48
ワインディングⅡ　49
オールウェーブ①　50
オールウェーブ②　51
パーマ&カラー　52
カラーⅠ　53
カラーⅡ　54
パーマⅠ　55
パーマⅡ　56
ヘアアレンジ　57
スタイリング基礎　58
スタイリング応用　59
アップスタイル　60
ヘア総合Ⅰ①　61
ヘア総合Ⅰ②　62
ヘア総合Ⅱ　63
まつエクⅠ　64
まつエクⅡ　65
スペシャリストⅠ　66
スペシャリストⅡ①　67
スペシャリストⅡ②　68
総合実習Ⅰ　69
総合実習Ⅱ①　70
総合実習Ⅱ②　71
総合実習Ⅱ③　72
総合実習Ⅱ④　73
メイクⅠ　74
メイクⅡ　75
メイクⅢ　76
応用メイクⅠ　77
応用メイクⅡ　78
応用メイクⅢ　79
エステⅠ　80
エステⅡ　81
エステⅢ　82
応用エステⅠ　83
応用エステⅡ　84
応用エステⅢ　85
ネイルⅠ　86
ネイルⅡ　87
ネイルⅢ　88
応用ネイルⅠ　89
応用ネイルⅡ　90
応用ネイルⅢ　91
和装着付基礎　92
和装着付Ⅰ　93
和装着付Ⅱ　94
接遇マナー　95
舞台製作Ⅰ　96
舞台製作Ⅱ　97
舞台製作Ⅲ　98
舞台製作Ⅳ　99
社会人基礎Ⅰ　##
社会人基礎Ⅱ　##
社会人基礎Ⅲ　##
社会人基礎Ⅳ　##

ハリウッド美容専門学校の三つのポリシー

本校の求める人材像は次の通りです。

1.入学者受入方針（アドミッションポリシー）

本校は、一流のトータルビューティシャンを目指す次のような人材の入学を期待しています。

1) 人が美しく輝くことに感動する感性と実践をする熱意を持つ人
2) トータルビューティの専門職業を天職にする強い信念を持つ人
3) 人を美しく幸福に導く美の天使をめざす職業に使命感を持つ人

2.教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）

本校は、ビューティの理論と実践が有機的に結合する産学協同による教育課程を編成しています。

1) 人が美しく輝くトータルビューティの美学６要素である、精神美・健康美・容姿美・服飾美・生活美・環境美を総合的に修得できるカリキュラムによって専門能力を育成します。

2) 美の専門職業人であるビューティシャンとしての潜在能力を育てる育学７要素である志育・美育・徳育・智育・体育・時育・財育の教育によって総合的に教養能力を育成します。

3) トータルビューティの専門職として必要な各種の免許、資格を修得するための、専門課程として美容専門科、トータルビューティ科、高度専門課程として高度専門科を設置しています。

3.称号授与方針（ディプロマポリシー）

本校は、以下のような能力を身につけ、且つ所定の単位を修得した学生に称号を授与します。

1) 美容専門科では、美容師免許の取得および、ヘア･メイク・ネイル・エステ・ファッションなどのトータルビューティの基礎を総合的に修得し、高度な専門資格を取した者に、専門士の称号を授与します。

2) トータルビューティ科では、メイク・ネイル・エステ・ヘアなどのトータルビューティの基礎を総合的に修得し、高度な専門資格を取得した者に、専門士の称号を授与します。

3) 高度専門科では、美容師免許の取得および、ヘア・メイク・ネイル・エステ・ファッションなどのトータルビューティの実践的で高度な専門資格を取得した者に、大学院進学資格となる高度専門士の称号を授与します。

Ⅰ　単位の認定と卒業

1. 単位の認定

① 授業出席時間による認定
教科ごとに学校の定める出席必要時間を満たしていること
出席必要時間 ┌ 講義科目は2/3以上
　　└ 実習科目は4/5以上
② 学科評価および技術評価による単位認定
学科・実技ともに100点満点中70点以上を得点すること
③ 授業態度による認定
授業に集中し他の人の迷惑にならないこと
④ 提出物による認定
宿題・レポート等の提出物を期限までに提出すること
⑤ 授業料等の支払いによる認定
授業料等支払いを要するものについて期限までに納入済みであること
以上の要件を満たさない場合は、留年または卒業延期となります。

2. 進級・卒業の要件

進級・卒業には定められた単位を修得しなければならない。(卒業に必要な単位数は114単位)

①出席状況
各科目に所定時間以上出席すること
※ 進級または卒業基準に満たない場合、学校の判断により、補習を実施することがある
②学科・実技の成績
学科・実技ともに所定以上の得点であること
※ 所定の科目に不合格の場合、追試を行う(有料)
③学校納入金
授業料、教材費等が期限までに納入されていること
④人物評価
授業態度を始め、学校生活におけるマナー・ルールを遵守すること

3. 成績評価の詳細

成績評価については、実習科目と講義科目で基準が異なるものの、出席状況を重視し、充分な出席を果たした者を対象として、定期試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)を総合した得点について、右記の通りの評価とする。

100～90点を	「5」
89～80点を	「4」
79～70点を	「3」
69～60点を	「2」
59点以下を	「1」

Ⅱ　開講科目

	1年								2年					
	ヘアコース	必修	選択	トータルコース	必修	選択	コスメコース	必修	選択	ヘアコース	必修	選択	トータルコース	必修	選択
講義	衛生管理①	1		衛生管理①	1		衛生管理①	1		関係法規・制度	1		関係法規・制度	1	
	保健①	1		保健①	1		保健①	1		衛生管理②	1		衛生管理②	1	
	保健②	1		保健②	1		保健②	1		衛生管理③	1		衛生管理③	1	
	香粧品化学①	1		香粧品化学①	1		香粧品化学①	1		保健③	1		保健③	1	
	文化論①	1		文化論①	1		文化論①	1		香粧品化学②	1		香粧品化学②	1	
										文化論②	1		文化論②	1	
										運営管理	1		運営管理	1	
	美容技術理論①	2		美容技術理論①	2		美容技術理論①	2		美容技術理論②	2		美容技術理論②	2	
							コスメ総合Ⅰ①	1		美容技術理論③	2		美容技術理論③	2	
							コスメ総合Ⅰ②	1							
							コスメ総合Ⅰ③	1							
小計		*7*	*0*		*7*	*0*		*10*	*0*		*11*	*0*		*11*	*0*
実習	シャンプーⅠ	1		シャンプーⅠ	1					シャンプーⅡ	2				
	ヘアアレンジ	1		ヘアアレンジ	1		ヘアアレンジ		1	カット基礎	1		カット基礎	1	
	ワインディングⅠ①	2		ワインディングⅠ①	1		ワインディングⅠ①		1	ワインディングⅡ	1		ワインディングⅡ	1	
	ワインディングⅠ②	2		ワインディング②	2					オールウェーブ①	1		オールウェーブ①	1	
	ワインディングⅠ③	1		ワインディングⅠ③	1					オールウェーブ②	1		オールウェーブ②	1	
	スタイリング基礎	1								パーマ＆カラー	1				
	メイクⅠ		1	メイクⅠ		1	メイクⅠ	1					メイクⅡ		1
				応用メイクⅠ		1	応用メイクⅠ	1							
	エステⅠ		1	エステⅠ		1	エステⅠ	1					エステⅡ		1
				応用エステⅠ		1	応用エステⅠ	1							
	ネイルⅠ		1	ネイルⅠ		1	ネイルⅠ	1					ネイルⅡ		1
							応用ネイルⅠ		1	総合実習Ⅱ①	2		総合実習Ⅱ①	2	
										総合実習Ⅱ②	2		総合実習Ⅱ②	2	
	和装着付基礎		1	和装着付基礎		1	和装着付基礎		1	総合実習Ⅱ③	2		総合実習Ⅱ③	2	
	総合実習Ⅰ	2		総合実習Ⅰ	2		総合実習Ⅰ		2	総合実習Ⅱ④	2		総合実習Ⅱ④	2	
	インターンシップⅠ		5	インターンシップⅠ		5	インターンシップⅠ		5	インターンシップⅡ		3	インターンシップⅡ		3
小計		*10*	*9*		*8*	*11*		*5*	*11*		*15*	*3*		*12*	*6*
演習	舞台制作Ⅰ		5	舞台制作Ⅰ		5	舞台制作Ⅰ		5	舞台制作Ⅱ		1	舞台制作Ⅱ		1
	社会人基礎Ⅰ		3	社会人基礎Ⅰ		3	社会人基礎Ⅰ		3	社会人基礎Ⅱ		3	社会人基礎Ⅱ		3
	接遇マナー		1	接遇マナー		1	接遇マナー		1						
							作品制作Ⅰ	1							
小計		*0*	*9*		*0*	*9*		*1*	*9*		*0*	*4*		*0*	*4*
総計		*17*	*18*		*15*	*20*		*16*	*20*		*26*	*7*		*23*	*10*
		35			*35*			*36*			*33*			*33*	

2年			3年						4年					
コスメコース	必修	選択	ヘアコース	必修	選択	コスメコース	必修	選択	ヘアコース	必修	選択	コスメコース	必修	選択
関係法規・制度	1													
衛生管理②	1													
衛生管理③	1													
保健③	1													
香粧品化学②	1					薬用化粧品Ⅰ		1				薬用化粧品Ⅱ		1
文化論②	1					ファッション・デザインⅠ		1				ファッション・デザインⅠ		1
運営管理	1													
美容技術理論②	2													
美容技術理論③	2													
コスメ総合Ⅱ①	1		ビジネス基礎Ⅰ		1	ビジネス基礎Ⅰ		1	ビジネス基礎Ⅱ①		1	ビジネス基礎Ⅱ①		1
コスメ総合Ⅱ②	1								ビジネス基礎Ⅱ②		1	ビジネス基礎Ⅱ②		1
	13	*0*		*0*	*1*		*0*	*3*		*0*	*2*		*0*	*4*
			シャンプーⅢ		2				シャンプーⅣ		1			
			カットⅠ		1				カットⅡ		1			
			ヘッドスパⅠ		1				ヘッドスパⅡ		1			
			サロンブローⅠ		1				サロンブローⅡ		1			
			カラーⅠ		1				カラーⅡ		1			
			パーマⅠ		1				パーマⅡ		1			
※（ ）はエステ・			スタイリング応用		1				アップスタイル		2			
ネイルのどちらか			ヘア総合Ⅰ①		2				ヘア総合Ⅱ		2			
を選択			ヘア総合Ⅰ②		2									
			まつエクⅠ		1				まつエクⅡ		1			
メイクⅡ	1													
メイクⅢ	1					メイクⅢ		2				メイクⅢ		2
応用メイクⅡ	1					応用メイクⅡ		2						
応用メイクⅢ	1					応用メイクⅢ		2				応用メイクⅢ		2
エステⅡ	1													
エステⅢ	(1)					エステⅢ		2				エステⅢ		2
応用エステⅡ	(1)					応用エステⅡ		2						
応用エステⅢ	(1)					応用エステⅢ		2				応用エステⅢ		2
ネイルⅡ	1													
ネイルⅢ	(1)					ネイルⅢ		2				ネイルⅢ		2
応用ネイルⅡ	(1)					応用ネイルⅡ		2						
応用ネイルⅢ	(1)					応用ネイルⅢ		2	スペシャリストⅡ①		2	応用ネイルⅢ		2
			スペシャリストⅠ		2				スペシャリストⅡ②		2			
総合実習Ⅱ①	2		和装着付Ⅰ		1	和装着付Ⅰ		1	和装着付Ⅱ		1	和装着付Ⅱ		1
									サロンワーク		5	サロンワーク		5
インターンシップⅡ		3	インターンシップⅢ		5	インターンシップⅢ		5	インターンシップⅣ		5	インターンシップⅣ		5
	11	*3*		*0*	*21*		*0*	*24*		*0*	*26*		*0*	*23*
舞台制作Ⅱ		1	舞台制作Ⅲ		5	舞台制作Ⅲ		5	舞台制作Ⅳ		5	舞台制作Ⅳ		5
社会人基礎Ⅱ		3	社会人基礎Ⅲ		3	社会人基礎Ⅲ		3	社会人基礎Ⅳ		3	社会人基礎Ⅳ		3
									修了レポート		3	修了レポート		3
作品制作Ⅱ		1	作品制作Ⅲ		1	作品制作Ⅲ		1	作品制作Ⅳ		1	作品制作Ⅳ		1
	0	*5*		*0*	*9*		*0*	*9*		*0*	*12*		*0*	*12*
	24	*8*		*0*	*31*		*0*	*36*		*0*	*40*		*0*	*39*
	32			*31*			*36*			*40*			*39*	

Ⅲ(1) 実務経験のある教員等による授業科目(高度総合美容学科1・2年)

科目区分	授業科目	開講学年	開講コース	担当者(代表)	単位数	うち実務教員による授業	単位数	うちシラバス添付	備考
講義	関係法規・制度	2	全	西村	1				
	衛生管理①	1	全	森部	1	○	1		
	衛生管理②	2	全	佐々木	1	○	1		
	衛生管理③	2	全	佐々木	1	○	1		
	保健①	1	全	川本	1	○	1	○	
	保健②	1	全	石渡	1	○	1	○	
	保健③	2	全	新田	1	○	1	○	
	香粧品化学①	1	全	篠崎	1	○	1		
	香粧品化学②	2	全	品田	1	○	1		
	文化論①	1	全	浦山	1	○	1		
	文化論②	2	全	松本	1	○	1		
	運営管理	2	全	小川	1				
	美容技術理論①	1	全	岩田	2	○	2		
	美容技術理論②	2	全	杉本	2	○	2		
	美容技術理論③	2	全	釣谷	2	○	2		
	コスメ総合Ⅰ①	1	コスメ	光江	1	○	1		
	コスメ総合Ⅰ②	1	コスメ	瀧野	1	○	1		
	コスメ総合Ⅰ③	1	コスメ	南部	1	○	1		
	コスメ総合Ⅱ①	2	コスメ	光江	1	○	1		
	コスメ総合Ⅱ②	2	コスメ	瀧野	1	○	1		
実習	シャンプーⅠ	1	ヘア・トータル	岩田	1	○	1		
	シャンプーⅡ	2	ヘア	飯島	2	○	2		
	カット基礎	2	ヘア	釣谷	1	○	1		
	ワインディングⅠ①	1	ヘア・トータル	神田	2	○	2		
	ワインディングⅠ②	2	ヘア・トータル	神田	2	○	2		
	ワインディングⅠ③	3	ヘア・トータル	神田	1	○	1		
	ワインディングⅡ	2	ヘア	石橋	2	○	2		
	オールウェーブ①	2	ヘア	飯島	1	○	1		
	オールウェーブ②	2	ヘア	飯島	1	○	1		
	パーマ&カラー	2	ヘア	石橋	1	○	1		
	スタイリング基礎	1	ヘア	楢木	1	○	1		
	ヘアアレンジ	1	全	楢木	2	○	2		

科目区分	授業科目	開講学年	開講コース	担当者(代表)	単位数	うち実務教員による授業	単位数	うちシラバス添付	備考
実習	メイクⅠ	1	全	杉本	1	○	1		
	メイクⅡ	2	コスメ	曺	1	○	1		
	メイクⅢ	2	コスメ	津久間	2	○	2	○	
	応用メイクⅠ	1	トータル・コスメ	津久間	1	○	1		
	応用メイクⅡ	2	コスメ	津久間	2	○	2		
	応用メイクⅢ	2	コスメ	津久間	2	○	2		
	エステⅠ	1	全	小澤	1	○	1		
	エステⅡ	2	コスメ	半藤	1	○	1		
	エステⅢ	2	コスメ	中務	2	○	2	○	
	応用エステⅠ	1	トータル・コスメ	半藤	1	○	1		
	応用エステⅡ	2	コスメ	中務	2	○	2		
	応用エステⅢ	2	コスメ	半藤	2	○	2		
	ネイルⅠ	1	全	岡崎	1	○	1		
	ネイルⅡ	2	コスメ	岡崎	1	○	1		
	ネイルⅢ	2	コスメ	岡崎	2	○	2	○	
	応用ネイルⅠ	1	コスメ	曺	1	○	1		
	応用ネイルⅡ	2	コスメ	岡崎	2	○	2		
	応用ネイルⅢ	2	コスメ	岡崎	2	○	2		
	総合実習Ⅰ	1	全	杉本	2	○	2		
	総合実習Ⅱ①	2	全	釣谷	2	○	2		
	総合実習Ⅱ②	2	ヘア	釣谷	2	○	2		
	総合実習Ⅱ③	2	ヘア	釣谷	2	○	2		
	総合実習Ⅱ④	2	ヘア	釣谷	2	○	2		
	和装着付基礎	1	全	藤原	1	○	1		
	インターンシップⅠ	1	全	橋田	5	○	5		
	インターンシップⅡ	2	全	橋田	3	○	3		
演習	舞台製作Ⅰ	1	全	牛山	5	○	5		
	舞台製作Ⅱ	2	全	牛山	5	○	5		
	社会人基礎Ⅰ	1	全	佐藤	3				
	社会人基礎Ⅱ	2	全	佐藤	3				
	接遇マナー	1	ヘア・トータル	真野	1	○	1		
	作品制作Ⅰ	1	コスメ	神田	1	○	1		
	作品制作Ⅱ	2	コスメ	釣谷	1	○	1		
総授業単位数					105		97		

Ⅲ(2) 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表(高度総合美容学科3・4年)

科目区分	授業科目	開講学年	開講コース	担当者(代表)	単位数	うち実務教員による授業	単位数	うちシラバス添付	備考
講義	薬用化粧品Ⅰ	3	コスメ	越後	2	○	2		
	薬用化粧品Ⅱ	4	コスメ	加瀬	1	○	1		
	ファッション・デザインⅠ	3	コスメ	青木	1	○	1		
	ファッション・デザインⅡ	4	コスメ	青木	1	○	1		
	カラー検定	4	コスメ	堀川	1	○	1		
	ビジネス基礎Ⅰ	3	両	渡邊	1	○	1		
	ビジネス基礎Ⅱ①	4	両	江島	1	○	1		
	ビジネス基礎Ⅱ②	4	両	藤原	1	○	1		
実習	ヘッドスパⅠ	3	ヘアメイク	井尻	1	○	1		
	ヘッドスパⅡ	4	ヘアメイク	井尻	1	○	1		
	シャンプーⅢ	3	ヘアメイク	井尻	1	○	1		
	シャンプーⅣ	4	ヘアメイク	井尻	1	○	1		
	カットⅠ	3	ヘアメイク	内野	1	○	1		
	カットⅡ	4	ヘアメイク	松本	1	○	1		
	パーマⅠ	3	ヘアメイク	佐藤	1	○	1	○	
	パーマⅡ	4	ヘアメイク	佐藤	1	○	1	○	
	カラーⅠ	3	ヘアメイク	吉沢	1	○	1		
	カラーⅡ	4	ヘアメイク	吉沢	1	○	1		
	サロンブローⅠ	3	ヘアメイク	渡邊	1	○	1		
	サロンブローⅡ	4	ヘアメイク	渡邊	1	○	1		
	スタイリング応用	3	両	尾崎	1	○	1		
	アップスタイル	4	両	正宗	2	○	2		
	ヘア総合Ⅰ①	3	ヘア	渡邊	2	○	2		
	ヘア総合Ⅰ②	3	ヘア	渡邊	2	○	2		
	ヘア総合Ⅱ	4	ヘア	渡邊	2	○	2		
	まつエクⅠ	3	ヘア	枝折	1	○	1		
	まつエクⅡ	4	ヘア	枝折	1	○	1		
	スペシャリストⅠ	3	ヘア	中務	2	○	2		
	スペシャリストⅡ①	4	ヘア	中務	2	○	2		
	スペシャリストⅡ②	4	ヘア	中務	2	○	2		
	和装着付Ⅰ	3	両	石橋	1	○	1		
	和装着付Ⅱ	4	両	藤原	1	○	1		
	サロンワーク	4	両	橋田	5	○	5		
	インターンシップⅢ	3	両	橋田	5	○	5		
	インターンシップⅣ	4	両	橋田	5	○	5		
演習	舞台製作Ⅲ	3	両	牛山	5	○	5		
	舞台製作Ⅳ	4	両	牛山	5	○	5		
	社会人基礎Ⅲ	3	両	佐藤	3				
	社会人基礎Ⅳ	4	両	佐藤	3				
	作品制作Ⅲ	3	両	岩田	1	○	1		
	作品制作Ⅳ	4	両	藤原	1	○	1		
	修了レポート	4	両	渡邊	1	○	1		
1～4年総授業単位数					179		165		
卒業に必要な単位数					124				

総合美容専門課程	科目名	関係法規・制度	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年前期
高度総合美容学科	講座名	関係法規・制度	担当者	西村 好恵	履修区分	必修

授業の概要と方法

美容師法を中心に、美容の業務にかかわる法令や制度を学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

国家資格である美容師という職業の社会的責任を学び、自覚を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	法制度の概要 衛生行政の概要
第 2回	衛生行政を担う行政機関 美容師法の目的・用語の定義
第 3回	美容師に関する規定・養成施設の入所資格・養成施設・試験 免許と登録
第 4回	まとめ 演習問題
第 5回	美容師の義務・業務停止、免許取り消し及び再免許 管理美容師
第 6回	美容所の開設 美容所の開設者が講ずべき衛生措置
第 7回	美容所以外での業務 立入検査と環境衛生監視員
第 8回	まとめ 演習問題
第 9回	違反者に対する行政処分
第10回	不利益処を行う場合の手続き 違法または不当な処分についての審査請求または異議申し立て
第11回	罰則について 美容師法の罰則
第12回	まとめ 演習問題
第13回	関係法規のさまざま
第14回	関係法規の要約
第15回	演習問題 まとめ
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「関係法規・制度」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

西村好恵は、法学(行政学・地方自治学)の修士課程を修了し、専門知識を活かして
美容業に関連する法規・保険についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	衛生管理	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年
高度総合美容学科	講座名	衛生管理①(公衆衛生)	担当者	森部 肖子	履修区分	必修

授業の概要と方法

公衆衛生全般、特に、感染症、環境衛生等の知識や、日常の業務に不可欠な消毒の意義、目的および実際の消毒方法について学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

日常の業務に欠かせない消毒の目的や方法を学ぶとともに、衛生的な店舗の運営に必要な感染症、環境衛生等に関する知識を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	公衆衛生の意義と課題 公衆衛生発展の歴史・欧米の公衆衛生の歩み
第 2回	公衆衛生発展の歴史・わが国の公衆衛生の歩み 公衆衛生の具体的な課題と領域・死亡率・乳児死亡率・平均寿命の延び
第 3回	美容師と公衆衛生 保健所と美容業
第 4回	まとめ 演習問題
第 5回	予防衛生の意義と予防医学 疫病の重要性と予防衛生の推進
第 6回	母子保健、成人保健 老人保健、精神保健
第 7回	栄養と食物
第 8回	まとめ 演習問題
第 9回	環境衛生のあらまし(内容・目的と意義・環境衛生活動) 空気と健康
第10回	温度・湿度・風と健康、水と健康 日光と健康、気候と健康
第11回	衣食住と健康(衣服の衛生、食品の衛生、住居の衛生)
第12回	まとめ 演習問題
第13回	公害と環境保全(大気汚染、水質汚濁、その他の公害)
第14回	上下水道、廃棄物、衛生害虫とねずみ 理容所・美容所の環境衛生(理容所・美容所の衛生管理、衛生的取り扱い)
第15回	まとめ 演習問題
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「衛生管理」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

森部肖子は、歯科医としての23年間にわたる経験があり、医療・保健衛生の実務者として、美容業に不可欠な衛生管理についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	衛生管理	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年前期
高度総合美容学科	講座名	衛生管理②(消毒法)	担当者	佐々木 健	履修区分	必修

授業の概要と方法

公衆衛生全般、特に、感染症、環境衛生等の知識や、日常の業務に不可欠な消毒の意義、目的および実際の消毒方法について学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

日常の業務に欠かせない消毒の目的や方法を学ぶとともに、衛生的な店舗の運営に必要な感染症、環境衛生等に関する知識を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	消毒とは・・・ 1.病原微生物と非病原微生物 2.消毒の原理
第 2回	消毒の意義・・・ 1.汚染、感染、発病と消毒の意義 2.殺菌、消毒、滅菌、防腐の定義
第 3回	美容の業務と消毒との関係・・・ 1.消毒に関連のある法の規定 2.消毒を怠った場合の危険と美容師の責任
第 4回	まとめ 演習問題
第 5回	消毒法と適用上の注意・・・ 1.消毒の法の種類2.必要条件3.病原微生物の抵抗力 4.消毒薬の使用、保存上の注意
第 6回	理学的消毒法・・・ 1.紫外線 2.煮沸
第 7回	理学的消毒法・・・ 3.蒸気、大気圧下の蒸気 4.その他の理学的消毒法
第 8回	まとめ 演習問題
第 9回	化学的消毒法・・・ 1.アルコール類、塩素剤(次亜塩素酸ナトリウム) 2.界面活性剤(逆性石けん・両性界面活性剤)
第10回	3.グルコン酸クロルヘキシジン 4.その他の消毒薬
第11回	まとめ 演習問題
第12回	消毒薬希釈法
第13回	美容所の消毒の実際(美容所における消毒の原則・美容所の消毒設備) 美容器具類の消毒法(布片などの用具を含む)消毒法の選び方・消毒の際の注意点
第14回	消毒の実習 理容所・美容所の消毒の現状
第15回	まとめ 演習問題
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「衛生管理」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

佐々木健は、調剤薬局に勤務する傍ら全国薬剤師在宅支援連絡会でも活動し、薬剤師としての観点から、美容業に不可欠な衛生管理についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	衛生管理	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年後期
高度総合美容学科	講座名	衛生管理③(感染症)	担当者	佐々木 健	履修区分	必修

授業の概要と方法

公衆衛生全般、特に、感染症、環境衛生等の知識や、日常の業務に不可欠な消毒の意義、目的および実際の消毒方法について学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

日常の業務に欠かせない消毒の目的や方法を学ぶとともに、衛生的な店舗の運営に必要な感染症、環境衛生等に関する知識を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	人と感染症… 感染症と人間の社会生活、人と感染症との闘い、感染症の種類
第 2回	病原微生物… 微生物の種類、微生物の形と大きさ、微生物の構造
第 3回	病原微生物… 微生物の生活現象、微生物の増殖と環境の影響
第 4回	まとめ 演習問題
第 5回	感染症の予防… 微生物の病原性と人体の感受性、汚染・感染および発病、常在細菌叢
第 6回	感染症の予防… 免疫と予防接種
第 7回	感染症の予防… 感染症発生の要因
第 8回	まとめ 演習問題
第 9回	感染症の予防… 感染症予防の3原則
第10回	美容と感染症… 一類感染症、二類感染症、三類感染症
第11回	美容と感染症… 四類感染症・五類感染症
第12回	まとめ 演習問題
第13回	美容と感染症… 新型インフルエンザ等感染症
第14回	美容と感染症… 予防接種法で規定されている感染症
第15回	まとめ 演習問題
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「衛生管理」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

佐々木健は、調剤薬局に勤務する傍ら全国薬剤師在宅支援連絡会でも活動し、薬剤師としての観点から、美容業に不可欠な衛生管理についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	保健	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年前期
高度総合美容学科	講座名	保健①(人体①)	担当者	川本 義規	履修区分	必修

授業の概要と方法

人体の構造・機能について学び、皮膚・毛髪などを生物科学的に理解する。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

美容の施術をするために不可欠な、皮膚・毛髪などに関する生物科学的知識を習得する。

授業の内容・計画

第 1回	概要説明	1.人体の各部の名称 2.頭部、顔部、頚部の体表解剖学
第 2回	骨格系	1.骨の種類と構造　2.骨の連結 3.骨格器系とそのはたらき
第 3回	骨格系	4.骨の保健 5.まとめ・演習問題
第 4回	筋系	1.筋の種類と構造　2.主な骨格筋とその働き 3.顔面筋とその働き　4.理容・美容の作業と筋疲労
第 5回	筋系	5.筋系の保健 6.まとめ・演習問題
第 6回	神経系	1.神経系の成り立ち 2.中枢神経とその働き
第 7回	神経系	3.末梢神経とその働き 4.まとめ・演習問題
第 8回	感覚器系	1.視角　2.聴覚　3.平衡感覚 4.味覚　5.嗅覚
第 9回	感覚器系	6.皮膚感覚　7.深部感覚と内臓感覚 8.まとめ・演習問題
第10回	循環器系	1.血液循環の仕組み　2.血液の循環経路 3.心臓と血管のはたらき　4.リンパ管系の仕組みとはたらき
第11回	循環器系	5.循環器系の保健 6.まとめ・演習問題
第12回	呼吸器系	1.呼吸器系のあらまし　2.気道 3.肺の仕組みとガス交換
第13回	呼吸器系	4.呼吸運動 5.まとめ・演習問題
第14回	消化器系	1.消化器系のあらまし　2.消化管の仕組み 3.消化管のはたらき　4.消化腺とその働き
第15回	消化器系	5.消化と物質代謝　6.消化器系の保健 7.まとめ・演習問題
第16回	期末試験	

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「保健」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

川本義規は、歯科医としての25年間にわたる経験があり、医療・保健衛生の実務者として、美容業に不可欠な保健についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	保健	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年後期
高度総合美容学科	講座名	保健②(人体②)	担当者	石渡由紀子	履修区分	必修

授業の概要と方法

人体の構造・機能について学び、皮膚・毛髪などを生物科学的に理解する。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

美容の施術をするために不可欠な、皮膚・毛髪などに関する生物科学的知識を習得する。

授業の内容・計画

第 1回	泌尿器系	泌尿器系の仕組み・尿の生成 泌尿器系の保健
第 2回	内分泌器系	人体とホルモン・下垂体(脳下垂体) 甲状腺と上皮小体・膵臓、副腎・精巣と卵巣
第 3回	内分泌器系	副腎・精巣と卵巣 内分泌器系の調節機構・ストレス、保健
第 4回	環境と生体 環境と生体	(生理的適応免疫的適応) (免疫的適応)
第 5回	人体の構造と機能	― 細胞と体液 ― 骨格系
第 6回	人体の構造と機能	― 筋系 ― 神経系
第 7回	人体の構造と機能	― 感覚器系 ― 循環器系
第 8回	人体の構造と機能	― 呼吸器系 ― 消化器系
第 9回	人体の構造と機能	― 泌尿器系 ― 内分泌系
第10回	まとめ 演習問題	
第11回	人体の構造と機能	― 皮膚の構造
第12回	人体の構造と機能	― 皮膚の付属器官の生理機能
第13回	人体の構造と機能	― 皮膚の付属器官の保健
第14回	人体の構造と機能	― 保護と手入れ(皮膚・毛・爪) ― 皮膚疾患
第15回	まとめ 演習問題	
第16回	期末試験	

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「保健」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

石渡友紀子は、薬剤師としての20年間にわたる経験があり、保健衛生の実務者として、美容業に不可欠な保健についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	保健	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年
高度総合美容学科	講座名	保健③(皮膚)	担当者	新田　恵子	履修区分	必修

授業の概要と方法

人体の構造・機能について学び、皮膚・毛髪などを生物科学的に理解する。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

美容の施術をするために不可欠な、皮膚・毛髪などに関する生物科学的知識を習得する。

授業の内容・計画

第 1回	皮膚の構造(表皮・真皮・皮下組織) 皮膚の部位並びに人種差
第 2回	皮膚付属器官(毛の構造、成長周期・立毛筋・脂腺・汗腺・爪)
第 3回	皮膚の循環器系と神経系
第 4回	前回までの復習、確認 演習問題
第 5回	皮膚の生理機能(対外保護作用・体温調節作用・知覚作用)
第 6回	皮膚の保健(皮膚と全身状態・精神・栄養・嗜好品) 皮膚と内臓(体内病変)
第 7回	皮膚の保健(水分と脂の状態・乾皮・脂性の肌・皮膚とホルモンの関係)
第 8回	前回までの復習、確認 演習問題
第 9回	皮膚の保健(水分と脂の状態・乾皮・脂性の肌・皮膚とホルモンの関係)
第10回	皮膚の保護とお手入れ(紫外線・PH) 毛の保護とお手入れ
第11回	皮膚疾患(発疹の種類・皮膚炎の種類)
第12回	前回までの復習、確認 演習問題
第13回	皮膚疾患(寒冷・温熱による疾患・色素異常・分泌異常)
第14回	皮膚疾患(化膿菌・ウイルス等による疾患・真菌・腫瘍)
第15回	前回までの復習、確認 演習問題
第16回	前回までの復習、確認 演習問題

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「保健」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

新田恵子は、薬剤師としての7年間にわたる経験があり、保健衛生の実務者として、美容業に不可欠な保健についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	香粧品化学	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年
高度総合美容学科	講座名	香粧品化学①	担当者	篠崎　功	履修区分	必修

授業の概要と方法

美容の施術の際に使用する香粧品（化粧品、ヘアケア剤、香水など）を正しく取り扱うために、必要な知識を学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

美容の施術の際に必要となる、香粧品（化粧品、ヘアケア剤、香水など）を正しく取り扱うための知識を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	香粧品の社会的意義と品質特性、香粧品の規制
第 2回	香粧品の安定性と取り扱い上の注意、香粧品と安全性
第 3回	香粧品の対象となる人体各部の性状、水性原料
第 4回	油性原料、界面活性剤
第 5回	高分子化合物、色材
第 6回	香料、その他の配合成分、ネイル、まつ毛エクステンション用材料
第 7回	皮膚清浄用香粧品、化粧水
第 8回	クリーム、乳液、その他の基礎香粧品
第 9回	メイクアップ用香粧品
第10回	シャンプー剤、スタイリング剤
第11回	パーマ剤
第12回	ヘアカラー製品
第13回	育毛剤
第14回	芳香製品
第15回	特殊香粧品
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「香粧品化学」（日本理容美容教育センター）

担当者プロフィール

篠崎功は、化粧品会社勤を経て美容セミナーを主宰するなど、化粧品開発の実務者として、美容業に不可欠な香粧品化学についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	香粧品化学	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年
高度総合美容学科	講座名	香粧品化学②	担当者	品田 謙一	履修区分	必修

授業の概要と方法

美容の施術の際に使用する香粧品（化粧品、ヘアケア剤、香水など）を正しく取り扱うために、必要な知識を学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

美容の施術の際に必要となる、香粧品（化粧品、ヘアケア剤、香水など）を
正しく取り扱うための知識を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	第1章　香粧品概論まとめ 演習問題
第 2回	第2章　香粧品原用原料まとめ　人体各部の性状～界面活性剤 演習問題
第 3回	第2章　香粧品原用原料まとめ　高分子化合物～まつ毛エクステンション用材料 演習問題
第 4回	第3章　基礎化粧品まとめ 演習問題
第 5回	第4章　メイクアップ用香粧品まとめ 演習問題
第 6回	第5章　頭皮・毛髪用香粧品まとめ　シャンプー剤～パーマ剤 演習問題
第 7回	第5章　頭皮・毛髪用香粧品まとめ　ヘアカラー製品～育毛・養毛剤の原料 演習問題
第 8回	第6章　芳香製品と特殊香粧品まとめ 演習問題
第 9回	基礎科学　まとめ 演習問題
第10回	総合演習と解説①
第11回	総合演習と解説②
第12回	総合演習と解説③
第13回	総合演習と解説④
第14回	総合演習と解説⑤
第15回	総合演習と解説⑥
第16回	試験科目

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「香粧品化学」（日本理容美容教育センター）　　配付プリント

担当者プロフィール

品田謙一は、予備校で化学の講師を務める傍ら香料をテーマとする論文を発表するなどして蓄えた知識を生かし、美容業に不可欠な香粧品化学についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	文化論	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年
高度総合美容学科	講座名	文化論①	担当者	浦山　薫	履修区分	必修

授業の概要と方法

美容ファッションと服飾の変遷、造形や色彩の原理を学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

ヘアデザインなど美容の施術で必要な美的感覚と表現力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	日本の美容の歴史を学ぶ　－　美しさについて 文化としての美容
第 2回	ヘアスタイルの文化 メイクアップの文化
第 3回	ファッションとは 流行の仕組み・仕掛け人
第 4回	日本の美容の歴史ー髪結床・女髪結 江戸時代の美容業
第 5回	近代の美容業ー髪結から美容師へ 現代の美容業
第 6回	日本のファッション文化史　－　古代のファッション文化史　－　髪型・装身具・化粧・服装
第 7回	日本のファッション文化史　－　中世のファッション文化史　－　髪型・装身具・化粧・服装
第 8回	日本のファッション文化史　－　近世のファッション文化史　－　髪型・装身具・化粧・服装
第 9回	日本のファッション文化史　－　近代のファッション文化史　－　髪型・化粧・服装
第10回	日本のファッション文化史　－　現代のファッション文化史　―髪　型・化粧・服装
第11回	日本のファッション文化史　－　まとめ
第12回	ヨーロッパのファッション文化史　－　古代エジプトのドレス・ヘアメイク
第13回	ヨーロッパのファッション文化史　－　古代ギリシャのドレス・ヘアメイク
第14回	滅びゆく古代ローマの美学 古代ゲルマン人の服装について
第15回	中世においてウエストラインをマークした洋服について 中世においてドレスに合わせたヘアメイク
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容文化論」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

浦山薫は、数社で契約デザイナーを務める傍ら、各地のデザインコンペティションで受賞を重ねており、工芸分野の実務者としての観点から、美容業に不可欠な美容文化についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	文化論	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年
高度総合美容学科	講座名	文化論②	担当者	松本 良輔	履修区分	必修

授業の概要と方法

美容ファッションと服飾の変遷、造形や色彩の原理を学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

ヘアデザインなど美容の施術で必要な美的感覚と表現力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	16世紀の膨らんだ半ズボンと巨大なスカート 17世紀のメンズファッション
第 2回	18世紀華やかなサロン文化 18世紀末～19世紀初め ファッション革命
第 3回	まとめ 19世紀 クラシックからモダンへ
第 4回	1920年代 － 現代ファッションの始まり 1930年代 － 女性らしさが戻り、やがて戦時調へ
第 5回	1950年代 － モダン・クラシックの誕生 1960年代 － 第三次ファッション革命
第 6回	1970年代 － エスニックがファッションの主流に 1980年代ー東洋から黒の衝撃
第 7回	1990年代ー何でもありのファッション まとめ
第 8回	礼装の種類 和装 － 花嫁の礼装・正式の礼装
第 9回	和装 － 花嫁の礼装・正式の礼装 － 略式の礼装・男装の礼装
第10回	洋装 － 男性の場合・女性の場合 まとめ
第11回	四季の食事 － 春
第12回	四季の食事 － 夏
第13回	四季の食事 － 秋
第14回	四季の食事 － 冬
第15回	美容と健康食 まとめ
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容文化論」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

松本良輔は、ヘア＆メイクアップの店舗を20年以上経営する傍ら、大学で非常勤としてヘアメイクの授業を担当しており、実務者として、美容業に不可欠な美容文化についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	運営管理	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年
高度総合美容学科	講座名	運営管理	担当者	小川 朝子	履修区分	必修

授業の概要と方法

将来美容所を経営する際の科学的な経営管理の方法と、適切な接客法について学ぶ。
ビジネス検定3級を目指す。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

マネージメントの基本を学び、美容業における運営上の管理手法を理解する。
接客法や消費者への対応方法を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	キャリアと豊かな仕事生活/ビジネスマナーの基本/円滑なコミュニケーション/就業中のマナー
第 2回	挨拶の基本/指示の受け方と報告・連絡・相談/敬語の使い方/場面や人間関係に応じた敬語表現
第 3回	話し方の基本/プレゼンテーションの基本と自己紹介/会議への参加と協力
第 4回	まとめ 演習問題
第 5回	電話応対/電話の取り次ぎと携帯電話のマナー/来客応対と面談の基本マナー 名刺交換と紹介/訪問のマナー
第 6回	接客について/ホスピタリティの要素/接客における注意事項 仕事の基本となる意識/仕事への取組み
第 7回	会社のルールと企業倫理 仕事とIT/ビジネス文書の基本と社内文書の書き方
第 8回	まとめ 演習問題
第 9回	新聞・インターネットと情報収集、分析/業種・業界の知識 会社の仕組みと売上・利益/社会保険と税金
第10回	マーケティングの基礎/マーケティング戦略
第11回	美容業の現状/美容業の今後 美容業のマーケティング戦略/美容業のためのマーケティングの実践
第12回	美容業と経営/美容業と料金/美容業と経理/美容業と労務管理/労働契約/賃金・福利厚生/ 人事管理
第13回	社会保障制度について わが国の医療保障制度/わが国の所得保障制度/美容業と社会保障制度
第14回	健康の意義/健康障害発生の原因 美容作業と疲労・健康障害/美容職場の健康管理/美容職場の作業環境管理
第15回	まとめ 演習問題
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「運営管理」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

小川朝子は、法律事務所での勤務経験とビューティビジネス修士(専門士)としての学識に基づき、美容業に不可欠な運営管理についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	美容技術理論	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	1年前期
高度総合美容学科	講座名	美容技術理論①	担当者	岩田取美子	履修区分	必修

授業の概要と方法

各美容技術を学ぶと共に、器具類の操作・管理方法と衛生的、能率的に技術を行うための理論も学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

美容に用いられる器具や機械の種類、目的を理解し、正しい取り扱い方法を身につけ、美容の基礎的な技術理論を、実践に生かせるようにする。

授業の内容・計画

第 1回	美容理論について
第 2回	美容技術と用具
第 3回	シャンプーイング
第 4回	リンス、コンディショナー、トリートメント
第 5回	スキャルプトリートメント
第 6回	ヘアカッティングの基礎理論
第 7回	ヘアカッティングとは・シザースの扱い方
第 8回	ヘアカッティングの正しい姿勢・ブロッキング
第 9回	シザースによるカッティング技法
第 10回	レザーによるカッティング技法
第 11回	パーマネントウエーブの歴史と現在
第 12回	パーマネントウエーブの理論と実際
第 13回	パーマネントアラカルト
第 14回	ヘアセッティング・ヘアパーティング・ヘアシェーピング
第 15回	ヘアカーリング
第 16回	カールピニング
第 17回	ターンステム
第 18回	メイポールカール技術
第 19回	スカルプチュアカール技術
第 20回	リフトカール技術
第 21回	クロッキノールカール
第 22回	ヘアウエービング
第 23回	フィンガーウエーブの基礎技術
第 24回	スキップウエーブ
第 25回	オールウエーブ構成
第 26回	ローラーカーリング
第 27回	バックコーミング
第 28回	ブロードライ
第 29回	アイロンセッティング
第 30回	アップスタイル
第 31回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

岩田取美子は10年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、美容師に不可欠な美容技術理論についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	美容技術理論	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年前期
高度総合美容学科	講座名	美容技術理論②	担当者	杉本永恵	履修区分	必修

授業の概要と方法

各美容技術を学ぶと共に、器具類の操作・管理方法と衛生的、能率的に技術を行うための理論も学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

美容に用いられる器具や機械の種類、目的を理解し、正しい取り扱い方法を身につけ、美容の基礎的な技術理論を、実践に生かせるようにする。

授業の内容・計画

第 1回	ヘアカラーリング概論、ヘアカラーの種類
第 2回	ヘアカラのタイプ別特徴
第 3回	繊毛のメカニズム、色の基本
第 4回	毛髪のアンダートーンとレベルについて
第 5回	ヘアカラーリングの注意事項、パッチテスト
第 6回	酸化染毛剤・酸性染毛料の技術プロセス
第 7回	ヘアブリーチ
第 8回	色彩の基本的知識、色の表し方
第 9回	混色 ー 色の見え方
第 10回	色の情緒効果、色の好み
第 11回	色の美的効果 ー 東西の色彩美意識の違い、ジャッドの色彩調和の原理、配色のつくり方
第 12回	
第 13回	時代と色彩 ー 化粧と服装の色彩
第 14回	顔について ー 美容とデザイン
第 15回	デザイン、デッサンについて一要素、法則
第 16回	デッサン ①シンメトリー
第 17回	デッサン ②バランス
第 18回	③対比
第 19回	デッサン ④リズム
第 20回	⑤まとめ
第 21回	電流と電気抵抗
第 22回	電流と熱・電力と電力量
第 23回	電流と磁界(磁石・電流の磁気作用・電磁誘導)
第 24回	電流の作用と電気機器
第 25回	美容技術に使用する電気機器
第 26回	エステティックについて概論
第 27回	美容におけるマッサージ理論①
第 28回	美容におけるマッサージ理論②
第 29回	フェイシャルケア技術
第 30回	フェイシャルケア技術・ボディケア技術
第 31回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

杉本永恵は、4年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠な美容技術理論についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	美容技術理論	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
高度総合美容学科	講座名	美容技術理論③	担当者	釣谷恵美	履修区分	必修

授業の概要と方法

各美容技術を学ぶと共に、器具類の操作・管理方法と衛生的、能率的に技術を行うための理論も学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

美容に用いられる器具や機械の種類、目的を理解し、正しい取り扱い方法を身につけ、美容の基礎的な技術理論を、実践に生かせるようにする。

授業の内容・計画

第 1回	脱毛ケア技術
第 2回	カウンセリング
第 3回	物理療法と美容
第 4回	ネイル技術概論
第 5回	ネイル技術の種類
第 6回	爪の構造
第 7回	爪のカット形状・ネイル技術を行う上での注意とカウンセリング
第 8回	マニキュアについて
第 9回	ペディキュアについて
第 10回	リペア技術について
第 11回	メイクアップ概論
第 12回	顔の形態的な観察
第 13回	メイクアップと色彩
第 14回	メイクアップの基本テクニック
第 15回	ベースメイクアップ
第 16回	アイメイクアップ
第 17回	アイブロウメイクアップ
第 18回	リップメイクアップ
第 19回	フラッシュオンメイクアップ
第 20回	メイクアップまとめ
第 21回	日本髪の由来・日本髪の各部の名称
第 22回	日本髪の種類と特徴
第 23回	日本髪と調和
第 24回	日本髪の装飾品
第 25回	日本髪の技術①
第 26回	日本髪の技術②
第 27回	日本髪の手入れ法・かつらのつけ方
第 28回	かつらのつけ方
第 29回	着付の目的
第 30回	ウイッグとヘアピース
第 31回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

釣谷恵美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠な美容技術理論についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	コスメティック	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年前期
高度総合美容学科	講座名	コスメ総合Ⅰ①	担当者	光江弘恵	履修区分	必修

授業の概要と方法

将来、美容業に携わる者として、技術者として独り立ちするため、あるいは経営者になるために必要な力は何かを考える。

講義の達成目標

参考となる資料説明の後、自らプランを考えたり、グループで協同作業をしながら、将来をきり拓くための力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	社会人の基本	心構え、ルールとマナー
第 2回		社会で働く意義、自己啓発
第 3回		身だしなみ、表情と声
第 4回		あいさつの所作、お辞儀、立ち座り
第 5回		敬語、クッション言葉
第 6回		あいさつのことば、接客用語
第 7回		エントリーシート、自己紹介文(自分分析)
第 8回		自己紹介 (グループ練習)
第 9回	中間まとめ	レポート提出
第10回	仕事のスキル	接客マナー① (レセプション、名刺交換)
第11回		接客マナー② (電話応対、メール)
第12回		接客マナー③ (ホスピタリティ)
第13回		ビジネス用語・文書
第14回		テーブルマナー、席次
第15回		美容サロンのロールプレイング (受付、お客様チェック)
第16回	期末試験	ロールプレイングによる試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

毎回、プリント教材を配布する。

担当者プロフィール

光江弘恵は、化粧品会社において30年にわたり営業及び商品管理に従事する傍ら、ソシオエステティックの普及に務めた。

総合美容専門課程	科目名	コスメティック	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年後期
高度総合美容学科	講座名	コスメ総合Ⅰ②	担当者	瀧野公子	履修区分	必修

授業の概要と方法

将来、美容業に携わる者として、技術者として独り立ちするため、あるいは経営者になるために必要な力は何かを考える。

講義の達成目標

参考となる資料説明の後、自らプランを考えたり、グループで協同作業をしながら、将来をきり拓くための力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	業務理解	店頭クリーンアップ、ディスプレイ、ポップ制作
第 2回		来店促進対策、DM作成
第 3回		応対フロー、美容カウンセリング
第 4回		クレーム対応
第 5回		タッチアップ、ハンドデモ
第 6回		サンプル準備、ハンドアウト
第 7回		商品知識
第 8回		商品説明とカウンセリング
第 9回	中間まとめの発表	
第10回	販売促進	顧客管理、台帳作成
第11回		検品、在庫管理、棚卸、発注
第12回		セット販売
第13回	店舗経営	伝票整理、売上管理
第14回		サロンの運営
第15回		人間関係の調整
第16回	期末試験 まとめのレポート作成	

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

毎回、プリント教材を配布する。

担当者プロフィール

瀧野公子は、35年にわたり化粧品会社でビューティアドバイザーや営業職、新人育成等の勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、美容業に携わろうとしている学生のキャリアについての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	コスメティック	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年後期
高度総合美容学科	講座名	コスメ総合Ⅰ③	担当者	南部 裕子	履修区分	必修

授業の概要と方法

将来、美容業に携わる者として、技術者として独り立ちするため、あるいは経営者になるために必要な力は何かを考える。

講義の達成目標

参考となる資料説明の後、自らプランを考えたり、グループで協同作業をしながら、将来をきり拓くための力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	インターンシップ事前指導	インターンシップの心構え
第 2回		インターンシップの目標設定
第 3回		インターンシップのロールプレイ①
第 4回		インターンシップのロールプレイ②
第 5回		インターンシップの日誌作成
第 6回	就職指導(1)	はたらくことの目的・意義
第 7回		仕事の種類
第 8回		求人票の見方
第 9回	インターンシップ事後指導	インターンシップのまとめと反省
第10回	就職指導(2)	履歴書の書き方
第11回		面接の準備
第12回		面接練習①
第13回		面接練習②
第14回	就職指導(3)	報告書の書き方
第15回		会議の進め方
第16回	期末試験、まとめのレポート作成	

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

毎回、プリント教材を配布する。

担当者プロフィール

南部裕子は、薬品販売会社での営業やビューティアドバイザー等の勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、美容業に携わろうとしている学生のキャリアに関しての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	コスメティック	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年前期
高度総合美容学科	講座名	コスメ総合Ⅱ①	担当者	光江弘恵	履修区分	必修

授業の概要と方法

将来、美容業に携わる者として、技術者として独り立ちするため、あるいは経営者になるために必要な力は何かを考える。

講義の達成目標

参考となる資料説明の後、自らプランを考えたり、グループで協同作業をしながら、将来をきり拓くための力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	コスメティックサロンの理解	サロンにおけるビジネス・キャリア
第 2回		サロン内のコミュニケーション
第 3回		サロンのメディア活用、ビジネス用語集
第 4回		サロンの器具・用具
第 5回	ビューティコーディネーターの仕事	ビューティコーディネーターとは
第 6回		美容メニューの基本知識
第 7回		生産性を高めるフロアマネジメントワーク
第 8回		ホスピタリティを発揮するビジネスコミュニケーション
第 9回	中間考査	
第10回	ソシオエステティック概論	ソシオエステティックとは
第11回		ソシオエステティシャンの技術と心構え
第12回		ソシオエステティシャンの活動状況
第13回		ソシオエステティックの未来
第14回	レセプショニストの仕事	予約の受付、席への案内、会計
第15回		スタッフのスケジュール調整、顧客への案内・アフターフォロー
第16回	期末試験 まとめのレポート作成	

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

毎回、プリント教材を配布する。

担当者プロフィール

光江弘恵は、化粧品会社において30年にわたり営業及び商品管理に従事する傍ら、ソシオエステティックの普及に務めた。

総合美容専門課程	科目名	コスメティック	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年後期
高度総合美容学科	講座名	コスメ総合Ⅱ②	担当者	瀧野公子	履修区分	必修

授業の概要と方法

将来、美容業に携わる者として、技術者として独り立ちするため、あるいは経営者になるために必要な力は何かを考える。

講義の達成目標

参考となる資料説明の後、自らプランを考えたり、グループで協同作業をしながら、将来をきり拓くための力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	コミュニケーションスキル	電話のビジネスマナー(1) 職場で電話を受けたときの正しい言い回し・定番フレーズ
第 2回		電話のビジネスマナー(2) 仕事で電話をかけるときに使う礼儀正しい話し方・定番フレーズ
第 3回		文書のビジネスマナー 文書を送るときに使う文章表現ならではの言い回し
第 4回		社会人としてのあいさつ(1) 人に会ったとき・会話のきっかけ
第 5回		社会人としてのあいさつ(2) つなぎの言葉・自分自身の話をするとき・別れ際に
第 6回		ロールプレイング
第 7回	コミュニケーション力アップ	コミュニケーションスキルの確認
第 8回		コミュニケーションスキルの集計と分析
第 9回		ストローク
第10回		感情コントロール
第11回		雑談力
第12回		傾聴力(1) ラポール　～関係の構築～
第13回		傾聴力(2) 傾聴のスキル
第14回		傾聴力(3) 質問する技術
第15回		まとめのレポート作成
第16回	期末試験	

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

毎回、プリント教材を配布する。

担当者プロフィール

瀧野公子は、35年にわたり化粧品会社でビューティアドバイザーや営業職、新人育成等の勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、美容業に携わろうとしている学生のキャリアについての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	コスメティック	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	3年
高度総合美容学科	講座名	薬用化粧品Ⅰ	担当者	越後栄理子	履修区分	選択

授業の概要と方法

美容業と関わりが深い、主に一般用医薬品の知識を修得し、その特性等の基本的な知識や、適性な使用方法および安全のための対策を学ぶ。

講義の達成目標

医薬品の定義のほか、医薬品を販売又は授与することができるよう、一般用医薬品の販売又は授与に関連する法令・制度の仕組みを理解する。

授業の内容・計画

第 1回	薬事関係法規・制度	「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保に関する法律」の目的等	
第 2回		医薬品の分類・取り扱い等　Ⅰ	医薬品の定義と範囲
第 3回		医薬品の分類・取り扱い等　Ⅱ	容器、外箱等への記載事項
第 4回			添付文書への記載事項
第 5回		医薬品の分類・取り扱い等　Ⅲ	医薬部外品、化粧品
第 6回			保健機能食品等
第 7回		まとめ 過去問題演習	
第 8回	中間試験		
第 9回	薬事関係法規・制度	医薬品の販売業の許可	許可の種類と許可行為の範囲
第10回		医薬品の分類・取り扱い等Ⅰ	許可の種類と範囲
第11回			リスク区分に応じた販売従事者等
第12回		医薬品の分類・取り扱い等Ⅱ	医薬品の情報提供及び陳列、掲示等
第13回		医薬品販売に関する法令順守	適正な販売広告、販売方法。
第14回			行政庁の監視指導等
第15回		まとめ 過去問題演習	
第16回	期末試験		

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「ココデル虎の巻　登録販売者試験　対策テキスト　上」

担当者のプロフィール

越後栄理子は、千葉薬事専門学校において、香粧品化学、一般用医薬品学、漢方学等の講師としての勤務経験があり、ビューティアドバイザーの仕事の幅を拡げる授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	コスメティック	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	4年
高度総合美容学科	講座名	薬用化粧品Ⅱ	担当者	加瀬　年生	履修区分	選択

授業の概要と方法

美容業と関わりが深い、主に一般用医薬品の知識を修得し、その特性等の基本的な知識や、適性な使用方法および安全のための対策を学ぶ。

講義の達成目標

医薬品の性質、使用上の注意などの情報提供に必要な知識のほか、副作用被害救済制度や副作用。報告制度などについて理解する。

授業の内容・計画

第 1回	医薬品に共通する特性 と基本的な知識	医薬品概論	医薬品の本質、リスク評価
第 2回			健康食品
第 3回		医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因	副作用、不適正使用
第 4回			相互作用
第 5回		適切な医薬品選択と受診勧奨	セルフメディ
第 6回		まとめ 過去問題演習	
第 7回	医薬品の適正使用・ 安全対策	医薬品の適正使用情報Ⅰ	添付文書の読み方
第 8回	中間試験		
第 9回	医薬品の適正使用・安全対策	医薬品の適正使用情報Ⅱ	製品表示の読み方、安全性情報の活用等
第10回		医薬品の安全対策	医薬品の副作用情報等の収集
第11回			医薬品の評価及び措置等
第12回		医薬品の副作用等による健康被害の救済	医薬品副作用被害救済制度等
第13回			一般用医薬品に関する安全対策、啓発活動
第14回			主な使用上の注意の記載 ～「してはいけないこと」・「相談すること」～
第15回		まとめ 過去問題演習	
第16回	期末試験		

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「ココデル虎の巻　登録販売者試験　対策テキスト　上」

担当者のプロフィール

加瀬年生は、千葉薬事専門学校において、香粧品化学、一般用医薬品学、漢方学等の講師としての勤務経験があり、ビューティアドバイザーの仕事の幅を拡げる授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	ファッション	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	3年
高度総合美容学科	講座名	ファッション・デザインⅠ	担当者	青木くに子	履修区分	選択

授業の概要と方法

日本におけるファッションビジネスについて、その基礎知識とビジネス活動、及び進行中の変革について学ぶ。クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

ファッションが、人々を魅力的にし、社会を活気づける重要な要素であることと、これを扱うビジネスが、専門職人材とマネジメントとの総合力で展開されるダイナミックな世界であることを理解する。

授業の内容・計画

第 1回	イントロダクション	講座の狙いと共に、ファッションビジネスの素晴らしさを提示する。
第 2回	ファッションビジネスの現場①	ジャパン・ファッション・ウィークのデザイナーショウを見学する。
第 3回	ファッションビジネスの現場②	ジャパン・ファッション・ウィークの展示会場を視察する。
第 4回	ファッションの基礎	ファッションの歴史・専門用語・専門職人について学習する。
第 5回	ファッション業界の構造	素材から製品化・流通・小売に至るプロセスを学習する。
第 6回	ファッショビジネスンの現状①	ファッションビジネスに於ける創・工・商の問題点と課題を学習する。
第 7回	ファッショビジネスの現状②	ファッションビジネスにおけるマーチャンダイジング、マーケテイング、マネジメントの最新方向性を学習する。
第 8回	ファッショビジネスの現状③	ファッションデザイナー等の各専門人材の役割と課題を学習する。
第 9回	マーチャンダイジング①	商品企画とマーチャンダイジングとの関連プロセスを学習する。
第10回	マーチャンダイジング②	マーチャンダイジングの実際事例を学習する。
第11回	マーケティング①	デジタル技術の導入が加速する現状を学習する。
第12回	マーケティング②	ブランディングの重要性について学習する。
第13回	マネジメント①	ファッション企業の経営戦略とブランド戦略・人材戦略について学習する。
第14回	マネジメント②	世界に於ける日本の位置付けとグローバル化への課題を学習する。
第15回	ファッションビジネスの近未来	技術革新の進展する業界動向と課題を学習する。
第16回	期末試験	レポートを作成し提出する。

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

毎回、必要なプリントを配布する。

担当者プロフィール

青木くに子は、ファッション業界で働いたのち、服飾専門学校で指導にあたり、
ファッション関連の実務者としての、美容師の仕事の幅を拡げる知識を伝える授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	ファッション	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	4年
高度総合美容学科	講座名	ファッション・デザインⅡ	担当者	青木くに子	履修区分	選択

授業の概要と方法

シーズン毎に変化・変容していくファッショントレンドを的確に捉え、実践的な商品展開計画をPDCAサイクルとして、どのように立案・実行・確認・修正が行われていくかをMD、ディレクションプランの制作を通して体系的に学ぶ。

講義の達成目標

バイヤー・MD、あるいは店舗スタッフのアクションプランとなるMDディレクションの制作手法や意義を理解する。

授業の内容・計画

第 1回	オリエンテーション	マーチャンダイジングの基本、顧客分類と戦略
第 2回	ファッションマーケットの把握①	ファッショントレンドの流れ、トレンド情やマーケット情報とMDディレクションの関係
第 3回	ファッションマーケットの把握②	生活者変化、市場構造変化を捉える 国内外ランウェイからトレンド分析
第 4回	ファッショントレンドからMD計画へ①	トレンド分析ポイントの学習、MD計画への応用
第 5回	ファッショントレンドからMD計画へ②	トレンド研究、個別演習
第 6回	ファッショントレンドからMD計画へ③	情報収集のポイント
第 7回	MDディレクション制作①	マーケットトレンド編
第 8回	MDディレクション制作②	カラートレンド編
第 9回	MDディレクション制作③	テキスタイルトレンド編
第10回	MDディレクション制作④	テーマ編、スタイリング編
第11回	MDディレクション制作⑤	キーアイテム編、横串MD、プロモーション計画
第12回	MD戦略①	広告戦略、情報発信、販促手法 戦略的な商品展開計画
第13回	MD戦略②	ウィークリーMD、マンスリーMD、シーズンモチベーション
第14回	MD戦略③	プロモーション計画、個別演習
第15回	学習内容のまとめ	振り返り
第16回	期末試験	レポートを作成し提出する。

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

毎回、必要なプリントを配布する。

担当者プロフィール

青木くに子は、ファッション業界で働いたのち、服飾専門学校で指導にあたり、
ファッション関連の実務者としての、美容師の仕事の幅を拡げる知識を伝える授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	カラーリング	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	4年
高度美容総合学科	講座名	カラー検定	担当者	堀川彩里	履修区分	選択

授業の概要と方法

カラーリングに関する理解と技量の向上に資するため、カラー検定合格を目標に設定して色に関する知識を深める。

講義の達成目標

カラー検定に合格する知識を身につけることにより、カラーリングに関する理解と技量を高める。

授業の内容・計画

第 1回	色の仕組みと配色	色の基本的な仕組み
第 2回		感性とコーディネートセンス
第 3回		3色、9色の配色ワーク
第 4回	色とイメージをつなぐ①	課題の講評 色とイメージの関係
第 5回		カラーアソートの考え方
第 6回		ミニコラージュの制作
第 7回	色とイメージをつなぐ②	課題の講評 イメージとコーディネートの違い、
第 8回		色のコントロール
第 9回		要素別イメージコラージュ制作
第 10回	イメージ分類①	課題の講評 色、形によるイメージについて
第 11回		素材によるイメージについて
第 12回	イメージ分類②	WAT9の個人分析による講評
第 13回		カラーイメージコーディネート
第 14回		ブランドについて
第 15回	まとめ	受講者による最終課題発表 講師からの講評、今後の活用方法
第 16回	模擬試験	

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

別途配布資料あり

担当者のプロフィール

堀川彩里は、20年以上にわたって色彩教育やカラーコーディネイトの指導を担当し、美容関連の実務者として、美容師に不可欠なカラーについての理解を向上させる授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ビューティビジネス基礎	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	3年
高度美容総合学科	講座名	ビューティビジネス基礎Ⅰ	担当者	渡邉雅美	履修区分	選択

授業の概要と方法

ビューティビジネスリーダーとして必要不可欠なビューティトレンドとホスピタリティやビジネスマナーの必要性を学ぶ。授業は講義と演習を交えた形式で行う。

講義の達成目標

美容のトレンドが生まれる仕組みや流行の変遷を理解し、美容サービスを提供するための技術やデザインに活かすための知識と実践力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	トレンドとは トレンドが生まれるまで
第 2回	形のトレンド(ヘアスタイル)
第 3回	色のトレンド(ヘアカラー、ファッション、メイクアップ)
第 4回	化粧品のトレンド
第 5回	ビューティトレンドのまとめ
第 6回	「第一印象」 声の表現と笑顔～感じのよさ
第 7回	「接客マナー」
第 8回	「ビジネス用語」 敬語と接客用語ビジネス用語
第 9回	「ビジネスマナー」 電話応対とロールプレイ(電話を受ける、かける)
第10回	「レセプショニスト」 美容サロンのレセプショニストについて
第11回	「ホスピタリティ概要」 ホスピタリティの歴史と文化、フレームワークホスピタリティの基礎
第12回	「ホスピタリティマネジメント」 ホスピタリティマネジメントにおける五大要素領域
第13回	「サービス産業とホスピタリティサービス」 産業のケーススタディ、ホスピタリティコミュニケーション
第14回	「まとめ」 美容業界に必要とされる人材。美容業界の展望を考える～課題と提言
第15回	「プレゼンテーション」 ホスピタリティの事例発表
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

必要に応じて資料を配布する

担当者のプロフィール

渡邊雅美は、10年間以上美容室を経営し、美容関連分野の実務者として、美容業に不可欠なトレンド、ホスピタリティについての理解を深める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ビューティビジネス基礎	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	4年前期
高度美容総合学科	講座名	ビジネス基礎Ⅱ－①	担当者	江島夏美	履修区分	選択

授業の概要と方法

経営学とマーケティングの基礎、実践的なパソコンスキルをそれぞれ学んでいく。

講義の達成目標

新聞、テレビ、インターネットで流れる基本的な経済ニュースとマーケティングの理解と
および、パソコンを使った簡単なプレゼンテーションができるようになる。

授業の内容・計画

第 1回	経営学は何の役に立つのか
第 2回	マーケティングと戦略の理論と役割
第 3回	組織・人事評価・やる気にさせる方法
第 4回	化粧品会社の事例
第 5回	人事評価と考課のやり方
第 6回	マーケティングの基本と顧客満足/マーケティングの歩み、アメリカと日本
第 7回	経営戦略とマーケティング、マーケティング戦略とSTP
第 8回	マーケティング環境分析、消費者行動
第 9回	市場調査手法、製品開発
第10回	サービスマネジメント、ブランド管理
第11回	日本語文書作成(1) 表計算(1)
第12回	プレゼンテーション(1) プレゼンテーション(2)
第13回	プレゼンテーション(3) 日本語文書作成(2)
第14回	表計算(2)、 表計算(3)
第15回	まとめ
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

サービス経営学入門
「改訂版　現代マーケティングの基礎知識」創成社

担当者のプロフィール

江島夏美は、情報関連の企業で30年間以上にわたり、経営に携わっており、経営学分野の実務者としての観点から、接客業に不可欠な経営的要素についての理解を深める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ビューティビジネス基礎	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	4年後期
高度美容総合学科	講座名	ビジネス基礎Ⅱ－②	担当者	藤原美子	履修区分	選択

授業の概要と方法

美容においては、リラクゼーションや安らぎといった内面的な充足感を提供することが重要である。それは五感に働きかけることによってもたらされる。講義では五感と心が緊密な関係にあることを、実習で体験することも含めて総合的に学ぶ。

講義の達成目標

パーソナルカラー検定2級レベルをマスター。音楽療法、アロマセラピーについての体験と精油生成、スキンシップ等の有効性を事例を通して理解する。

授業の内容・計画

第 1回	「触れること」の心理学的考察(1)
第 2回	「触れること」の心理学的考察(2)
第 3回	パーソナルカラー概要
第 4回	パーソナルカラーについて基本内容の復習
第 5回	色の三属性(PCCS)、色の表示
第 6回	配色の基本
第 7回	配色の応用と色名(1)
第 8回	配色の応用と色名(2)
第 9回	色彩心理学(1)
第10回	色彩心理学(2)
第11回	音楽療法(1)
第12回	音楽療法(2)
第13回	アロマセラピー(1)精油の種類と使用方法、「ルームフレッシュナー」作成
第14回	アロマセラピー(2)「アロマストーン」作成、「マッサージオイル作成」、ハンドマッサージ実習
第15回	ストレスをどのように乗り切るか　認知行動療法より
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

パーソナルカラー検定公式テキスト1級(産経新聞出版)および必要に応じて配布する資料

担当者のプロフィール

藤原美子は、心理学を修めたのち20年間以上カウンセラー、エッセイストとして活躍しており、心理学分野の実務者として、接客業に不可欠な心理的要素についての理解を深める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ヘアカッティング	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年
高度美容総合学科	講座名	カット基礎	担当者	釣谷恵美	履修区分	必修

授業の概要と方法

レイヤースタイルを国家試験課題採点基準に基づき把握し、ボディーポジションを正確に理解し、基礎となる点を重点的に繰り返し行いながら進行する。
クラス単位での実習形式。

講義の達成目標

美容師国家試験の合格基準に達する技術の習得の前段階への到達
基礎となる技術に基づき様々なスタイルのカットを設計し施術することができる技能の習得

授業の内容・計画

第 1回	カッティング技術理論 シザースやコームの持ち方と使い方
第 2回	シザーストレーニング
第 3回	基本のカッティング練習　ブラントカット
第 4回	基本のカッティング練習　ワンレングスカット、グラデーションカット
第 5回	基本のカッティング練習　レイヤーカット、セイムレングスカット
第 6回	基本のカッティング練習　毛量調整　シャギーカット等
第 7回	ウィックブロッキングとカットプロセスを覚える
第 8回	計測の練習
第 9回	シェープとパネルの引き出し方の把握 パネルの持ち方とシザースの角度把握
第10回	身体の立ち位置とボディーポジションの把握
第11回	カッティングプロセス①　TP～バング　長さとレイヤー ②　アウトラインブロッキング
第12回	カッティングプロセス③　アウトラインベースカット ④　サイドレイアー
第13回	カッティングプロセス⑤　バック部分下段カット ⑥　バック部分上段カット
第14回	カッティングプロセス⑦　バック部分中段カット ⑧　全体のポイントチェック修正
第15回	カッティングプロセス⑨　仕上がり確認と採点においての減点箇所確認
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容実習」(日本理容美容教育センター)　参考文献「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)
シザース・ダックカール・カットコーム・タオル・スプレイアー・クランプ・ウィック

担当者のプロフィール

釣谷恵美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師に不可欠な美容技術理論についての理解を深める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ヘアカッティング	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	3年
高度美容総合学科	講座名	カットⅠ	担当者	内野貴啓	履修区分	選択

授業の概要と方法

国家試験課題採点基準に基づいてのレイヤースタイルを身につけ、正確なボディーポジションにより基礎となる点を重点的に確認しながら進行する。
希望者による実習形式。

講義の達成目標

美容師国家試験の合格基準に達する技術の習得
基礎となる技術に基づき様々なスタイルのカットを設計し施術することが出来る技能の習得

授業の内容・計画

第 1回	カッティング技術理論の確認 シザースやコームの持ち方と使い方の確認
第 2回	シザーストレーニング
第 3回	基本のカッティング練習　ブラントカット
第 4回	基本のカッティング練習　ワンレングスカット、グラデーションカット
第 5回	基本のカッティング練習　レイヤーカット、セイムレングスカット
第 6回	基本のカッティング練習　毛量調整　シャギーカット等 ウィックブロッキングとカットプロセスの確認
第 7回	計測の練習
第 8回	シェープとパネルの引き出し方の確認
第 9回	パネルの持ち方とシザースの角度確認
第10回	身体の立ち位置とボディーポジションの確認
第11回	カッティングプロセス①　TP～バング　長さとレイヤー ②　アウトラインブロッキング
第12回	カッティングプロセス③　アウトラインベースカット ④　サイドレイアー
第13回	カッティングプロセス⑤　バック部分下段カット ⑥　バック部分上段カット
第14回	カッティングプロセス⑦　バック部分中段カット ⑧　全体のポイントチェック修正
第15回	カッティングプロセス⑨　仕上がり確認と採点においての減点箇所確認
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容実習」(E「美容実習」(日本理容美容教育センター)
シザース・ダックカール・カットコーム・タオル・スプレイアー・クランプ・ウィック

担当者のプロフィール

内野貴啓は、20年以上にわたって美容院を経営しており、美容関連の実務者として、
美容師に不可欠なカットの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ヘアカッティング	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	4年
高度美容総合学科	講座名	カットⅡ	担当者	松本良輔	履修区分	選択

授業の概要と方法

カットの実践的技術を習得する
希望者による実習形式。

講義の達成目標

サロンワークでの施術
理論講習及び実習

授業の内容・計画

第 1回	ワンレングステスト … ワンレングスボブの理解度と実践のチェックを行う
第 2回	グラデーション … ファイヤーフライスタイル、展開図
第 3回	グラデーション … リフトアップとオーバーダイレクション
第 4回	グラデーション … グラジュエイテッドボブ、前下がりグラデーション
第 5回	グラデーション … グラデーション変形スタイル
第 6回	レイヤー … ロングレイヤー、展開図
第 7回	レイヤー … ハイレイヤー、ステップレイヤー
第 8回	マッシュルーム … ボブスタイル、グラデーション
第 9回	シャギースタイル … 毛先に向かったレイヤー仕上げ
第 10回	ショート … ショートベーシック
第 11回	ショート … スクエアレイヤー
第 12回	セニングテクニック … 様々なスタイルでの効果的な使用方法
第 13回	メンズスタイル … 刈り上げ
第 14回	メンズスタイル … ツーブロックとパーマスタイルの仕上げ
第 15回	パーマスタイル … カットグラデーション・レイヤーと毛量調節
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

別途配布資料あり
ウィック・ハケ・コーム・スプレイアー・クランプ・カラー剤

担当者のプロフィール

松本良輔は、ヘア＆メイクアップの店舗を20年以上経営する傍ら、大学で非常勤としてヘアメイクの授業を担当しており、実務者として、美容業に不可欠な美容文化についての理解を深める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	シャンプーイング	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年
高度美容総合学科	講座名	シャンプーⅠ	担当者	岩田取美子	履修区分	必修

授業の概要と方法

用具と器具の使用法と作業姿勢を徹底的に覚え、感覚とリズムをつかむまで繰り返し指導を行う。また、お客様にとってのリラクゼーションを追求する。

クラス単位での実習形式。

講義の達成目標

サロンにて即戦力になる技術力の習得とお客様へのリラクゼーション効果の理解

授業の内容・計画

第 1回	シャンプー実習実技理論 クロス掛け… タオルとクロスを掛ける
第 2回	ブラッシング… 姿勢、ブラシの持ち方
第 3回	ブラッシング… 手順 基本動作… 電動シャンプーイスの扱い方
第 4回	基本動作… お湯とシャワーヘッドの扱い方
第 5回	基本動作… 指の動かし方、モデル動作での練習
第 6回	プレーンリンス… 椅子とシャンプーボールの位置、準備の仕方、技術手順
第 7回	シャンプー… ファーストシャンプー
第 8回	シャンプー… セカンドシャンプー リンス… 種類と適量と塗布の仕方
第 9回	トリートメント… 種類と適量と塗布の仕方 タオルドライ… ドライ方法とターバン
第10回	基本動作… 指導チェック プレーンリンス… 指導チェック
第11回	シャンプー… 指導チェック トリートメント… 指導チェック
第12回	タオルドライ… ドライ方法とターバン指導チェック シャンプー… 中間チェック(リズムとスピード)
第13回	総合弱点箇所克服トレーニング 相モデルタイムトライアル20分
第14回	相モデルタイムトライアル20分
第15回	総合弱点箇所克服トレーニング シャンプー実技試験 20分
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容実習」(日本理容美容教育センター) 参考文献:「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)
タオル・シャンプークロス・カテリーナブラシ・ダックカール

担当者のプロフィール

岩田取美子は10年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関係の実務者としての観点から美容師に不可欠なシャンプーイングの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	シャンプーイング	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年
高度美容総合学科		シャンプーⅡ	担当者	飯島庸子	履修区分	必修

授業の概要と方法

用具と器具の使用法と作業姿勢を徹底的に覚え、感覚とリズムをつかむまで繰り返し指導を行う。
また、お客様にとってのリラクゼーションを追求する。
クラス単位での実習形式。

講義の達成目標

サロンにて即戦力になる技術力の習得とお客様へのリラクゼーション効果の理解

授業の内容・計画

第 1回	シャンプー実習実技理論の確認 クロス掛け… タオルとクロスを掛ける
第 2回	ブラッシング… 姿勢、ブラシの持ち方
第 3回	ブラッシング… 手順 基本動作… 電動シャンプーイスの扱い方
第 4回	基本動作… お湯とシャワーヘッドの扱い方
第 5回	基本動作… 指の動かし方、モデル動作での練習
第 6回	プレーンリンス… 椅子とシャンプーボールの位置、準備の仕方、技術手順
第 7回	シャンプー… ファーストシャンプー
第 8回	シャンプー… セカンドシャンプー リンス… 種類と適量と塗布の仕方
第 9回	トリートメント… 種類と適量と塗布の仕方 タオルドライ… ドライ方法とターバン
第10回	基本動作… 指導チェック プレーンリンス… 指導チェック
第11回	シャンプー… 指導チェック トリートメント… 指導チェック
第12回	タオルドライ… ドライ方法とターバン指導チェック シャンプー… 中間チェック(リズムとスピード)
第13回	総合弱点箇所克服トレーニング 相モデルタイムトライアル20分
第14回	相モデルタイムトライアル20分
第15回	総合弱点箇所克服トレーニング シャンプー実技試験 20分
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容実習」(日本理容美容教育センター) 参考文献:「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)
タオル・シャンプークロス・カテリーナブラシ・ダックカール

担当者のプロフィール

飯島庸子は14年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師に不可欠なオールウェーブの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	シャンプーイング	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	3年
高度美容総合学科		シャンプーⅢ	担当者	井尻　聡	履修区分	選択

授業の概要と方法

シャンプーイングの基礎及び、実践的な技術を習得する。
理論や器具の取扱いを学び、デモンストレーションで確認後実践する。
反復練習を重ね改善点を強化してゆく。

講義の達成目標

サロンワークが十分にこなせる技術を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	シャンプー理論 ： コース説明と注意点
第 2回	安全テクニック ： コース説明と注意点
第 3回	シャンプーの手順 ： マニュアルの作成＆ビデオで流れを知る、ウィックでの施術確認
第 4回	相モデル実習 ： ・タオルとクロスのセッティング ・お湯とシャワーヘッドの扱い ・お湯のため方 ・指の動かし方 ・モデルでのコースの習得
第 5回	相モデル実習(復習) ： ・タオルとクロスのセッティング ・お湯とシャワーヘッドの扱い ・お湯のため方 ・指の動かし方 ・モデルでのコースの習得
第 6回	シャンプーの手順 ： スピードトレーニング、リズムとスピード重視の行程
第 7回	トリートメント ： 毛髪基本知識とトリートメント浸透技法
第 8回	中間チェック シャンプーのチェック＆トリートメント
第 9回	強化練習 ： 中間チェックでの減点箇所の強化
第 10回	相モデル実習(復習) ： ・タオルとクロスのセッティング ・お湯とシャワーヘッドの扱い ・お湯のため方 ・指の動かし方 ・モデルでのコースの習得
第 11回	シャンプーの手順 ： スピードトレーニング、リズムとスピード重視の行程
第 12回	習得度チェック ： ・タオルとクロスのセッティング ・お湯とシャワーヘッドの扱い ・お湯のため方 ・指の動かし方 ・モデルでのコースの習得
第 13回	相モデル実習(復習) ： ・タオルとクロスのセッティング ・お湯とシャワーヘッドの扱い ・お湯のため方 ・指の動かし方 ・モデルでのコースの習得
第 14回	シャンプーの手順 ： 苦手克服トレーニング
第 15回	シャンプーの手順 ： 苦手克服トレーニング
第 16回	実技試験 シャンプーの手順

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

シャンプー教材「美容実習」(日本理容美容教育センター)
タオル・シャンプークロス・ダックカール・カテリーナブラシ

担当者のプロフィール

井尻　聡は、4年間の美容室での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠なシャンプーイングの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	シャンプーイング	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	4年
高度美容総合学科		シャンプーⅣ	担当者	井尻　聡	履修区分	選択

授業の概要と方法

用具と器具の使用法と作業姿勢を徹底的に覚え、感覚とリズムをつかむまで繰り返し指導を行う。また、お客様にとってのリラクゼーションを追求する。
希望者による実習形式。

講義の達成目標

サロンにて即戦力になる技術力の習得とお客様へのリラクゼーション効果の理解

授業の内容・計画

第 1回	シャンプー実習実技理論の確認 クロス掛け… タオルとクロスを掛ける
第 2回	ブラッシング… 姿勢、ブラシの持ち方
第 3回	ブラッシング… 手順 基本動作… 電動シャンプーイスの扱い方
第 4回	基本動作… お湯とシャワーヘッドの扱い方
第 5回	基本動作… 指の動かし方、モデル動作での練習
第 6回	プレーンリンス… 椅子とシャンプーボールの位置、準備の仕方、技術手順
第 7回	シャンプー… ファーストシャンプー
第 8回	シャンプー… セカンドシャンプー リンス… 種類と適量と塗布の仕方
第 9回	トリートメント… 種類と適量と塗布の仕方 タオルドライ… ドライ方法とターバン
第10回	基本動作… 指導チェック プレーンリンス… 指導チェック
第11回	シャンプー… 指導チェック トリートメント… 指導チェック
第12回	タオルドライ… ドライ方法とターバン指導チェック シャンプー… 中間チェック(リズムとスピード)
第13回	総合弱点箇所克服トレーニング 相モデルタイムトライアル20分
第14回	相モデルタイムトライアル20分
第15回	総合弱点箇所克服トレーニング
第16回	シャンプー実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

シャンプー教材「美容実習」(日本理容美容教育センター)
タオル・シャンプークロス・カテリーナブラシ・ダックカール

担当者のプロフィール

井尻　聡は、4年間の美容室での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠なシャンプーイングの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ヘッドスパ	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	3年
高度美容総合学科		ヘッドスパⅠ	担当者	井尻　聡	履修区分	選択

授業の概要と方法

ヘッドスパ技術の基礎を習得する。ウィッグを用いてマッサージの手順を覚える。
座学での講義及びデモンストレーションの後に実践する。
希望者による実習形式。

講義の達成目標

サロンワークが十分にこなせる技術を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	ヘッドスパを行う上で大切なこと ： 技術・カウンセリング・環境に関して必要性を学ぶ。
第 2回	ヘッドマッサージ ： 手の使い方、主な手技、呼吸・姿勢を意識する、手順(流れ)をスムーズに行う
第 3回	スパマッサージの主な方法 ： ストレッチ、ほぐす、圧迫法、打法、リンパ流し
第 4回	姿勢と呼吸 ： 身体の均衡(バランス)を保つ、お客様の呼吸を確認しながらペースを合わせる
第 5回	ツボ ： 頭皮のツボを覚える
第 6回	リンパ ： 顔から首にかけてのリンパ分布を覚える
第 7回	ウィッグでの動作確認 ： 全ての行程をウィッグを使用して確認
第 8回	実践相モデル ： 基本のシャンプーでの手指の動きを覚える
第 9回	実践相モデル ： 基本のシャンプー動作及びツボとリンパのマッサージの追加
第 10回	実践相モデル ： 全ての行程を、相モデルで実践する
第 11回	実践相モデル ： 全ての行程を、相モデルで実践する(前回の問題点を改善する)
第 12回	全工程のタイムチェック ： 全ての行程を、相モデルで実践する
第 13回	全工程のタイムチェック ： 全ての行程を、相モデルで実践する
第 14回	全工程のタイムチェック ： 全ての行程を、相モデルで実践する
第 15回	全工程のタイムチェック ： 全ての行程を、相モデルで実践する
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示　　※放課後の自主練習など、個別指導可

成績評価方法

4/5以上の出席と実技試験の本校採点基準で100点満点中70点以上をクリアした者に対し、
授業態度及び宿題、レポート等の提出内容を加味して、5段階で評価する。

使用教材

別途配布資料あり(ツボ、リンパ、サイドシャンプーの資料)
タオル・ヘアブラシ・シャンプークロス・ダックカール

担当者のプロフィール

井尻　聡は、4年間の美容室での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に
不可欠なシャンプーイングの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ヘッドスパ	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	4年
高度美容総合学科		ヘッドスパⅡ	担当者	井尻　聡	履修区分	必修

授業の概要と方法

ヘッドスパ技術の基礎を習得する。ウィッグを用いてマッサージの手順を覚える。
座学での講義及びデモンストレーションの後に実践する。
希望者による実習形式。

講義の達成目標

サロンワークが十分にこなせる技術を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	ヘッドスパを行う上で大切なこと ： 技術・カウンセリング・環境に関して必要性を学ぶ。
第 2回	ヘッドマッサージ ： 手の使い方、主な手技、呼吸・姿勢を意識する、手順(流れ)をスムーズに行う
第 3回	スパマッサージの主な方法 ： ストレッチ、ほぐす、圧迫法、打法、リンパ流し
第 4回	姿勢と呼吸 ： 身体の均衡(バランス)を保つ、お客様の呼吸を確認しながらペースを合わせる
第 5回	ツボ ： 頭皮のツボを覚える
第 6回	リンパ ： 顔から首にかけてのリンパ分布を覚える
第 7回	ウィッグでの動作確認 ： 全ての行程をウィッグを使用して確認
第 8回	実践相モデル ： 基本のシャンプーでの手指の動きを覚える
第 9回	実践相モデル ： 基本のシャンプー動作及びツボとリンパのマッサージの追加
第 10回	実践相モデル ： 全ての行程を、相モデルで実践する
第 11回	実践相モデル ： 全ての行程を、相モデルで実践する(前回の問題点を改善する)
第 12回	全工程のタイムチェック ： 全ての行程を、相モデルで実践する
第 13回	全工程のタイムチェック ： 全ての行程を、相モデルで実践する
第 14回	全工程のタイムチェック ： 全ての行程を、相モデルで実践する
第 15回	全工程のタイムチェック ： 全ての行程を、相モデルで実践する
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示　　※放課後の自主練習など、個別指導可

成績評価方法

4/5以上の出席と実技試験の本校採点基準で100点満点中70点以上をクリアした者に対し、
授業態度及び宿題、レポート等の提出内容を加味して、5段階で評価する。

使用教材

別途配布資料あり(ツボ、リンパ、サイドシャンプーの資料)
タオル・ヘアブラシ・シャンプークロス・ダックカール

担当者のプロフィール

井尻　聡は、4年間の美容室での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に
不可欠なシャンプーイングの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ヘアメイク	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	3年
美容総合学科	講座名	サロンブロー Ⅰ	担当者	渡邊雅美	履修区分	選択

授業の概要と方法

基本動作と丁寧な作業をベースに、応用力を活かしたテクニックを用いて、さまざまなヘアスタイルをつくる技術を身につける。
希望者による実習形式。

講義の達成目標

基本動作と丁寧な作業と応用力で、プロ仕様のヘアスタイルが正確かつ短時間で作成できる。

授業の内容・計画

第 1回	髪の長さ・状態の確認と注意点 髪の構造と性質
第 2回	タオルドライの効果と方法 タオルの材質と特徴
第 3回	ドライヤーの種類と使用法 手ぐしのしかた
第 4回	実習（タオルドライと手ぐしによる乾燥）
第 5回	ブラシの種類と使用法 ブラッシングのしかた
第 6回	ドライヤーのあてかた トリートメントの使いかた
第 7回	実習（ブラシとドライヤーによる乾燥）
第 8回	ヘアオイルの種類と使用法
第 9回	毛の流れを意識したブラッシング
第10回	実習（ヘアオイルの使用と効果の確認）
第11回	まとまりのあるスタイルの作りかた
第12回	ふんわりしたスタイルの作りかた
第13回	ヘアオイルやトリートメントによる仕上げ クールダウン
第14回	実習（タオルドライから仕上げまで①）
第15回	実習（タオルドライから仕上げまで②）
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

毎回、プリントを配布する。

担当者のプロフィール

渡邊雅美は、41年間にわたって美容院の経営に携わり、美容関連の実務者としての観点から、美容師に不可欠なスタイリング技術についての理解と技量を向上させる授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ヘアメイク	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	4年
美容総合学科	講座名	サロンブローⅡ	担当者	渡邊雅美	履修区分	選択

授業の概要と方法

基本動作と丁寧な作業をベースに、応用力を活かしたテクニックを用いて、さまざまなヘアスタイルをつくる技術を身につける。
希望者による実習形式。

講義の達成目標

基本動作と丁寧な作業と応用力で、プロ仕様のヘアスタイルが正確かつ短時間で作成できる。

授業の内容・計画

第 1回	タオルドライの注意点
第 2回	手ぐしによるもつれのほぐしかた スケルトンブラシとパドルブラシ
第 3回	霧吹きとスタイリング剤でのコーティング
第 4回	ツヤやハリコシを生むブロー
第 5回	手ぐしで崩れを戻せるブロー
第 6回	生えぐせやくせ毛を改善するブロー
第 7回	根元から毛先へのヘアブラシの動き
第 8回	ドライヤーの斜め45度からの送風 トップから毛先へのあてかた
第 9回	中間試験
第10回	ドライヤーの温風と冷風の使い分け 温風を手で受け止めながらの手ぐし
第11回	毛束を引っ張ってのあてかた
第12回	ブロッキングのしかた
第13回	ショートヘアのブロー
第14回	ミディアムヘアのブロー
第15回	ロングヘアのブロー
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

毎回、プリントを配布する。

担当者のプロフィール

渡邊雅美は、41年間にわたって美容院の経営に携わり、美容関連の実務者としての観点から、美容師に不可欠なスタイリング技術についての理解と技量を向上させる授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ワインディング	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	1年前期
高度美容総合学科	講座名	ワインディングⅠ－①	担当者	神田紗那	履修区分	必修

授業の概要と方法

サロンワークにおける施術の中で、姿勢や立ち位置～スライス～ブロッキング～巻き納めの基本工程を確実なものとして取り入れ、様々な構成を学ぶ。
クラス単位での実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

20分間で国家試験合格基準を超える技術の習得の前段階への到達
多様化するパーマの基礎技術の習得・知識の修得

授業の内容・計画

第 1回	ワインディング技術理論 用具の名称や使い方
第 2回	ウィック制作　ブロッキング～カッティング
第 3回	ブロッキング　10ブロック
第 4回	全頭60本～63本のオールパーパス構成を覚える スライスとシェープ
第 5回	上巻き　角度と巻き納め
第 6回	下巻き　角度と巻き納め
第 7回	作業姿勢とボディーポジション
第 8回	オールパーパス構成　センター、バックサイド
第 9回	オールパーパス構成　サイド オールパーパス全頭巻き　20～30分
第10回	全頭52本の国家試験新課題構成を覚える
第11回	ブロッキング　12ブロック
第12回	スライスとシェープ 上巻き　角度と巻き納め
第13回	下巻き　角度と巻き納め 作業姿勢とボディーポジション
第14回	新課題構成　センター～ネープ 新課題構成　フロント～バックサイド～ネープ
第15回	新課題構成　サイド 全頭20分　修整チェックポイント確認
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ワインディング教材　、「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献　：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

神田紗那は4年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての、美容師に不可欠なワインディングの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ワインディング	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	1年後期
高度美容総合学科	講座名	ワインディングⅠ－②	担当者	神田紗那	履修区分	必修

授業の概要と方法

サロンワークにおける施術の中で、姿勢や立ち位置～スライス～ブロッキング～巻き納めの基本工程を確実なものとして取り入れ、様々な構成を学ぶ。
クラス単位での実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

20分間で国家試験合格基準を超える技術の習得の前段階への到達
多様化するパーマの基礎技術の習得・知識の修得

授業の内容・計画

第 1回	ワインディング技術理論 用具の名称や使い方
第 2回	ウィック制作　ブロッキング～カッティング
第 3回	ブロッキング　10ブロック
第 4回	全頭60本～63本のオールパーパス構成を覚える スライスとシェープ
第 5回	上巻き　角度と巻き納め
第 6回	下巻き　角度と巻き納め
第 7回	作業姿勢とボディーポジション
第 8回	オールパーパス構成　センター、バックサイド
第 9回	オールパーパス構成　サイド オールパーパス全頭巻き　20～30分
第10回	全頭52本の国家試験新課題構成を覚える
第11回	ブロッキング　12ブロック
第12回	スライスとシェープ 上巻き　角度と巻き納め
第13回	下巻き　角度と巻き納め 作業姿勢とボディーポジション
第14回	新課題構成　センター～ネープ 新課題構成　フロント～バックサイド～ネープ
第15回	新課題構成　サイド 全頭20分　修整チェックポイント確認
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ワインディング教材　、「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献　：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

神田紗那は4年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての、美容師に不可欠なワインディングの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ワインディング	単位・時間数	1単位30時間	履修対象	1年後期
高度美容総合学科	講座名	ワインディングⅠ－③	担当者	神田紗那	履修区分	必修

授業の概要と方法

サロンワークにおける施術の中で、姿勢や立ち位置～スライス～ブロッキング～巻き納めの基本工程を確実なものとして取り入れ、様々な構成を学ぶ。
クラス単位での実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

20分間で国家試験合格基準を超える技術の習得の前段階への到達
多様化するパーマの基礎技術の習得・知識の修得

授業の内容・計画

第 1回	ワインディング技術理論 用具の名称や使い方
第 2回	ウィック制作　ブロッキング～カッティング ブロッキング　10ブロック
第 3回	全頭60本～63本のオールパーパス構成を覚える スライスとシェープ
第 4回	上巻き　角度と巻き納め 下巻き　角度と巻き納め
第 5回	作業姿勢とボディーポジション オールパーパス構成　センター、バックサイド
第 6回	オールパーパス構成　サイド オールパーパス全頭巻き　20～30分
第 7回	ブロッキング　12ブロック スライスとシェープ
第 8回	上巻き　角度と巻き納め 下巻き　角度と巻き納め

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ワインディング教材　、「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献　：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

神田紗那は4年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての、美容師に不可欠なワインディングの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ワインディング	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年
高度美容総合学科	講座名	ワインディングⅡ	担当者	石橋雅美	履修区分	必修

授業の概要と方法

サロンワークにおける施術の中で、姿勢や立ち位置～スライス～ブロッキング～巻き納めの基本工程を確実なものとして取り入れ、様々な構成を学ぶ。
クラス単位での実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

20分間で国家試験合格基準を超える技術の習得
多様化するパーマの基礎技術の習得・知識の修得

授業の内容・計画

第 1回	ワインディング技術理論 用具の名称や使い方
第 2回	ウィック制作 ブロッキング～カッティング
第 3回	ブロッキング 10ブロック
第 4回	全頭60本～63本のオールパーパス構成を覚える スライスとシェープ
第 5回	上巻き 角度と巻き納め
第 6回	下巻き 角度と巻き納め
第 7回	作業姿勢とボディーポジション
第 8回	オールパーパス構成 センター、バックサイド
第 9回	オールパーパス構成 サイド オールパーパス全頭巻き 20～30分
第10回	全頭52本の国家試験新課題構成を覚える
第11回	ブロッキング 12ブロック
第12回	スライスとシェープ 上巻き 角度と巻き納め
第13回	下巻き 角度と巻き納め 作業姿勢とボディーポジション
第14回	新課題構成 センター～ネープ 新課題構成 フロント～バックサイド～ネープ
第15回	新課題構成 サイド 全頭20分 修整チェックポイント確認
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ワインディング教材 、「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献 :「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

石橋雅美は4年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての、美容師に不可欠なワインディングの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	オールウェーブ	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年前期
高度美容総合学科	講座名	オールウェーブ①	担当者	飯島庸子	履修区分	必修

授業の概要と方法

ウィッグ制作から全ての確認まで27分間で確実に作成できる技術を身につける。
理論の理解を深めながら、各項目の採点基準に照らして重点を確認する。
クラス単位での実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

美容師国家試験課題である科目の合格基準に達する技術の習得

授業の内容・計画

第 1回	ヘアセッティング ≪オールウェーブセッティング≫の技術理論
第 2回	ウィッグブロッキング
第 3回	ウィッグカット
第 4回	ウィッグレザーカット
第 5回	ウィッグパーマ
第 6回	フィンガーウェーブ トローとリッジ コームと指の使い方
第 7回	フィンガーウェーブ ノーパート6段構成 作り方と幅を覚える
第 8回	ハーフウェーブとフルウェーブ
第 9回	ピンカール スカルプチュアカール
第 10回	ピンカール リフトカール左巻き
第 11回	ピンカール リフトカール右巻き
第 12回	ピンカール メイポールカール
第 13回	ピンカール クロッキノールカール
第 14回	ウェーブ面とピンカールのつながりとバランスの理解
第 15回	採点項目・構成ミス点についての理解
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ウェーブ教材 「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献 : 「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

飯島庸子は14年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師に不可欠なオールウェーブの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	オールウェーブ	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年後期
高度美容総合学科	講座名	オールウェーブ②	担当者	飯島庸子	履修区分	必修

授業の概要と方法

ウィッグ制作から全ての確認まで27分間で確実に作成できる技術を身につける。
理論の理解を深めながら、各項目の採点基準に照らして重点を確認する。
クラス単位での実習形式。

講義の達成目標

美容師国家試験課題である科目の合格基準に達する技術の習得

授業の内容・計画

第 1回	ヘアセッティング ≪オールウェーブセッティング≫の技術理論の確認 ウィッグブロッキング
第 2回	ウィッグカット ウィッグレザーカット
第 3回	ウィッグパーマ
第 4回	フィンガーウェーブ トローとリッジ コームと指の使い方の確認
第 5回	フィンガーウェーブ ノーパート7段構成 作り方と幅の確認
第 6回	ハーフウェーブとフルウェーブ
第 7回	ピンカール スカルプチュアカール
第 8回	ピンカール リフトカール左巻き
第 9回	ピンカール リフトカール右巻き
第10回	ピンカール メイポールカール
第11回	ピンカール クロッキノールカール
第12回	ウェーブ面とピンカールのつながりとバランスの確認
第13回	採点項目 構成ミス点の確認
第14回	全体のタイム確認 ≪オールウェーブセッティング≫の技術理論と照らし合わせた全体確認
第15回	25分間での作品制作と修正チェック
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ウェーブ教材 「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献 :「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

飯島庸子は、14年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師に不可欠なオールウェーブの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	パーマ&カラー	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年
高度美容総合学科	講座名	パーマ&カラー	担当者	石橋　雅美	履修区分	必修

授業の概要と方法

パーマ並びにカラーリングに関する基礎知識及び実践的技術を習得する。
クラス単位による実習形式。

講義の達成目標

サロンにて即戦力になる技術力の習得とお客様へのリラクゼーション効果の理解

授業の内容・計画

第 1回	カラーの分類　酸性染毛剤・脱色剤・毛髪着色料
第 2回	カラー理論　ヘアカラー剤の種類と区分
第 3回	カラー剤の発色仕組み　染毛剤と脱色・脱染　発色の関係
第 4回	薬剤の作り方　計量の方法と1・2剤の混合方法
第 5回	薬剤の塗り方　薬剤の取り方と、用具(ハケ)の使いかたと塗布量
第 6回	薬剤塗布レッスン
第 7回	パーマ理論① 毛髪と薬剤
第 8回	パーマ理論② ロッドのサイズと形状・ステムの角度と巻き収め
第 9回	毛髪診断　損傷毛・撥水毛
第10回	巻き方の基本パターン
第11回	ストレートパーマのプロセスと注意点
第12回	ロングウェーブのロッド巻きパターン
第13回	クセ毛タッチのウィービングスタイル
第14回	巻き髪風毛先カールパーマ
第15回	縮毛矯正 毛髪と薬剤・アイロン技術
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容実習」(日本理容美容教育センター)　参考文献:「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)
タオル・シャンプークロス・カテリーナブラシ・ダックカール

担当者のプロフィール

石橋雅美は、17年の美容室の勤務経験があり、美容関係の実務者として、
美容師に不可欠なパーマとカラーリングについての知識と技能を伝える授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	カラーリング	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	3年
高度美容総合学科	講座名	カラーⅠ	担当者	吉沢圭太	履修区分	選択

授業の概要と方法

カラーリングの基礎及び、実践的な技術を習得する
希望者による実習形式で行う。

講義の達成目標

サロンワークでの施術
理論講習及び実習

授業の内容・計画

第 1回	カラーの分類 酸性染毛剤・脱色剤・毛髪着色料
第 2回	カラー理論 ヘアカラー剤の種類と区分
第 3回	カラー剤の発色仕組み 染毛剤と脱色・脱染　発色の関係
第 4回	薬剤の作り方 計量の方法と1・2剤の混合方法
第 5回	薬剤の塗り方 薬剤の取り方と、用具(ハケ)の使いかたと塗布量
第 6回	グレイヘアのワンメイク ブロッキングと塗布手順　上部から下部へ
第 7回	グレイカラー グレイカラーのリタッチ方法
第 8回	バージン毛のワンメイク ファーストカラーの塗布方法
第 9回	ファッションカラーリタッチ 一般的なカラーメニューの塗布方法
第 10回	ヘアマニキュア① 酸化染毛料のメカニムズと注意点
第 11回	ヘアマニキュア② グレイヘアリタッチ
第 12回	ホイルワーク ウィービングの基本
第 13回	サーマルペーパー サーマルペーパーでの塗布分け方法
第 14回	バタフライチップ グラデーションカラーを表現する
第 15回	バレイヤージュ 筋状のハイライト
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

別途配布資料あり
ウィック・ハケ・コーム・スプレイアー・クランプ・カラー剤

担当者のプロフィール

吉沢圭太は、10年以上にわたるカラーリストの経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠なカラーリングについての理解と技量を向上させる授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	カラーリング	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	4年
高度美容総合学科	講座名	カラーⅡ	担当者	吉沢圭太	履修区分	選択

授業の概要と方法

カラーリングの基礎及び、実践的な技術を習得する
希望者による実習形式で行う。

講義の達成目標

サロンワークでの施術
理論講習及び実習

授業の内容・計画

第 1回	グレイヘアのワンメイク ブロッキングと塗布手順　上部から下部へ
第 2回	グレイカラー グレイカラーのリタッチ方法
第 3回	バージン毛のワンメイク ファーストカラーの塗布方法
第 4回	ファッションカラーリタッチ 一般的なカラーメニューの塗布方法
第 5回	ヘアマニキュア① 酸化染毛料のメカニムズと注意点
第 6回	ヘアマニキュア② グレイヘアリタッチ
第 7回	ホイルワーク ウィービングの基本
第 8回	サーマルペーパー サーマルペーパーでの塗布分け方法
第 9回	バタフライチップ グラデーションカラーを表現する
第 10回	バレイヤージュ 筋状のハイライト
第 11回	エマルジョン(乳化) 乳化の目的
第 12回	トナー 色素の補正と補強
第 13回	アプリケーター アプリケーター塗布方法
第 14回	トーンの理解 レベルスケールとアンダートーン
第 15回	実技試験 ウィックと人頭カラー
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

別途配布資料あり
ウィック・ハケ・コーム・スプレイアー・クランプ・カラー剤

担当者のプロフィール

吉沢圭太は、10年以上にわたるカラーリストの経験があり、美容関連の実務者として、
美容師に不可欠なカラーリングについての理解と技量を向上させる授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	パーマネント	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	3年
高度美容総合学科	講座名	パーマⅠ	担当者	佐藤友彦	履修区分	選択

授業の概要と方法

パーマの基礎及び、実践的な技術を習得する
希望者による実習形式で行う。

講義の達成目標

サロンワークでの施術

授業の内容・計画

第 1回	パーマ理論① 毛髪と薬剤
第 2回	パーマ理論② ロッドのサイズと形状・ステムの角度と巻き収め
第 3回	毛髪診断 損傷毛・撥水毛
第 4回	巻き方パターン 巻き方の基本パターンを覚える
第 5回	巻き方パターン 巻き方の基本パターンを覚える
第 6回	ボディパーマ(アップステム)
第 7回	ボディパーマ(アップステム)
第 8回	スパイラルパーマ(毛先巻き・根本巻き・中間巻き)
第 9回	スパイラルパーマ(毛先巻き・根本巻き・中間巻き)
第 10回	ピンパーマ ピンカールの種類と分類
第 11回	ピンパーマ ピンカールの種類と分類
第 12回	ピンパーマ ピンパーマとロッドの組合わせ方
第 13回	ピンパーマ ピンパーマとロッドの組合わせ方
第 14回	ピンパーマ ショート・ミディアム・ピンパーマデザイン
第 15回	ピンパーマ ショート・ミディアム・ピンパーマデザイン
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

別途配布資料あり
ウィック・ハケ・コーム・スプレイアー・クランプ・カラー剤

担当者のプロフィール

佐藤友彦は、20年以上にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師の国家試験合格に必要な知識及び技能を確かなものとする授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	パーマネント	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	4年
高度美容総合学科	講座名	パーマⅡ	担当者	佐藤友彦	履修区分	選択

授業の概要と方法

パーマの基礎及び、実践的な技術を習得する
希望者による実習形式で行う。

講義の達成目標

サロンワークでの施術

授業の内容・計画

第 1回	ストレートパーマ ストレートパーマのプロセスと注意点
第 2回	薬剤塗布レッスン
第 3回	縮毛矯正 毛髪と薬剤・アイロン技術
第 4回	フロント・前髪のパーマテクニック
第 5回	ロングウェーブのロッド巻きパターン
第 6回	ナチュラル(クセ毛タッチのウィービングスタイル)
第 7回	ナチュラル(クセ毛タッチのウィービングスタイル)
第 8回	毛先パーマ 巻き髪風毛先カールパーマ
第 9回	毛先パーマ 巻き髪風毛先カールパーマ
第 10回	ボブスタイルの毛先パーマ
第 11回	ボブスタイルの毛先パーマ
第 12回	メンズパーマ ボリュームアップ
第 13回	メンズパーマ ボリュームアップ
第 14回	ツイスト ねじりを付け、ロッド巻きで作るウェーブニュアンス
第 15回	ツイスト ねじりを付け、ロッド巻きで作るウェーブニュアンス
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

別途配布資料あり
ウィック・ハケ・コーム・スプレイアー・クランプ・カラー剤

担当者のプロフィール

佐藤友彦は、20年以上にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師の国家試験合格に必要な知識及び技能を確かなものとする授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ヘアメイク	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	1年前期
高度美容総合学科	講座名	ヘアアレンジ	担当者	楢木省悟	履修区分	選択

授業の概要と方法

基本動作と丁寧な作業をベースに、応用力を活かしたテクニックを用いて、さまざまなヘアスタイルをつくる技術を身につける。

希望者による実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

基本動作と丁寧な作業と応用力で、幅広いデザインの作品が正確かつ短時間で作成できる。

授業の内容・計画

第 1回	アップスタイリング技術理論　ヘア実習道具説明・セッティングの方法
第 2回	ブラッシング… 一束結び、二束結び、三編み　ピンの止め方と面の出し方
第 3回	ポンパドール… ブロッキング、逆毛の立て方、和櫛の使い方　逆毛と面のまとめ方、和櫛の使い方
第 4回	ポンパドール… タイムトライアル　実技試験
第 5回	夜会巻き… ブロッキング、逆毛の立て方、ねじり方、ピニングの方法　フロントの作り方
第 6回	夜会巻き… タイムトライアル　実技試験
第 7回	新日本髪… すき毛作り、ブロッキング、すき毛の止め方　まげの種類と作り方
第 8回	新日本髪… タイムトライアル　実技試験
第 9回	カラーリングの方法と実践
第10回	カラーリングの方法と実践
第11回	人頭ヘアー制作
第12回	人頭ヘアー制作
第13回	和装コンテスト、ヘアー制作
第14回	舞台、人頭ヘアー制作
第15回	舞台、人頭ヘアー制作
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容実習」(日本理容美容教育センター)　参考文献「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)
リングコーム・カテリーナブラシ・ダックカール・アメピン・オニピン・台皿

担当者のプロフィール

楢木省悟は、美容専門学校に勤務する傍ら、介護の仕事にも携わり、美容師に不可欠なホスピタリティの重要さを伝えながら、授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ヘアメイク	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年後期
高度美容総合学科	講座名	スタイリング基礎	担当者	楢木省悟	履修区分	選択

授業の概要と方法

資料での説明を受けてから、デモンストレーション後に実践する。
各回のテーマに沿って学びつつ、美容全般についての見識を深め、学習成果の報告・発表を行う。
希望者による実習形式。

講義の達成目標

サロンワークが十分にこなせる技術を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	スタイル作成 ： スタイルアレンジの撮影、アングルの決め方
第 2回	カメラ撮影 ： アングルの決め方
第 3回	ヘアブロー ： クリエイティブ ブロー
第 4回	ヘアセッティング ： 仕上げの美しい面の作り方
第 5回	ヘアアレンジ ： ヘアアレンジの種類と方法、毛先のレザーカットによる質感作り
第 6回	ヘアアレンジ ： トータルメイクコンテストにおけるヘア指導
第 7回	デザイン作成 ： デッサンやテーマ、画像作成、色彩(ヘアカラー)のバランス
第 8回	デザイン作成 ： ヘア土台の作り方・バランスのとり方
第 9回	アートヘア ： 素材作り・形・イメージ
第 10回	似合うスタイルとは ： 顔骨格からの的確なフォルム診断
第 11回	サロンワーク ： サロンワークに活かせる簡単アレンジ
第 12回	サロンワーク実践 ： アレンジ作品、制作と指導
第 13回	作品制作 ： 模倣アップスタイル作品のデザイン、制作と指導
第 14回	模擬試験 ： 実技 … 模倣アップスタイル試験(30分間) ※練習と本番
第 15回	模擬試験 ： 成果報告発表
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

4/5以上の出席と実技試験の本校採点基準で100点満点中70点以上をクリアした者に対し、授業態度及び宿題、レポート等の提出内容を加味して、5段階で評価する。

使用教材

別途配布資料あり
ブラシ・コーム・ウィック・ドライアー・ピン・クランプ

担当者のプロフィール

楢木省悟は、美容専門学校に勤務する傍ら、介護の仕事にも携わり、美容師に不可欠なホスピタリティの重要さを伝えながら、授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ヘアメイク	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	3年
高度美容総合学科	講座名	スタイリング応用	担当者	尾崎里子	履修区分	選択

授業の概要と方法

資料での説明を受けてから、デモンストレーション後に実践する。
各回のテーマに沿って学びつつ、美容全般についての見識を深め、学習成果の報告・発表を行う。
希望者による実習形式で行う。

講義の達成目標

サロンワークが十分にこなせる技術を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	スタイル作成 ： スタイルアレンジの撮影、アングルの決め方
第 2回	カメラ撮影 ： アングルの決め方
第 3回	ヘアブロー ： クリエイティブ ブロー
第 4回	ヘアセッティング ： 仕上げの美しい面の作り方
第 5回	ヘアアレンジ ： ヘアアレンジの種類と方法、毛先のレザーカットによる質感作り
第 6回	ヘアアレンジ ： トータルメイクコンテストにおけるヘア指導
第 7回	デザイン作成 ： デッサンやテーマ、画像作成、色彩(ヘアカラー)のバランス
第 8回	デザイン作成 ： ヘア土台の作り方・バランスのとり方
第 9回	アートヘア ： 素材作り・形・イメージ
第 10回	似合うスタイルとは ： 顔骨格からの的確なフォルム診断
第 11回	サロンワーク ： サロンワークに活かせる簡単アレンジ
第 12回	サロンワーク実践 ： アレンジ作品、制作と指導
第 13回	作品制作 ： 模倣アップスタイル作品のデザイン、制作と指導
第 14回	模擬試験 ： 実技 … 模倣アップスタイル試験(30分間) ※練習と本番
第 15回	模擬試験 ： 成果報告発表
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示(デザイン等の提出物あり)

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

別途配布資料あり
ブラシ・コーム・ウィック・ドライアー・ピン・クランプ

担当者のプロフィール

尾崎里子は、15年以上にわたって美容院に勤務し、美容関連の実務者として、美容師に不可欠なスタイリング技術についての理解と技量を向上させる授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ヘアメイク	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	4年
高度美容総合学科		アップスタイル	担当者	正宗仁史	履修区分	選択

授業の概要と方法

基本動作と丁寧な作業をベースに、応用力を活かしたテクニックを用いて、さまざまなヘアスタイルをつくる技術を身につける。
希望者による実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

基本動作と丁寧な作業と応用力で、幅広いデザインの作品が正確かつ短時間で作成できる。

授業の内容・計画

第 1回	アップスタイリング技術理論
第 2回	ヘア実習道具説明・セッティングの方法
第 3回	ブラッシング… 一束結び、二束結び、三編み
第 4回	ピンの止め方と面の出し方
第 5回	ポンパドール… ブロッキング、逆毛の立て方、和櫛の使い方
第 6回	ポンパドール… 逆毛と面のまとめ方、和櫛の使い方
第 7回	ポンパドール… タイムトライアル
第 8回	実技試験
第 9回	夜会巻き… ブロッキング、逆毛の立て方、ねじり方、ピニングの方法
第10回	夜会巻き… フロントの作り方
第11回	夜会巻き… タイムトライアル
第12回	実技試験
第13回	新日本髪… すき毛作り、ブロッキング、すき毛の止め方
第14回	まげの種類と作り方
第15回	新日本髪… タイムトライアル
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

アップ教材　「美容実習」(日本理容美容教育センター)
リングコーム・カテリーナブラシ・ダックカール・アメピン・オニピン・台Ⅲ

担当者のプロフィール

正宗仁史は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師の仕事の幅を拡げるアップスタイリングについての技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ヘアメイク	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	3年前期
高度美容総合学科	講座名	ヘア総合Ⅰ①	担当者	渡邊雅美	履修区分	選択

授業の概要と方法

ヘアアップスタイリングの基礎の習得を経て、応用により多数のスタイルを制作する。
資料による説明とデモンストレーションを経て、実践する、実習形式。
2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

自己デザインのアップスタイルの施術ができる理論と技術を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	シャンプー … 手順と動き
第 2回	シャンプー … 練習とテスト
第 3回	カット … シザーの使い方・持ち方、セイムレイヤー
第 4回	カット … ワンレングス&ブロー
第 5回	カット … ワンレングスベースの45度グラデーション
第 6回	カット … ボブでBOXカット
第 7回	カット … グラデーション
第 8回	カット … ロング、ローレイアースタイル
第 9回	カット … ワンレングスベースの44度グラデーション
第 10回	カット … ボブ＋43度グラデーション
第 11回	カット … ショートスタイル
第 12回	カット … コテアレンジ方法
第 13回	カット … ストレートアイロンアレンジ方法
第 14回	試験チェック … シャンプー
第 15回	試験チェック … ワンレングス&ブロー、コテ仕上げ
第 16回	実技試験 … シャンプー、ワンレングス&ブロー、コテ仕上げ60分

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ヘア教材、および必要に応じて、参考資料を配布する。

担当者プロフィール

渡邊雅美は、41年間にわたって美容院の経営に携わり、美容関連の実務者としての観点から、美容師に不可欠なスタイリング技術についての理解と技量を向上させる授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ヘアメイク	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	3年後期
高度美容総合学科	講座名	ヘア総合Ⅰ②	担当者	渡邊雅美	履修区分	選択

授業の概要と方法

ヘアアップスタイリングの基礎の習得を経て、応用により多数のスタイルを制作する。
資料による説明とデモンストレーションを経て、実践する、実習形式。
2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

自己デザインのアップスタイルの施術ができる理論と技術を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	シャンプー … バックシャンプー
第 2回	シャンプー … ヘアトリートメント
第 3回	カット … セイムレイヤー
第 4回	カット … ワンレングス&ブロー
第 5回	カット … ワンレングスベースの45度グラデーション
第 6回	カット … ボブでBOXカット
第 7回	カット … グラデーション
第 8回	カット … ロング、ローレイアースタイル
第 9回	カット … ワンレングスベースの44度グラデーション
第 10回	カット … ボブ＋43度グラデーション
第 11回	カット … ショートスタイル
第 12回	カット … コテアレンジ方法
第 13回	カット … ストレートアイロンアレンジ方法
第 14回	試験チェック … シャンプー
第 15回	試験チェック … ワンレングス&ブロー、コテ仕上げ
第 16回	実技試験 … シャンプー、ワンレングス&ブロー、コテ仕上げ60分

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

別途配布資料あり

担当者のプロフィール

渡邊雅美は、41年間にわたって美容院の経営に携わり、美容関連の実務者としての観点から、美容師に不可欠なスタイリング技術についての理解と技量を向上させる授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ヘアメイク	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	4年
高度美容総合学科	講座名	ヘア総合Ⅱ	担当者	渡邊雅美	履修区分	選択

授業の概要と方法

実習により、各種機器を用いて様々なヘアスタイルをマスターする。
2コマ連続で実施する実習形式。

講義の達成目標

まとめ髪等の基本を理解する。
様々なヘアアレンジ等を施すことができるようになる。

授業の内容・計画

第 1回	一束まとめ実習
第 2回	シニヨン、おだんご　　リクルート風ヘア実習、試験
第 3回	リクルート風ヘア実習、試験　　ホットカーラー
第 4回	ホットカーラー(下巻)　　三つ編み
第 5回	ホットカーラー(上巻、下巻)　　ヘアアレンジ(団子)
第 6回	ヘアアレンジ
第 7回	ホットカーラー　スタイリング
第 8回	浴衣に合うスタイリング実習、テスト
第 9回	ヘアアイロン
第10回	ヘアアイロン　　ヘアアイロン「フォワード巻」
第11回	ヘアアイロン　　ヘアアイロン「フォワード巻」
第12回	カールアイロン「リバース巻」　　三つ編み、編みこみアレンジ
第13回	三つ編み、編みこみアレンジ　　カールアイロン「MIX]巻
第14回	カールアイロン「MIX]巻　　おだんごのまとめ
第15回	表編みこみ　　裏編みこみ
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ヘア教材、および必要に応じて、参考資料を配布する。

担当者プロフィール

渡邊雅美は、41年間にわたって美容院の経営に携わり、美容関連の実務者としての観点から、美容師に不可欠なスタイリング技術についての理解と技量を向上させる授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	睫毛エクステンション	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	3年
高度美容総合学科	講座名	まつエクⅠ	担当者	枝折　憲	履修区分	選択

授業の概要と方法

ウィックから始めて人体での施術練習を経て、相モデルに慣れて行く。
希望者による実習形式で行う。

講義の達成目標

1時間でオフまでの睫毛エクステンション施術が出来るようになる。

授業の内容・計画

第 1回	用具 … 毛の取り扱い方、アンダーテープ使用方法
第 2回	アンダーテープの取り扱い … 細かな作業に慣れる
第 3回	衛生面と前処理の仕方 … アンダーテープ前処理方法、テープの貼り方の角度、瞼の引き上げ
第 4回	前回の復習 … 睫毛塗布までの一連の作業を復習・確認
第 5回	アンダーテープの施術 … ポイント取り、アンダーテープの注意点
第 6回	アンダーテープの正しい貼り方と方向性 … ホワイトライン・Jカールの付け方
第 7回	エクステ … リムーバーのはずし方、ナチュラルなアンダーテープ塗布
第 8回	エクステ … リムーバーのはずし方、皮膚への負担を考慮したリムーバーオフ
第 9回	ウィックでの練習 … アンダーテープの正確性
第 10回	ウィックでの練習 … オフまでを含めた30分間で30本の施術
第 11回	相モデル … 30本施術、オフとクールの付け方と方向性
第 12回	前回の復習 … グルーの量に注意する
第 13回	オフの方法 … リムーバオフの注意点
第 14回	相モデル … 30本施術、Cカール塗布、両目で30分以内の完成
第 15回	相モデル … 60本施術、クール系で仕上げる
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

毎時の授業にて、到達点に達していないものはウィックにての復習課題を提出

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

睫毛エクステパーフェクトマスター
スリービューティ睫毛エクステンションキット

担当者のプロフィール

枝折　憲は、20年以上の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師の仕事の幅を広げる睫毛エクステンションについての理解と技量を向上させる
授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	睫毛エクステンション	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	4年
高度美容総合学科	講座名	まつエクⅡ	担当者	枝折　憲	履修区分	選択

授業の概要と方法

ウィックから始めて人体での施術練習を経て、相モデルに慣れて行く。
希望者による実習形式。

講義の達成目標

サロンワークとしての施術ができるようになる。
アイラッシュエクステンションアカデミー修了認定に合格する。

授業の内容・計画

第 1回	前処理及びアンダーテープ … ウィックでの動作確認チェック
第 2回	リムーバーの取り扱い … 細かな作業が出来ているか
第 3回	アンダーテープの貼り方 … 毛の取り方・付け方
第 4回	衛生面と前処理の仕方 … テープの貼り方の角度、瞼の引き上げ
第 5回	1～4までの復習 … 30分間での流れ動作確認
第 6回	ポイント取り … アンダーテープの注意点
第 7回	Jカール塗布 … 付け方とホワイトライン
第 8回	アンダーテープ … ナチュラルな塗布
第 9回	アンダーテープ … アンダーテープの正確性チェック
第 10回	オフの方法 … 復習
第 11回	グルー … 適正量を覚える
第 12回	Cカール塗布 … 両目で30分以内の完成
第 13回	クール系仕上げ … クール系塗布、両目60分
第 14回	相モデル60分 … クール系塗布、両目60分
第 15回	相モデル60分 … クール系塗布、両目61分
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

毎時の授業にて、到達点に達していないものはウィックにての復習課題を提出

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

睫毛エクステパーフェクトマスター
スリービューティ睫毛エクステンションキット

担当者のプロフィール

枝折　憲は、20年以上の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師の仕事の幅を広げる睫毛エクステンションについての理解と技量を向上させる
授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	スペシャリスト	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	3年
高度美容総合学科	講座名	スペシャリストⅠ	担当者	中務 真澄	履修区分	選択

授業の概要と方法

オムニバス形式での各分野のスペシャリストによる講義と実習。
希望者による実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

各分野における一流かつ最先端の理論と技術に触れて、知識と技術の向上を図る。

授業の内容・計画

第 1回	スタイリング① おだんごスタイル
第 2回	ヘアカラー① カラー理論と薬剤
第 3回	パーマ総合① 毛髪診断と薬剤
第 4回	スタイリング② ポンパドール
第 5回	ヘアカラー② ブロッキングと手順
第 6回	パーマ総合② 巻き方とデザイン
第 7回	スタイリング③ 日本髪
第 8回	ヘアカラー③ ヘアマニュキア
第 9回	パーマ総合③ スタイルとアレンジ
第10回	スタイリング④ シニヨン
第11回	ブライダル①
第12回	ブライダル②
第13回	着付①
第14回	着付②
第15回	レセプション
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント

担当者のプロフィール

中務真澄は、12年間にわたるエステティシャンとしての勤務経験があり、美容関連の実務者としての、美容師の仕事の幅を広げるエステティックについての技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	スペシャリスト	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	4年前期
高度美容総合学科	講座名	スペシャリストⅡ－①	担当者	中務　真澄	履修区分	選択

授業の概要と方法

オムニバス形式での各分野のスペシャリストによる講義と実習。
希望者による実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

各分野における一流かつ最先端の理論と技術に触れて、知識と技術の向上を図る。

授業の内容・計画

第 1回	クリエイティブメイク
第 2回	特殊メイク①
第 3回	シアトリカルメイク①
第 4回	まつ毛エクステンション①
第 5回	特殊メイク②
第 6回	シアトリカルメイク②
第 7回	まつ毛エクステンション②
第 8回	特殊メイク③
第 9回	ジェルアート①
第10回	写真①
第11回	まつ毛エクステンション③
第12回	ジェルアート②
第13回	写真②
第14回	まつ毛エクステンション④
第15回	ジェルアート③
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント

担当者のプロフィール

中務真澄は、12年間にわたるエステティシャンとしての勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師の仕事との幅を広げるエステティックについての技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	スペシャリスト	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	4年後期
高度美容総合学科	講座名	スペシャリストⅡ－②	担当者	中務　真澄	履修区分	選択

授業の概要と方法

オムニバス形式での各分野のスペシャリストによる講義と実習。
希望者による講義及び実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

各分野における一流かつ最先端の理論と技術に触れて、知識と技術の向上を図る。

授業の内容・計画

第 1回	ビューティ心理学①　ビジネスパフォーマンス①
第 2回	ビューティ心理学②　ビジネスパフォーマンス②
第 3回	ビューティ心理学③　ビジネスパフォーマンス③
第 4回	音楽療法①　ビジネスパフォーマンス④
第 5回	音楽療法②　経営学概論①
第 6回	音楽療法③　経営学概論②
第 7回	ビューティ&コスメトレンド論①　経営学概論③
第 8回	ビューティ&コスメトレンド論②　マーケティング基礎①
第 9回	ビューティ&コスメトレンド論③　マーケティング基礎②
第10回	ビューティ&コスメトレンド論④　マーケティング基礎③
第11回	パーソナルカラー①　ホスピタリティ概論①
第12回	パーソナルカラー②　ホスピタリティ概論②
第13回	パーソナルカラー③　ホスピタリティ概論③
第14回	アロマセラピー①　ICT基礎①
第15回	アロマセラピー②　ICT基礎②
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント

担当者のプロフィール

中務真澄は、12年間にわたるエステティシャンとしての勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師の仕事との幅を広げるエステティックについての技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	総合実習Ⅰ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	1年
高度美容総合学科	講座名	総合実習Ⅰ	担当者	杉本永恵	履修区分	必修

授業の概要と方法

国家試験に向けて試験課題を総合的に練習する。
クラス単位での実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

国家試験合格を目指す。

授業の内容・計画

第 1回	国家試験の流れと準備
第 2回	衛生チェックの流れと事前準備
第 3回	衛生チェックの流れと事前準備
第 4回	第一課題の流れと実践
第 5回	第一課題の流れと実践
第 6回	第一課題の流れと実践
第 7回	第一課題の流れと実践
第 8回	第一課題の流れと実践
第 9回	第一課題の流れと実践
第10回	第二課題の流れと実践
第11回	第二課題の流れと実践
第12回	第二課題の流れと実践
第13回	第二課題の流れと実践
第14回	第二課題の流れと実践
第15回	第二課題の流れと実践
第16回	国家試験対策

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント
参考文献 ：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

杉本永恵は、4年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師の国家試験合格に必要な知識及び技能を確かなものとする授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	総合実習Ⅱ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年前期
高度美容総合学科	講座名	総合実習Ⅱ－①	担当者	釣谷恵美	履修区分	必修

授業の概要と方法

国家試験に向けて試験課題を総合的に練習する。
クラス単位での実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

国家試験合格を目指す。

授業の内容・計画

第 1回	国家試験の流れと準備
第 2回	衛生チェックの流れと事前準備
第 3回	衛生チェックの流れと事前準備
第 4回	第一課題の流れと実践
第 5回	第一課題の流れと実践
第 6回	第一課題の流れと実践
第 7回	第一課題の流れと実践
第 8回	第一課題の流れと実践
第 9回	第二課題の流れと実践
第10回	第二課題の流れと実践
第11回	第二課題の流れと実践
第12回	第二課題の流れと実践
第13回	第二課題の流れと実践
第14回	国家試験対策
第15回	国家試験対策
第16回	国家試験対策

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント
参考文献 ：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

釣谷恵美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠な美容技術理論についての理解を深める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	総合実習Ⅱ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年前期
高度美容総合学科	講座名	総合実習Ⅱ－②	担当者	釣谷恵美	履修区分	必修

授業の概要と方法

国家試験に向けて試験課題を総合的に行う。
クラス単位での実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

国家試験合格を目指す。

授業の内容・計画

第 1回	第一課題の流れと実践
第 2回	第一課題の流れと実践
第 3回	第一課題の流れと実践
第 4回	第一課題の流れと実践
第 5回	第一課題の流れと実践
第 6回	第一課題の流れと実践
第 7回	第一課題の流れと実践
第 8回	第一課題の流れと実践
第 9回	第一課題の流れと実践
第10回	第一課題の流れと実践
第11回	第一課題の流れと実践
第12回	第一課題の流れと実践
第13回	第一課題の流れと実践
第14回	国家試験対策
第15回	国家試験対策
第16回	国家試験対策

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント
参考文献 ：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

釣谷恵美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師に不可欠な美容技術理論についての理解を深める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	総合実習Ⅱ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
高度美容総合学科	講座名	総合実習Ⅱ－③	担当者	釣谷恵美	履修区分	必修

授業の概要と方法

国家試験に向けて試験課題を総合的に行う。
クラス単位での実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

国家試験合格を目指す。

授業の内容・計画

第 1回	第二課題の流れと実践
第 2回	第二課題の流れと実践
第 3回	第二課題の流れと実践
第 4回	第二課題の流れと実践
第 5回	第二課題の流れと実践
第 6回	第二課題の流れと実践
第 7回	第二課題の流れと実践
第 8回	第二課題の流れと実践
第 9回	第二課題の流れと実践
第10回	第二課題の流れと実践
第11回	第二課題の流れと実践
第12回	第二課題の流れと実践
第13回	国家試験対策
第14回	国家試験対策
第15回	国家試験対策
第16回	**国家試験対策**

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント
参考文献 ：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

釣谷恵美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師に不可欠な美容技術理論についての理解を深める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	総合実習Ⅱ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
高度美容総合学科	講座名	総合実習Ⅱ－④	担当者	釣谷恵美	履修区分	必修

授業の概要と方法

国家試験に向けて試験課題を総合的に行う。
クラス単位での実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

国家試験合格を目指す。

授業の内容・計画

第 1回	第一課題の流れと実践
第 2回	第一課題の流れと実践
第 3回	第一課題の流れと実践
第 4回	第一課題の流れと実践
第 5回	第一課題の流れと実践
第 6回	第一課題の流れと実践
第 7回	第二課題の流れと実践
第 8回	第二課題の流れと実践
第 9回	第二課題の流れと実践
第10回	第二課題の流れと実践
第11回	第二課題の流れと実践
第12回	第二課題の流れと実践
第13回	国家試験対策
第14回	国家試験対策
第15回	国家試験対策
第16回	**国家試験対策**

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント
参考文献 ：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

釣谷恵美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠な美容技術理論についての理解を深める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	メイクアップ	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年前期
高度美容総合学科	講座名	メイクⅠ	担当者	杉本永恵	履修区分	H・T 選択 C 必修

授業の概要と方法

40分間で基本となるナチュラルメイクを施術する技能を身につけるためのトレーニングを行う。
クラス単位での実習形式。

講義の達成目標

ハリウッドメイク検定3級合格の基準に適応する技術の習得
スキンケア基礎・メイク基本技術・メイク基礎理論の習得

授業の内容・計画

第 1回	メイクアップアーティストとしての心構え　メイク道具名称　顔の名称　フェースプロポーション
第 2回	接客マナー
第 3回	ベースメイクアップ　　コントロールカラー、ファンデーションの種類
第 4回	ファンデーションテクニック　リキッドファンデーションテクニック
第 5回	ファンデーションカラー　フェースパウダー
第 6回	アイメイク…　アイシャドー、アイライン
第 7回	アイメイク…　マスカラ、アイブロウ
第 8回	リップ…　仕上げ、口紅の種類、リップテクニック
第 9回	チーク…　ハイライト、シャドウ　ベースから仕上げまで
第10回	相モデル　フルメイク　40分
第11回	相モデル　フルメイク　40分
第12回	相モデル　フルメイク　40分
第13回	相モデル　フルメイク　40分
第14回	相モデル　フルメイク　40分
第15回	メイクアップ検定　3級実技試験対策
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容実習」(日本理容美容教育センター)　参考文献:「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)
アイブロウペンシル・アイライナー・マスカラ・パフ・タオル・メイクパレット・クレンジングミルク・コットン

担当者のプロフィール

杉本永恵は、4年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師に不可欠なメイクアップの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	メイクアップ	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年前期
高度美容総合学科	講座名	メイクⅡ	担当者	曺　銀淑	履修区分	必修

授業の概要と方法

40分間で基本となるナチュラルメイクを施術する。
スキンケア基礎・メイク基本技術・メイク基礎理論を習得する。
クラス単位での実技形式。

講義の達成目標

ハリウッドメイク検定3級合格基準とした技術の習得
スキンケア基礎・メイク基本技術・メイク基礎理論の習得

授業の内容・計画

第 1回	メイクアップアーティストとしての心構え、メイク道具名称　顔の名称、フェースプロポーション
第 2回	接客マナー　　ベースメイクアップ
第 3回	コントロールカラー、ファンデーションの種類　ファンデーションテクニック
第 4回	リキッドファンデーションテクニック　ファンデーションカラー
第 5回	フェースパウダー　　アイメイク…　アイシャドー
第 6回	アイメイク…　アイライン、マスカラ　　アイメイク…　アイブロウ
第 7回	リップ…　仕上げ、口紅の種類　　リップ…　リップテクニック
第 8回	チーク…　ハイライト　　チーク…　シャドウ
第 9回	ベースから仕上げまで
第10回	相モデル　フルメイク　40分
第11回	相モデル　フルメイク　40分
第12回	相モデル　フルメイク　40分
第13回	相モデル　フルメイク　40分
第14回	メイクアップ検定　4級実技試験対策
第15回	メイクアップ検定　3級実技試験対策
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ハリウッドメイクアップ検定2級テキスト
実務経験14年の実務者として

担当者のプロフィール

曺　銀淑は4年シュウ・ウエムラに勤務、美容師免許も取得し、ハリウッド大学院大学を修了している。
美容関連業務に14年携わり、実務者としてヘアメイク・コスメティックの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	メイクアップ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
高度美容総合学科	講座名	メイクⅢ	担当者	津久間由美	履修区分	選択

授業の概要と方法

お客様を素顔より綺麗にメイクアップすることができ、肌の悩みや欠点をカバーし好感度のあるメイクに仕上げることができる技術を身につける。
2コマ続きで実施する。

講義の達成目標

サロンワークやブライダル、成人式で実践できるように仕上げる。
メイクアップアーティスト検定3級レベルに到達する。

授業の内容・計画

第 1回	ベースメイクアップ	… いろいろな肌の質感　　修正メイクアップのいろいろ
第 2回	ベースメイクアップ 目元のメイク	… スキントラブルテクニック … さまざまな目元とアイメイク
第 3回	目元のメイク	… アイシャドウデザイン … アイシャドウデザイン、付けまつげ、アイラッシュカット
第 4回	眉	… 眉の毛流、眉の位置、眉の色＆アイブローテクニック … 眉のイメージ
第 5回	眉 まとめ	… 眉のトリミング … ここまでの復習
第 6回	リップ 仕上げ	… リップの形、イメージ、描き方と実習 … チーク、ハイライト、シャドウについて
第 7回	フルメイク	… 50分でスキンケアから仕上げまで確認チェック … フルメイク40分＆メイク理論学科対策
第 8回	模擬試験 イメージメイク	… フルメイク40分＆メイク学科テスト … イメージの捉え方
第 9回	イメージメイク	… 配置の効果 … イメージメイクアップ
第10回	ブライダルメイク	… 洋装ブライダル … 和装ブライダル
第11回	ブライダルメイク 色彩	… デコルテ・背中・腕・手などのボディメイク … 対比の効果
第12回	色彩	… コスチュームと照明 … メイクの色バランス
第13回	フルメイク実習	… テーマ　かっこいい　　テーマ　アイドル
第14回	フルメイク実習	… テーマ　セクシー　　テーマ　キャリアウーマン
第15回	フルメイク実習	… テーマ　女優
第16回	模擬試験	… フルメイク51分＆学科模試

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教

ハリウッドメイクアップ検定2級テキスト

担当者のプロフィール

津久間由美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠なメイクアップの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	メイクアップ	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年後期
高度美容総合学科	講座名	応用メイクⅠ	担当者	津久間由美	履修区分	T 選択 C 必修

授業の概要と方法

40分間で基本となるナチュラルメイクを施術する。
スキンケア基礎・メイク基本技術・メイク基礎理論を習得する。
クラス単位での実技形式。

講義の達成目標

ハリウッドメイク検定3級合格基準とした技術の習得
スキンケア基礎・メイク基本技術・メイク基礎理論の習得

授業の内容・計画

第 1回	接客マナー ベースメイクアップ
第 2回	コントロールカラー、ファンデーションの種類　ファンデーションテクニック リキッドファンデーションテクニック　ファンデーションカラー
第 3回	フェースパウダー　　アイメイク… アイシャドー アイメイク… アイライン、マスカラ　アイブロウ
第 4回	リップ… 仕上げ、口紅の種類　　リップ… リップテクニック チーク… ハイライト　　チーク… シャドウ
第 5回	ベースから仕上げまで 相モデル フルメイク 40分
第 6回	相モデル フルメイク 40分 ×2
第 7回	相モデル フルメイク 40分 ×2
第 8回	メイクアップ検定 3級実技試験対策 メイクアップ検定 4級実技試験対策

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教

ハリウッドメイクアップ検定2級テキスト

担当者のプロフィール

津久間由美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠なメイクアップの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	メイクアップ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年前期
高度美容総合学科	講座名	応用メイクⅡ	担当者	津久間由美	履修区分	選択

授業の概要と方法

お客様を素顔より綺麗にメイクアップすることができ、肌の悩みや欠点をカバーし好感度のあるメイクに仕上げることができる技術を身につける。
2コマ続きで実施する。

講義の達成目標

サロンワークやブライダル、成人式で実践できるように仕上げる。
メイクアップアーティスト検定3級レベルに到達する。

授業の内容・計画

第 1回	ベースメイクアップ	いろいろな肌の質感
第 2回	ベースメイクアップ	修正メイクアップのいろいろ
第 3回	ベースメイクアップ	スキントラブルテクニック
第 4回	目元のメイク	さまざまな目元とアイメイク
第 5回	目元のメイク	アイシャドウデザイン
第 6回	目元のメイク	アイシャドウデザイン、付けまつげ、アイラッシュカット
第 7回	眉	眉の毛流、眉の位置、眉の色＆アイブローテクニック
第 8回	眉	眉のイメージ
第 9回	眉	眉のトリミング
第 10回	まとめ	ここまでの復習
第 11回	リップ	リップの形、イメージ、描き方と実習
第 12回	仕上げ	チーク、ハイライト、シャドウについて
第 13回	フルメイク	50分でスキンケアから仕上げまで確認チェック
第 14回	フルメイク	フルメイク40分＆メイク理論学科対策
第 15回	模擬試験	フルメイク40分＆メイク学科テスト
第 16回	イメージメイク	イメージの捉え方

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教

ハリウッドメイクアップ検定2級テキスト

担当者のプロフィール

津久間由美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠なメイクアップの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	メイクアップ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
高度美容総合学科	講座名	応用メイクⅢ	担当者	津久間由美	履修区分	選択

授業の概要と方法

お客様を素顔より綺麗にメイクアップすることができ、肌の悩みや欠点をカバーし好感度のあるメイクに仕上げることができる技術を身につける。
2コマ続きで実施する。

講義の達成目標

サロンワークやブライダル、成人式で実践できるように仕上げる。
メイクアップアーティスト検定3級レベルに到達する。

授業の内容・計画

第 1回	イメージメイク	… 配置の効果
第 2回	イメージメイク	… イメージメイクアップ
第 3回	ブライダルメイク	… 洋装ブライダル
第 4回	ブライダルメイク	… 和装ブライダル
第 5回	ブライダルメイク	… デコルテ・背中・腕・手などのボディメイク
第 6回	色彩	… 対比の効果
第 7回	色彩	… コスチュームと照明
第 8回	色彩	… メイクの色バランス
第 9回	フルメイク実習	… テーマ かっこいい
第 10回	フルメイク実習	… テーマ アイドル
第 11回	フルメイク実習	… テーマ セクシー
第 12回	フルメイク実習	… テーマ キャリアウーマン
第 13回	フルメイク実習	… テーマ 女優
第 14回	模擬試験	… フルメイク50分＆学科模試
第 15回	模擬試験	… フルメイク50分＆学科模試
第 16回	模擬試験	

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教

ハリウッドメイクアップ検定2級テキスト

担当者のプロフィール

津久間由美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠なメイクアップの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	エステティック	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年前期
高度美容総合学科	講座名	エステⅠ	担当者	小澤 英	履修区分	必修

授業の概要と方法

スキンケア・マッサージの効果を体験する。相モデルで実習・試験を行う。
クラス単位での実習形式。

講義の達成目標

ハリウッドフェイシャルマッサージ技術の習得、スキンケア基礎・マッサージ理論の習得
ハリウッド化粧品についての知識の修得

授業の内容・計画

第 1回	エステティック技術理論 マッサージの効果と注意点
第 2回	準備物とマッサージ技術のステップ フェイスメイクのクレンジング法　ふきとり技術
第 3回	スチームタオル・ソフトチーフの使い方 マッサージと血管のつながり
第 4回	ハンドマッサージ 手のひらのマッサージツボ
第 5回	マッサージクリームののばし方 基本マッサージの順序
第 6回	口角と口周りのマッサージ、頬のマッサージ マッサージ後のケア
第 7回	蒸しタオルのかけ方 酵素パックの効果と使用方法
第 8回	フェイシャルローラーの使い方 フェイシャル～デコルテまでマッサージ(首・肩・背中)
第 9回	18番ハリウッドマッサージ　拭き取り～スチームタオル
第10回	18番ハリウッドマッサージ　1～5 6～10
第11回	18番ハリウッドマッサージ　11～15 16～18
第12回	18番ハリウッドマッサージ　1～18
第13回	18番ハリウッドマッサージ　1～18
第14回	18番ハリウッドマッサージ　実技試験　25分間
第15回	脱毛ワックス技術　注意事項
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容実習」(日本理容美容教育センター)
ビューティモイスチャー・AXIAスキンローション・AXIAスキンミルク・ローションパッター・エタノール
マッサージクリーム・クレンジングクリーム・イルジャークリーム・バスタオル1枚・タオル1枚・手順プリント

担当者のプロフィール

小澤　英は15年にわたる美容院での勤務・経営経験があり、美容関連の実務者として、
美容師の仕事の幅を拡げるエステティックについての技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	エステティック	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年前期
高度美容総合学科	講座名	エステⅡ	担当者	半藤径子	履修区分	必修

授業の概要と方法

スキンケア・マッサージの効果を体験する。相モデルで実習・試験を行う。
クラス単位での実習形式。

講義の達成目標

ハリウッドフェイシャルマッサージ技術の習得、スキンケア基礎・マッサージ理論の習得
ハリウッド化粧品についての知識の修得

授業の内容・計画

第 1回	エステティック技術理論 マッサージの効果と注意点
第 2回	準備物とマッサージ技術のステップ フェイスメイクのクレンジング法　ふきとり技術
第 3回	スチームタオル・ソフトチーフの使い方 マッサージと血管のつながり
第 4回	ハンドマッサージ 手のひらのマッサージツボ
第 5回	マッサージクリームののばし方 基本マッサージの順序
第 6回	口角と口周りのマッサージ、頬のマッサージ マッサージ後のケア
第 7回	蒸しタオルのかけ方 酵素パックの効果と使用方法
第 8回	フェイシャルローラーの使い方 フェイシャル～デコルテまでマッサージ(首・肩・背中)
第 9回	18番ハリウッドマッサージ　拭き取り～スチームタオル
第10回	18番ハリウッドマッサージ　1～5 6～10
第11回	18番ハリウッドマッサージ　11～15 16～18
第12回	18番ハリウッドマッサージ　1～18
第13回	18番ハリウッドマッサージ　1～18
第14回	18番ハリウッドマッサージ　実技試験　25分間
第15回	脱毛ワックス技術　注意事項
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

教科書　:「美容実習」(日本理容美容教育センター)
ビューティモイスチャー・AXIAスキンローション・AXIAスキンミルク・ローションパッター・エタノール
マッサージクリーム・クレンジングクリーム・イルジャークリーム・バスタオル1枚・タオル2枚・手順プリント

担当者のプロフィール

半藤径子は、3年間の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師の仕事の幅を拡げるエステティックについての技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	エステティック	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
高度美容総合学科	講座名	エステⅢ	担当者	中務 真澄	履修区分	選択

授業の概要と方法

スキンケア・マッサージの効果を体験する
2コマ続きで、相モデルにより実習・試験を行う

講義の達成目標

ハリウッドフェイシャルマッサージ技術の習得
スキンケア基礎・マッサージ理論の習得　ハリウッド化粧品を学ぶ
ハリウッド国際エステティック検定5級習得を目標。

授業の内容・計画

第 1回	エステティック技術理論 マッサージの効果と注意点
第 2回	準備物とマッサージ技術のステップ フェイスメイクのクレンジング法　ふきとり技術
第 3回	スチームタオル・ソフトチーフの使い方 マッサージと血管のつながり
第 4回	ハンドマッサージ 手のひらのマッサージツボ
第 5回	マッサージクリームののばし方 基本マッサージの順序
第 6回	口角と口周りのマッサージ、頬のマッサージ マッサージ後のケア
第 7回	蒸しタオルのかけ方 酵素パックの効果と使用方法
第 8回	フェイシャルローラーの使い方 フェイシャル～デコルテまでマッサージ(首・肩・背中)
第 9回	18番ハリウッドマッサージ　拭き取り～スチームタオル
第10回	18番ハリウッドマッサージ　1～5 6～10
第11回	18番ハリウッドマッサージ　11～15 16～18
第12回	18番ハリウッドマッサージ　1～18
第13回	18番ハリウッドマッサージ　1～18
第14回	18番ハリウッドマッサージ　実技試験　25分間
第15回	脱毛ワックス技術　注意事項
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ハリウッドエステティック検定2級テキスト

担当者のプロフィール

中務真澄は、12年間にわたるエステティシャンとしての勤務経験があり、美容関連の実務者としての、美容師の仕事の幅を広げるエステティックについての技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	応用エステⅠ	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年後期
高度美容総合学科	講座名	応用エステⅠ	担当者	半藤径子	履修区分	選択

授業の概要と方法

美容室で行えるエステティック技術を習得する。
希望者による実習形式。

講義の達成目標

美容室での施術の合い間に複合的に行える技術を学ぶ

授業の内容・計画

第 1回	ガースンエステ
第 2回	ガースンエステ
第 3回	ガースンエステ
第 4回	ガースンエステ
第 5回	ワクスパック
第 6回	ワクスパック
第 7回	ハンドマッサージ
第 8回	3分間マッサージ
第 9回	3分間マッサージ
第10回	手のツボマッサージ
第11回	手のツボマッサージ
第12回	複合トリートメント
第13回	複合トリートメント
第14回	複合トリートメント
第15回	複合トリートメント
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

エステ教材　「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献 ：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

半藤径子は、3年間の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師の仕事の幅を拡げるエステティックについての技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	応用エステⅡ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年前期
高度美容総合学科	講座名	応用エステⅡ	担当者	中務 真澄	履修区分	選択

授業の概要と方法

サロンで実践できるスキンケアの理論と方法、ハンドマッサージ技術、アロマセラピーの知識をを学ぶ。
2コマ続きの実習形式。

講義の達成目標

お客様の肌を見てスキンケアのアドバイスや簡単なトリートメントができるようになる。

授業の内容・計画

第 1回	エステティックに必要なスキンケアの知識(皮膚) 肌の見方(カウンセリング①)
第 2回	エステティックに必要なスキンケアの知識(肌トラブル) 肌の見方(カウンセリング②)
第 3回	カウンセリング実習
第 4回	カウンセリング実習
第 5回	カウンセリング実習
第 6回	エステティックに必要なスキンケアの知識(季節の肌トラブル) スキンケアトリートメント
第 7回	エステティックに必要なスキンケアの知識(季節の肌トラブル) スキンケアトリートメント
第 8回	エステティックに必要なスキンケアの知識(季節の肌トラブル) スキンケアトリートメント
第 9回	スキンケアトリートメント
第10回	スキンケアトリートメント
第11回	ハンドマッサージ
第12回	ハンドマッサージ アロマセラピー基礎理論
第13回	アロマセラピー基礎理論
第14回	スキンケア総合
第15回	スキンケア総合
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教

ハリウッドエステティック検定2級テキスト

担当者のプロフィール

中務真澄は、12年間にわたるエステティシャンとしての勤務経験があり、美容関連の実務者としての、美容師の仕事の幅を広げるエステティックについての技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	応用エステⅢ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
高度美容総合学科	講座名	応用エステⅢ	担当者	半藤径子	履修区分	選択

授業の概要と方法

サロンで実践できるスキンケアの理論と方法、ハンドマッサージ技術、アロマセラピーの知識ををを学ぶ。
2コマ続きの実習形式。

講義の達成目標

お客様の肌を見てスキンケアのアドバイスや簡単なトリートメントができるようになる。

授業の内容・計画

第 1回	エステティックに必要なスキンケアの知識(皮膚) 肌の見方(カウンセリング①)
第 2回	エステティックに必要なスキンケアの知識(肌トラブル) 肌の見方(カウンセリング②)
第 3回	カウンセリング実習
第 4回	カウンセリング実習
第 5回	カウンセリング実習
第 6回	エステティックに必要なスキンケアの知識(季節の肌トラブル) スキンケアトリートメント
第 7回	エステティックに必要なスキンケアの知識(季節の肌トラブル) スキンケアトリートメント
第 8回	エステティックに必要なスキンケアの知識(季節の肌トラブル) スキンケアトリートメント
第 9回	スキンケアトリートメント
第10回	スキンケアトリートメント
第11回	ハンドマッサージ
第12回	ハンドマッサージ アロマセラピー基礎理論
第13回	アロマセラピー基礎理論
第14回	スキンケア総合
第15回	スキンケア総合
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教

ハリウッドエステティック検定2級テキスト

担当者のプロフィール

半藤径子は、3年間の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師の仕事の幅を拡げるエステティックについての技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ネイル	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年前期
高度美容総合学科	講座名	ネイルⅠ	担当者	岡崎　蘭	履修区分	必修

授業の概要と方法

ネイルケア・赤ポリッシュカラーリング・フラットアートを学び、JNECネイル検定3級に準じて72分間で仕上げるトレーニングを行う
クラス単位での実習形式。

講義の達成目標

JNECネイル検定5級合格

授業の内容・計画

第 1回	ネイル理論… ネイルの歴史、ネイル技術体系、爪の構造と働き、 ネイルのための皮膚科学、ネイルのための生理解剖学
第 2回	ネイル理論… 爪の病気とトラブル、消毒法、マッサージ理論、 ネイル用化粧品、色彩理論、ネイルカウンセリング
第 3回	ネイル理論… プロフェッショナリズム、サロン環境 ネイルケア… テーブルセッティング
第 4回	ネイルケア… プレマニキュア、手指消毒、ポリッシュオフ
第 5回	ネイルケア… ファイリング、プッシュアップ
第 6回	ネイルケア… キューティクルクリーン、ニッパー
第 7回	ネイルケア工程30分トレーニング
第 8回	ネイルカラーリング… 油分除去、 ポリッシュの塗布方法 ベースコート塗布方法、修正
第 9回	ネイルカラーリング… 赤ポリッシュ塗布方法、修正 トップコート塗布方法、修正
第10回	ネイルカラーリング工程30分トレーニング
第11回	ネイルカラーリング工程30分トレーニング
第12回	フラットアート… 絵の具の扱い方、ふでの動かし方、5分でトレーニング
第13回	全工程70分トレーニング
第14回	全工程70分テスト
第15回	全工程70分テスト ハンドマッサージ15分
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ネイル教材　「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献 ：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

岡崎蘭は、3年間の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、美容師の仕事の幅を拡げるネイルについての技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ネイル	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年前期
高度美容総合学科	講座名	ネイルⅡ	担当者	岡崎　蘭	履修区分	選択

授業の概要と方法

サロンワークで通用するネイルケア・リペア・チップラップ・フラットアートに関する技能および知識を、実習形式で学ぶ。

講義の達成目標

JNECネイル検定2級合格を目ざす。

授業の内容・計画

第 1回	ネイルイクステンション(チップラップ)基礎知識 ネイルケア … テーブルセッティング、カウンセリング
第 2回	ネイルケア … プレマニキュア … 手指消毒、ポリッシュオフ
第 3回	ネイルケア … ファイリング … プッシュアップ
第 4回	ネイルケア … プッシュアップ … キューティクルクリーン、ニッパー
第 5回	ネイルケア … キューティクルクリーン、ニッパー イクステンション … チップラップ
第 6回	イクステンション … チップラップ
第 7回	ネイルケア … タイムトライアル 35分
第 8回	チップラップ … タイムトライアル 20分
第 9回	チップラップ … タイムトライアル 20分
第10回	フラットアート … テーマにそってデザインを考える … 5分 トレーニング
第11回	第一課題 35分 タイムトライアル 第二課題 55分 タイムトライアル
第12回	全工程 タイムトライアル
第13回	全工程 タイムトライアル
第14回	全工程 タイムトライアル
第15回	全工程 チェックテスト 全工程 テスト
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

教科書 ：「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献 ：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

岡崎蘭は、3年間の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、美容師の仕事の幅を拡げるネイルについての技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ネイル	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
高度美容総合学科	講座名	ネイルⅢ	担当者	岡崎　蘭	履修区分	選択

授業の概要と方法

ジェルネイルを施術するために必要な基礎的知識と技術の修得。
プロとしてサロンワークに必要な専門知識と技術の修得。
2コマ続きの実習形式。

講義の達成目標

JNAジェルネイル検定初級、中級、上級　合格を目ざす。
ジェルネイルアート、フラットアートを学ぶ。

授業の内容・計画

第 1回	ジェルネイル概論　ジェルネイルの基礎知識 ジェルネイル　テイブルセッティング、ドライケア、プレパレーション
第 2回	ジェルネイル　ワンカラー、ジェルオフ技術
第 3回	ジェルアート　ピーコック ジェルネイル初級　タイムトライアル　60分
第 4回	ジェルネイル初級　テスト　60分 ジェルデザイン　カラーグラデーション、フレンチスタイル
第 5回	ジェルデザイン　カラーグラデーション、フレンチスタイル
第 6回	ジェルイクステンション　2～3ミリ　クリアイクステンション
第 7回	ジェルネイル中級　タイムトライアル　85分
第 8回	ジェルネイル中級　テスト　85分 ジェルイクステンション　クリアスカルプチュア5ミリ～10ミリ
第 9回	ジェルイクステンション　クリアスカルプチュア5ミリ～10ミリ ジェルイクステンション　フレンチスタイル
第10回	ジェルイクステンション　チップオーバーレイ ジェルイクステンション　チップオーバーレイ　デザインフラワー
第11回	ジェルネイル上級　タイムトライアル　85分
第12回	ジェルネイル上級　テスト　85分 ジェルネイルアート　①
第13回	ジェルネイルアート　② ジェルネイルアート　③
第14回	フラットアート① フラットアート②
第15回	フラットアート③ 作品制作　ネイルアート技術を用いたチップ製作
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

教科書　：「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献　：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

岡崎蘭は、3年間の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、
美容師の仕事の幅を拡げるネイルについての技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	応用ネイルⅠ	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年後期
高度美容総合学科	講座名	応用ネイルⅠ	担当者	曺　銀淑	履修区分	選択

授業の概要と方法

美容室で行えるネイル技術を習得する。
希望者による実習形式。

講義の達成目標

ネイル3級技術をベースに、お客様に不快感を与えない技術の習得を目指す。

授業の内容・計画

第 1回	ネイルケア
第 2回	ネイルケア
第 3回	ネイルケアカラー
第 4回	ネイルケアカラー
第 5回	ネイルトリートメント(ケアカラー、マッサージ)
第 6回	ネイルトリートメント(ケアカラー、マッサージ)
第 7回	ネイルトリートメント(ケアカラー、マッサージ)
第 8回	ネイルトリートメント(ケアカラー、マッサージ)
第 9回	自由制作
第10回	自由制作
第11回	自由制作
第12回	自由制作
第13回	ネイルトリートメント(ケアカラー、マッサージ、パック)
第14回	ネイルトリートメント(ケアカラー、マッサージ、パック)
第15回	ネイルトリートメント(ケアカラー、マッサージ、パック)
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

教科書　：「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献　：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

曺　銀淑は4年シュウ・ウエムラに勤務、美容師免許も取得し、ハリウッド大学院大学を修了している。
美容関連業務に14年携わり、実務者としてヘアメイク・コスメティックの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	応用ネイルⅡ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年前期
高度美容総合学科	講座名	応用ネイルⅡ	担当者	岡崎 蘭	履修区分	選択

授業の概要と方法

ネイルケアの基礎を習得し、カラーに関する知識を深める。
理論の理解から、デモンストレーションを経て施術を行う。
2コマ続きの実習形式で行う。

講義の達成目標

検定試験合格と、サロンワーク実践レベルの技術を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	検定概要 … ネイル理論、生理解剖学、色彩理論、用具
第 2回	検定概要 … ネイル理論、生理解剖学、色彩理論、用具
第 3回	ネイルケア … テーブルセッティング、ファイリング、削り、クリーンナップ
第 4回	ネイルケア … テーブルセッティング、ファイリング、削り、クリーンナップ
第 5回	ネイルケア … ネイルケア応用、カットスタイル別ファイリング
第 6回	ネイルケア … ネイルケア応用、カットスタイル別ファイリング
第 7回	イクステンション … チップ＆ラップ
第 8回	イクステンション … チップ＆ラップ
第 9回	ネイルアート … フラットアート デザインの応用例
第 10回	ネイルアート … フラットアート デザインの応用例
第 11回	ネイル2級検定試験のチェック
第 12回	タイムトライアル … ネイル2級 150分 タイムトライアル
第 13回	タイムトライアル … ネイル2級 150分 タイムトライアル
第 14回	タイムトライアル … ネイル2級 150分 タイムトライアル
第 15回	模擬試験ネイル2級検定模擬試験
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

タイムトライアルでの技術未到達者には、作品提出を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

JNAベーシックシステム、JNEC過去問題集
エメリーボード・ポリッシュ・キューティクルニッパー他

担当者のプロフィール

岡崎蘭は、3年間の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、
美容師の仕事の幅を拡げるネイルについての技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	応用ネイルⅢ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
高度美容総合学科	講座名	応用ネイルⅢ	担当者	岡崎 蘭	履修区分	選択

授業の概要と方法

ネイル検定2級の力量をベースに、さらなる技術の向上をめざす。
2コマ続きの実習形式で行う。

講義の達成目標

SBSメイクアップアーティスト検定1級合格

授業の内容・計画

第 1回	検定概要の確認 … ネイル理論、生理解剖学、色彩理論、用具
第 2回	ネイルケア … テーブルセッティング、ファイリング、削り、クリーンナップ
第 3回	ネイルケア … ネイルケア応用、カットスタイル別ファイリング
第 4回	カラーリング … ネイルカラーリング応用
第 5回	リペア … グルーオンテクニック、ラップテクニック
第 6回	リペア … グルーオンテクニック、ラップテクニック
第 7回	イクステンション … チップ＆ラップ
第 8回	イクステンション … チップ＆ラップ
第 9回	チップラップ … チップ選び、装着、削り
第 10回	チップラップ … チップ選び、装着、削り
第 11回	ネイル1級検定試験のチェック
第 12回	タイムトライアル … ネイル1級 150分 タイムトライアル
第 13回	タイムトライアル … ネイル1級 150分 タイムトライアル
第 14回	タイムトライアル … ネイル1級 150分 タイムトライアル
第 15回	模擬試験ネイル1級検定模擬試験
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

各自で練習した場合には、チェックとアドバイスを行う。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

メイクアップアーティスト検定テキスト
メイクパレット・ブラシセット・ファンデーション他

担当者のプロフィール

岡崎蘭は、3年間の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、
美容師の仕事の幅を拡げるネイルについての技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	和装着付	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	1年
高度美容総合学科	講座名	和装着付基礎	担当者	藤原 るみ子	履修区分	選択

授業の概要と方法

和装着付に関する種類や礼装等の知識を身につけ、様々な体型に合う着付・帯結びを習得する。またサロン業務に影響する仕上がりまでの時間も視野に入れて行う。
希望者による演習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

25分間で体型補整を施したうえ、基本となる着付を施術する。

授業の内容・計画

第 1回	着付実習理論 着物の種類と礼装
第 2回	各用具と名称 補正作り
第 3回	長襦袢のたたみ方・保管方法
第 4回	着物のたたみ方・保管方法
第 5回	足袋の着用 裾除け合わせ
第 6回	肌襦袢合わせと着用
第 7回	補正合わせ－　作成したタオル・コットン・ガーゼ等を体型に合わせて使用
第 8回	長襦袢の着付－　半衿の襟芯合わせ～衿抜き合わせ
第 9回	長襦袢の着付－　胸紐結びと着丈調整、伊達締め結び
第10回	着物の着付－　裾合わせ、腰紐結び、裾丈調整
第11回	着物の着付－　お端折合わせ、伊達締め結び
第12回	帯結び－　お太鼓結び、帯締め、帯揚げ
第13回	全体修正チェックの方法と箇所
第14回	着付相モデルタイム取り
第15回	着付実技模擬試験25分 和装着付コンテスト練習
第16回	**実技試験** **和装着付コンテスト**

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

着付教材　　「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献　：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

藤原るみ子は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師の仕事の幅を拡げる着付についての技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	和装着付	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	3年
高度美容総合学科	講座名	和装着付Ⅰ	担当者	石橋雅美	履修区分	選択

授業の概要と方法

和装着付に関する種類や礼装等の知識を身につけ、様々な体型に合う着付・帯結びを習得する。またサロン業務に影響する仕上がりまでの時間も視野に入れて行う。
希望者による実習形式。

講義の達成目標

25分間で体型補整を施したうえ、基本となる着付を施術する。

授業の内容・計画

第 1回	着付実習理論 着物の種類と礼装
第 2回	各用具と名称 補正作り
第 3回	長襦袢のたたみ方・保管方法
第 4回	着物のたたみ方・保管方法
第 5回	足袋の着用 裾除け合わせ
第 6回	肌襦袢合わせと着用
第 7回	補正合わせ－　作成したタオル・コットン・ガーゼ等を体型に合わせて使用
第 8回	長襦袢の着付－　半衿の襟芯合わせ～衿抜き合わせ
第 9回	長襦袢の着付－　胸紐結びと着丈調整、伊達締め結び
第10回	着物の着付－　裾合わせ、腰紐結び、裾丈調整
第11回	着物の着付－　お端折合わせ、伊達締め結び
第12回	帯結び－　お太鼓結び、帯締め、帯揚げ
第13回	全体修正チェックの方法と箇所
第14回	着付相モデルタイム取り
第15回	着付実技模擬試験25分 和装着付コンテスト練習
第16回	実技試験 和装着付コンテスト

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

着付教材　　「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献　：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

石橋雅美は4年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての、美容師に不可欠なワインディングの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	和装着付	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	4年
高度美容総合学科	講座名	和装着付Ⅱ	担当者	藤原 るみ子	履修区分	選択

授業の概要と方法

着付に関する基礎知識及び、浴衣から振袖・帯結びまでの施術を習得する。
資料に沿って説明をしたのち、実習を行う。
希望者による実習形式で行う。

講義の達成目標

サロンワークでの施術が完璧に行えるようになる。

授業の内容・計画

第 1回	着付理論の確認 … 各名称と着物の種類と礼装
第 2回	補正作りの確認 … 各着物の種類と体系に合わせた様々なパターン
第 3回	用具の準備・片付けの確認 … 長襦袢たたみ方・保管方法、足袋の着用
第 4回	肌襦袢と長襦袢 … 肌襦袢・長襦袢たたみ方・保管方法、裾除け合わせ
第 5回	肌襦袢と長襦袢 … 肌襦袢・長襦袢たたみ方・保管方法、裾除け合わせ
第 6回	長襦袢 … 半衿の襟芯合わせから伊達締め結び
第 7回	着物の着付け … 裾合わせから、腰紐結び・お端折合わせ・伊達締め
第 8回	帯結び … お太鼓結び・帯締め・帯揚げ
第 9回	浴衣 … 女性用浴衣の着付けと帯結び
第 10回	浴衣 … 男性用浴衣の着付けと帯結び
第 11回	着付各種 … 留袖・訪問着・紬・振袖、振袖飾り帯
第 12回	着付各種 … 留袖・訪問着・紬・振袖、振袖飾り帯
第 13回	着付各種 … 留袖・訪問着・紬・振袖、振袖飾り帯
第 14回	模擬試験 … 振袖着付60分
第 15回	模擬試験 … 振袖着付60分
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・放課後等、チェックを行う

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

別途参考資料あり

担当者のプロフィール

藤原るみ子は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、美容師に不可欠な着付についての理解と技量を向上させる授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	接遇マナー	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年
高度美容総合学科	講座名	接遇マナー	担当者	眞野聖子	履修区分	選択

授業の概要と方法

サロン業務と同様の時間をかけて、接客とサロン業務を総合的に学ぶ。
希望者による演習形式。

講義の達成目標

サロン業務と接客を経験することで、就職した際にスムーズに業務を行えるようにする。

授業の内容・計画

第 1回	サロン業務とは サロンの1日の流れ
第 2回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第 3回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第 4回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第 5回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第 6回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第 7回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第 8回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第 9回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第10回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第11回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第12回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第13回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第14回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第15回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント

担当者のプロフィール

眞野聖子は、航空会社勤務の間に社内教育を担当し、対人関連の実務者として、
美容師に不可欠な接客についての技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	舞台制作	単位・時間数	5単位・150時間	履修対象	1年後期
高度美容総合学科	講座名	舞台制作Ⅰ	担当者	ジェニー牛山	履修区分	選択

授業の概要と方法

トータルビューティ学習の集大成として、ヘア、メイク、ファッションの技術を総合的に用いて、舞台制作と発表を行う。
毎週10時間をかけて、1～4年合同での演習形式。

講義の達成目標

音響、照明、演出、出演を分担しながら、力を合わせて制作する。
演出家や教員・上級生からのアドバイスを受け止めて、スキルアップする。

授業の内容・計画

第 1週	Fashion & Beauty Show の目的、スケジュールの理解。グループ分け。
第 2週	候補作品の研究
第 3週	グループごとのテーマ、登場人物の決定
第 4週	グループごとの役割分担の決定
第 5週	時代、背景の考証
第 6週	舞台構成の研究
第 7週	音楽と衣裳の研究
第 8週	企画書の完成、発表
第 9週	ヘアー、メイク、衣裳の制作
第10週	ステージパフォーマンスの研究
第11週	ステージング
第12週	ヘアー、メイク、衣裳の修整
第13週	ステージパフォーマンスの修整
第14週	会場準備、リハーサル
第15週	本番、会場片付け

授業前の準備及び授業後の復習

・活動前の準備の指示及び必要に応じての資料配布
・活動後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント

担当者のプロフィール

ジェニー牛山は、10年間にわたる美容院勤務ののち、美容専門学校での実践を通して美容史や美容健康食の研究を深めてきた。美容関連の実務者としての観点から、知識を広げ、チームワークのたいせつさを体験することで、美容師としての資質を向上させる授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	舞台制作	単位・時間数	5単位・150時間	履修対象	2年後期
高度美容総合学科	講座名	舞台制作Ⅱ	担当者	ジェニー牛山	履修区分	選択

授業の概要と方法

トータルビューティ学習の集大成として、ヘア、メイク、ファッションの技術を総合的に用いて、舞台制作と発表を行う。

毎週10時間をかけて、1～4年合同での演習形式。

講義の達成目標

音響、照明、演出、出演を分担しながら、力を合わせて制作する。

演出家や教員と意見交換し、下級生の相談に乗りながら、スキルアップする。

授業の内容・計画

第 1週	Fashion & Beauty Show の目的、スケジュールの理解。グループ分け。
第 2週	候補作品の研究
第 3週	グループごとのテーマ、登場人物の決定
第 4週	グループごとの役割分担の決定
第 5週	時代、背景の考証
第 6週	舞台構成の研究
第 7週	音楽と衣裳の研究
第 8週	企画書の完成、発表
第 9週	ヘアー、メイク、衣裳の制作
第10週	ステージパフォーマンスの研究
第11週	ステージング
第12週	ヘアー、メイク、衣裳の修整
第13週	ステージパフォーマンスの修整
第14週	会場準備、リハーサル
第15週	本番、会場片付け

授業前の準備及び授業後の復習

・活動前の準備の指示及び必要に応じての資料配布

・活動後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント

担当者のプロフィール

ジェニー牛山は、10年間にわたる美容院勤務ののち、美容専門学校での実践を通して美容史や美容健康食の研究を深めてきた。美容関連の実務者としての観点から、知識を広げ、チームワークのたいせつさを体験することで、美容師としての資質を向上させる授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	舞台制作	単位・時間数	5単位・150時間	履修対象	3年後期
高度美容総合学科	講座名	舞台制作Ⅲ	担当者	ジェニー牛山	履修区分	選択

授業の概要と方法

トータルビューティ学習の集大成として、ヘア、メイク、ファッションの技術を総合的に用いて、舞台制作と発表を行う。

毎週10時間をかけて、1～4年合同での演習形式。

講義の達成目標

音響、照明、演出、出演を分担しながら、力を合わせて制作する。

演出家や教員・上級生からのアドバイスを受け止めて、スキルアップする。

授業の内容・計画

第 1週	Fashion & Beauty Show の目的、スケジュールの理解。グループ分け。
第 2週	候補作品の研究
第 3週	グループごとのテーマ、登場人物の決定
第 4週	グループごとの役割分担の決定
第 5週	時代、背景の考証
第 6週	舞台構成の研究
第 7週	音楽と衣裳の研究
第 8週	企画書の完成、発表
第 9週	ヘアー、メイク、衣裳の制作
第10週	ステージパフォーマンスの研究
第11週	ステージング
第12週	ヘアー、メイク、衣裳の修整
第13週	ステージパフォーマンスの修整
第14週	会場準備、リハーサル
第15週	本番、会場片付け

授業前の準備及び授業後の復習

・活動前の準備の指示及び必要に応じての資料配布

・活動後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント

担当者のプロフィール

ジェニー牛山は、10年間にわたる美容院勤務ののち、美容専門学校での実践を通して美容史や美容健康食の研究を深めてきた。美容関連の実務者としての観点から、知識を広げ、チームワークのたいせつさを体験することで、美容師としての資質を向上させる授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	舞台制作	単位・時間数	5単位・150時間	履修対象	4年後期
高度美容総合学科	講座名	舞台制作Ⅳ	担当者	ジェニー牛山	履修区分	選択

授業の概要と方法

トータルビューティ学習の集大成として、ヘア、メイク、ファッションの技術を総合的に用いて、舞台制作と発表を行う。
毎週10時間をかけて、1～4年合同での演習形式。

講義の達成目標

音響、照明、演出、出演を分担しながら、力を合わせて制作する。
演出家や教員と意見交換し、下級生の相談に乗りながら、スキルアップする。

授業の内容・計画

第 1週	Fashion & Beauty Show の目的、スケジュールの理解。グループ分け。
第 2週	候補作品の研究
第 3週	グループごとのテーマ、登場人物の決定
第 4週	グループごとの役割分担の決定
第 5週	時代、背景の考証
第 6週	舞台構成の研究
第 7週	音楽と衣裳の研究
第 8週	企画書の完成、発表
第 9週	ヘアー、メイク、衣裳の制作
第10週	ステージパフォーマンスの研究
第11週	ステージング
第12週	ヘアー、メイク、衣裳の修整
第13週	ステージパフォーマンスの修整
第14週	会場準備、リハーサル
第15週	本番、会場片付け

授業前の準備及び授業後の復習

・活動前の準備の指示及び必要に応じての資料配布
・活動後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント

担当者のプロフィール

ジェニー牛山は、10年間にわたる美容院勤務ののち、美容専門学校での実践を通して美容史や美容健康食の研究を深めてきた。美容関連の実務者としての観点から、知識を広げ、チームワークのたいせつさを体験することで、美容師としての資質を向上させる授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	社会人基礎	単位・時間数	3単位・90時間	履修対象	1年
高度美容総合学科	講座名	社会人基礎Ⅰ	担当者	佐藤 和彦	履修区分	選択

授業の概要と方法

有識者の講演、研修旅行、ダンスなどさまざまな機会をとらえて、社会人として必要とされる知識、コミュニケーション能力、健康維持の方法などを身につける。
1～4年合同で、講義も織り交ぜながら演習形式で行う。

講義の達成目標

日本文化の理解、コミュニケーション能力の開発、健康維持の方法の習得等さまざまな社会人として必要とされる知識・能力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	オリエンテーション
第 2回	礼法
第 3回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 4回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 5回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 6回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 7回	気功
第 8回	稲作(田植え…伝統文化の理解)
第 9回	校外学習(明治神宮散策…伝統文化の理解)
第10回	校外学習(明治神宮散策…伝統文化の理解)
第11回	講演会
第12回	講演会
第13回	就職説明会
第14回	就職説明会
第15回	ヒップホップ
第16回	いのちの学習・献血
第17回	講演会
第18回	講演会
第19回	ジャズダンス
第20回	稲作(刈り入れ…伝統文化の理解)
第21回	美術館見学
第22回	美術館見学
第23回	講演会
第24回	講演会
第25回	気功
第26回	いのちの学習・献血
第27回	救急救命士講座
第28回	救急救命士講座
第29回	まとめのレポート作成
第30回	まとめのレポート作成

授業前の準備及び授業後の復習

・必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント

担当者のプロフィール

佐藤和彦は、42年間にわたって都立高等学校に勤務し、若者の教育に携わってきた。
専門学校副校長としての立場から、美容師も含めた社会人として不可欠な規範意識、生命と健康をたいせつにする意識などを高め、広汎な知識を吸収できる授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	社会人基礎	単位・時間数	3単位・90時間	履修対象	2年
高度美容総合学科	講座名	社会人基礎Ⅱ	担当者	佐藤 和彦	履修区分	選択

授業の概要と方法

有識者の講演、研修旅行、ダンスなどさまざまな機会をとらえて、社会人として必要とされる知識、コミュニケーション能力、健康維持の方法などを身につける。
1～4年合同で、講義も織り交ぜながら演習形式で行う。

講義の達成目標

日本文化の理解、コミュニケーション能力の開発、健康維持の方法の習得等さまざまな社会人として必要とされる知識・能力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	オリエンテーション
第 2回	礼法
第 3回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 4回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 5回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 6回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 7回	気功
第 8回	稲作(田植え…伝統文化の理解)
第 9回	校外学習(明治神宮散策…伝統文化の理解)
第10回	校外学習(明治神宮散策…伝統文化の理解)
第11回	講演会
第12回	講演会
第13回	就職説明会
第14回	就職説明会
第15回	ヒップホップ
第16回	いのちの学習・献血
第17回	講演会
第18回	講演会
第19回	ジャズダンス
第20回	稲作(刈り入れ…伝統文化の理解)
第21回	美術館見学
第22回	美術館見学
第23回	講演会
第24回	講演会
第25回	気功
第26回	いのちの学習・献血
第27回	救急救命士講座
第28回	救急救命士講座
第29回	まとめのレポート作成
第30回	まとめのレポート作成

授業前の準備及び授業後の復習

・必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント

担当者のプロフィール

佐藤和彦は、42年間にわたって都立高等学校に勤務し、若者の教育に携わってきた。
専門学校副校長としての立場から、美容師も含めた社会人として不可欠な規範意識、生命と健康をたいせつにする意識などを高め、広汎な知識を吸収できる授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	社会人基礎	単位・時間数	3単位・90時間	履修対象	3年
高度美容総合学科	講座名	社会人基礎Ⅲ	担当者	佐藤 和彦	履修区分	選択

授業の概要と方法

有識者の講演、研修旅行、ダンスなどさまざまな機会をとらえて、社会人として必要とされる知識、コミュニケーション能力、健康維持の方法などを身につける。
1～4年合同で、講義も織り交ぜながら演習形式で行う。

講義の達成目標

日本文化の理解、コミュニケーション能力の開発、健康維持の方法の習得等さまざまな社会人として必要とされる知識・能力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	オリエンテーション
第 2回	礼法
第 3回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 4回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 5回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 6回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 7回	気功
第 8回	稲作(田植え…伝統文化の理解)
第 9回	校外学習(明治神宮散策…伝統文化の理解)
第10回	校外学習(明治神宮散策…伝統文化の理解)
第11回	講演会
第12回	講演会
第13回	就職説明会
第14回	就職説明会
第15回	ヒップホップ
第16回	いのちの学習・献血
第17回	講演会
第18回	講演会
第19回	ジャズダンス
第20回	稲作(刈り入れ…伝統文化の理解)
第21回	美術館見学
第22回	美術館見学
第23回	講演会
第24回	講演会
第25回	気功
第26回	いのちの学習・献血
第27回	救急救命士講座
第28回	救急救命士講座
第29回	まとめのレポート作成
第30回	まとめのレポート作成

授業前の準備及び授業後の復習

・必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント

担当者のプロフィール

佐藤和彦は、42年間にわたって都立高等学校に勤務し、若者の教育に携わってきた。
専門学校副校長としての立場から、美容師も含めた社会人として不可欠な規範意識、生命と健康をたいせつにする意識などを高め、広汎な知識を吸収できる授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	社会人基礎	単位・時間数	3単位・90時間	履修対象	4年
高度美容総合学科	講座名	社会人基礎Ⅳ	担当者	佐藤 和彦	履修区分	選択

授業の概要と方法

有識者の講演、研修旅行、ダンスなどさまざまな機会をとらえて、社会人として必要とされる知識、コミュニケーション能力、健康維持の方法などを身につける。
1～4年合同で、講義も織り交ぜながら演習形式で行う。

講義の達成目標

日本文化の理解、コミュニケーション能力の開発、健康維持の方法の習得等さまざまな社会人として必要とされる知識・能力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	オリエンテーション
第 2回	礼法
第 3回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 4回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 5回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 6回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 7回	気功
第 8回	稲作(田植え…伝統文化の理解)
第 9回	校外学習(明治神宮散策…伝統文化の理解)
第10回	校外学習(明治神宮散策…伝統文化の理解)
第11回	講演会
第12回	講演会
第13回	就職説明会
第14回	就職説明会
第15回	ヒップホップ
第16回	いのちの学習・献血
第17回	講演会
第18回	講演会
第19回	ジャズダンス
第20回	稲作(刈り入れ…伝統文化の理解)
第21回	美術館見学
第22回	美術館見学
第23回	講演会
第24回	講演会
第25回	気功
第26回	いのちの学習・献血
第27回	救急救命士講座
第28回	救急救命士講座
第29回	まとめのレポート作成
第30回	まとめのレポート作成

授業前の準備及び授業後の復習

・必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント

担当者のプロフィール

佐藤和彦は、42年間にわたって都立高等学校に勤務し、若者の教育に携わってきた。
専門学校副校長としての立場から、美容師も含めた社会人として不可欠な規範意識、生命と健康をたいせつにする意識などを高め、広汎な知識を吸収できる授業を展開する。

令和５年度

総合美容専門課程　履修の手引き

総合美容学科

ハリウッド美容専門学校

目　次

Ⅰ　単位の認定と卒業　1

Ⅱ　開講科目　2

Ⅲ　実務経験のある教員等の担当科目　4

Ⅳ　シラバス

関係法規・制度　7
衛生管理①　8
衛生管理②　9
衛生管理③　10
保健①　11
保健②　12
保健③　13
香粧品化学①　14
香粧品化学②　15
文化論①　16
文化論②　17
運営管理　18
美容技術理論①　19
美容技術理論②　20
美容技術理論③　21
コスメ総合Ⅰ①　22
コスメ総合Ⅰ②　23
コスメ総合Ⅰ③　24
コスメ総合Ⅱ①　25
コスメ総合Ⅱ②　26
カット基礎　27
シャンプーⅠ　28
シャンプーⅡ　29
ワインディングⅠ①　30
ワインディングⅠ②　31
ワインディングⅠ③　32
ワインディングⅡ　33
オールウェーブ①　34
オールウェーブ②　35
ヘアアレンジ　36
スタイリング基礎　37
パーマ＆カラー　38
メイクⅠ　39
メイクⅡ　40
メイクⅢ　41
応用メイクⅠ　42
応用メイクⅡ　43
応用メイクⅢ　44
エステⅠ　45
エステⅡ　46
エステⅢ　47
応用エステⅠ　48
応用エステⅡ　49
応用エステⅢ　50
ネイルⅠ　51
ネイルⅡ　52
ネイルⅢ　53
応用ネイルⅠ　54
応用ネイルⅡ　55
応用ネイルⅢ　56
総合実習Ⅰ　57
総合実習Ⅱ①　58
総合実習Ⅱ②　59
総合実習Ⅱ③　60
総合実習Ⅱ④　61
和装着付基礎　62
舞台製作Ⅰ　63
舞台製作Ⅱ　64
社会人基礎Ⅰ　65
社会人基礎Ⅱ　66
接遇マナー　67
精神美学　68
健康美学　69
容姿美学　70
服飾美学　71
生活美学　72
環境美学　73
美容実習①　74
美容実習②　75
ヘア基礎　76
メイク総合①　77
メイク総合②　78
スキンケア①　79
スキンケア②　80
ネイル総合①　81
ネイル総合②　82
総合美容芸術　83
マナー　84
美容日本語　85
日本語演習　86

ハリウッド美容専門学校の三つのポリシー

本校の求める人材像は次の通りです。

1.入学者受入方針（アドミッションポリシー）

本校は、一流のトータルビューティシャンを目指す次のような人材の入学を期待しています。

1) 人が美しく輝くことに感動する感性と実践をする熱意を持つ人

2) トータルビューティの専門職業を天職にする強い信念を持つ人

3) 人を美しく幸福に導く美の天使をめざす職業に使命感を持つ人

2.教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）

本校は、ビューティの理論と実践が有機的に結合する産学協同による教育課程を編成しています。

1) 人が美しく輝くトータルビューティの美学６要素である、精神美・健康美・容姿美・服飾美・生活美・環境美を総合的に修得できるカリキュラムによって専門能力を育成します。

2) 美の専門職業人であるビューティシャンとしての潜在能力を育てる育学７要素である志育・美育・徳育・智育・体育・時育・財育の教育によって総合的に教養能力を育成します。

3) トータルビューティの専門職として必要な各種の免許、資格を修得するための、専門課程として美容専門科、トータルビューティ科、高度専門課程として高度専門科を設置しています。

3.称号授与方針（ディプロマポリシー）

本校は、以下のような能力を身につけ、且つ所定の単位を修得した学生に称号を授与します。

1) 美容専門科では、美容師免許の取得および、ヘア･メイク・ネイル・エステ・ファッションなどのトータルビューティの基礎を総合的に修得し、高度な専門資格を取得した者に、専門士の称号を授与します。

2) トータルビューティ科では、メイク・ネイル・エステ・ヘアなどのトータルビューティの基礎を総合的に修得し、高度な専門資格を取得した者に、専門士の称号を授与します。

3) 高度専門科では、美容師免許の取得および、ヘア・メイク・ネイル・エステ・ファッションなどのトータルビューティの実践的で高度な専門資格を取得した者に、大学院進学資格となる高度専門士の称号を授与します。

Ⅰ　単位の認定と卒業

1. 単位の認定

① 授業出席時間による認定
教科ごとに学校の定める出席必要時間を満たしていること
出席必要時間 ┌ 講義科目は2/3以上
　　　　　　└ 実習科目は4/5以上
② 学科評価および技術評価による単位認定
学科・実技ともに100点満点中70点以上を得点すること
③ 授業態度による認定
授業に集中し他の人の迷惑にならないこと
④ 提出物による認定
宿題・レポート等の提出物を期限までに提出すること
⑤ 授業料等の支払いによる認定
授業料等支払いを要するものについて期限までに納入済みであること

以上の要件を満たさない場合は、留年または卒業延期となります。

2. 進級・卒業の要件

進級・卒業には定められた単位を修得しなければならない。
(卒業に必要な単位数は、2年制67単位、1年制27単位)
① 出席状況
各科目に所定時間以上出席すること
※ 進級または卒業基準に満たない場合、学校の判断により、補習を実施することがある
② 学科・実技の成績
学科・実技ともに所定以上の得点であること
※ 所定の科目に不合格の場合、追試を行う(有料)
③ 学校納入金
授業料、教材費等が期限までに納入されていること
④ 人物評価
授業態度を始め、学校生活におけるマナー・ルールを遵守すること

3. 成績評価の詳細

成績評価については、実習科目と講義科目で基準が異なるものの、出席状況を重視し、充分な出席を果たした者を対象として、定期試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)を総合した得点について、以下の通りの評価とする。

100～90点を	「5」
89～80点を	「4」
79～70点を	「3」
69～60点を	「2」
59点以下を	「1」

Ⅱ　開講科目

	2年制(昼・夜間)															
	1年									2年						
	ヘアメイクコース	必修	選択	トータルコース	必修	選択	コスメコース	必修	選択	ヘアメイクコース	必修	選択	トータルコース	必修	選択
講義										関係法規・制度	1		関係法規・制度	1	
	衛生管理①	1		衛生管理①	1		衛生管理①	1		衛生管理②	1		衛生管理②	1	
	保健①	1		保健①	1		保健①	1		衛生管理③	1		衛生管理③	1	
	保健②	1		保健②	1		保健②	1		保健③	1		保健③	1	
	香粧品化学①	1		香粧品化学①	1		香粧品化学①	1		香粧品化学②	1		香粧品化学②	1	
	文化論①	1		文化論①	1		文化論①	1		文化論②	1		文化論②	1	
										運営管理	1		運営管理	1	
	美容技術理論①	2		美容技術理論①	2		美容技術理論①	2		美容技術理論②	2		美容技術理論②	2	
										美容技術理論③	2		美容技術理論③	2	
							コスメ総合Ⅰ①	1							
							コスメ総合Ⅰ②	1							
							コスメ総合Ⅰ③	1							
小計		*7*	*0*		*7*	*0*		*10*	*0*		*11*	*0*		*11*	*0*
実習	シャンプーⅠ	1		シャンプーⅠ	1					シャンプーⅡ	2				
	ヘアアレンジ	1		ヘアアレンジ	1		ヘアアレンジ		1	カット基礎	1		カット基礎	1	
	ワインディングⅠ①	2		ワインディングⅠ①	1		ワインディングⅠ①		1	ワインディングⅡ	1		ワインディングⅡ	1	
	ワインディングⅠ②	2		ワインディング②	2					オールウェーブ①	1		オールウェーブ①	1	
	ワインディングⅠ③	1		ワインディングⅠ③	1					オールウェーブ②	1		オールウェーブ②	1	
	スタイリング基礎	1								パーマ&カラー	1				
	メイクⅠ		1	メイクⅠ		1	メイクⅠ	1					メイクⅡ		1
				応用メイクⅠ		1	応用メイクⅠ	1							
	エステⅠ		1	エステⅠ		1	エステⅠ	1					エステⅡ		1
				応用エステⅠ		1	応用エステⅠ	1							
	ネイルⅠ		1	ネイルⅠ		1	ネイルⅠ	1					ネイルⅡ		1
							応用ネイルⅠ		1	総合実習Ⅱ①	2		総合実習Ⅱ①	2	
										総合実習Ⅱ②	2		総合実習Ⅱ②	2	
	和装着付基礎		1	和装着付基礎		1	和装着付基礎		1	総合実習Ⅱ③	2		総合実習Ⅱ③	2	
	総合実習Ⅰ	2		総合実習Ⅰ	2		総合実習Ⅰ		2	総合実習Ⅱ④	2		総合実習Ⅱ④	2	
	インターンシップⅠ		5	インターンシップⅠ		5	インターンシップⅠ		5	インターンシップⅡ		3	インターンシップⅡ		3
小計		*10*	*9*		*8*	*11*		*5*	*11*		*15*	*3*		*12*	*6*
演習	舞台制作Ⅰ		5	舞台制作Ⅰ		5	舞台制作Ⅰ		5	舞台制作Ⅱ		1	舞台制作Ⅱ		1
	社会人基礎Ⅰ		3	社会人基礎Ⅰ		3	社会人基礎Ⅰ		3	社会人基礎Ⅱ		3	社会人基礎Ⅱ		3
	接遇マナー		1	接遇マナー		1	接遇マナー		1						
							作品制作Ⅰ	1							
小計		*0*	*9*		*0*	*9*		*1*	*9*		*0*	*4*		*0*	*4*
総計		*17*	*18*		*15*	*20*		*16*	*20*		*26*	*7*		*23*	*10*
		35			*35*			*36*			*33*			*33*	

			1年制 (昼間)		
コスメコース	必修	選択		必修	選択
関係法規・制度	1		精神美学	1	
衛生管理②	1		健康美学	1	
衛生管理③	1		容姿美学	2	
保健③	1		服飾美学	1	
香粧品化学②	1		生活美学	1	
文化論②	1		環境美学	1	
運営管理	1				
美容技術理論②	2				
美容技術理論③	2				
コスメ総合Ⅱ①	1				
コスメ総合Ⅱ②	1				
	13	*0*		*7*	*0*
			美容実習①	2	
			美容実習②	2	
()はエステ・ネイル どちらかを選択			ヘア基礎		1
メイクⅡ	1		メイク総合①		2
メイクⅢ	1		メイク総合②		1
応用メイクⅡ	1				
応用メイクⅢ	1				
エステⅡ	1		スキンケア①		2
エステⅢ	(1)		スキンケア②		1
応用エステⅡ	(1)				
応用エステⅢ	(1)				
ネイルⅡ	1		ネイル総合①		2
ネイルⅢ	(1)		ネイル総合②		2
応用ネイルⅡ	(1)				
応用ネイルⅢ	(1)				
総合実習Ⅱ①	2				
インターンシップⅡ		3			
	11	*3*		*4*	*11*
舞台制作Ⅱ		1	総合美容芸術		5
社会人基礎Ⅱ		3	マナー		2
			美容日本語		2
作品制作Ⅱ		1	日本語演習		2
	0	*5*		*0*	*11*
	24	*8*		*11*	*22*
	32			*33*	

Ⅲ　実務経験のある教員等の担当科目（総合美容学科）

科目区分	授業科目	開講学年	開講コース	担当者	単位数		うち実務教員による授業	単位数		うちシラバス添付	備考
					昼間2年制・夜間	昼間1年制		昼間2年制・夜間	昼間1年制		
講義	関係法規・制度	2	全	西村	1						
	衛生管理①	1	全	森部	1		○	1			
	衛生管理②	2	全	南部	1		○	1			
	衛生管理③	2	全	佐々木	1		○	1			
	保健①	1	全	吉松・川本	1		○	1		○	
	保健②	1	全	石渡	1		○	1		○	
	保健③	2	全	新田	1		○	1		○	
	香粧品化学①	1	全	篠崎・楢木	1		○	1			
	香粧品化学②	2	全	品田	1		○	1			
	文化論①	1	全	福地・浦山・藤原	1		○	1			
	文化論②	2	全	松本・岡﨑	1		○	1			
	運営管理	2	全	小川	1						
	美容技術理論①	1	全	釣谷・石橋・曺	2		○	2			
	美容技術理論②	2	全	福地・浦山・青木	2		○	2			
	美容技術理論③	2	全	楢木	2		○	2			
	コスメ総合Ⅰ①	1	コスメ	南部	1		○	1			
	コスメ総合Ⅰ②	1	コスメ	眞野	1		○	1			
	コスメ総合Ⅰ③	1	コスメ	瀧野・光江	1		○	1			
	コスメ総合Ⅱ①	2	コスメ	瀧野・中務	1		○	1			
	コスメ総合Ⅱ②	2	コスメ	青木	1		○	1			
	精神美学	*1*	*(1年制)*	山中		*1*	○		*1*		
	健康美学	*1*	*(1年制)*	牛山		*1*	○		*1*		
	容姿美学	*1*	*(1年制)*	兵藤		*2*	○		*2*		
	服飾美学	*1*	*(1年制)*	牛山		*1*	○		*1*		
	生活美学	*1*	*(1年制)*	玉利		*1*	○		*1*		
	環境美学	*1*	*(1年制)*	川島		*1*	○		*1*		
実習	カット基礎	2	ヘア・トータル	岩田・楢木・神田	1		○	1			
	シャンプーⅠ	1	ヘア・トータル	岩田・飯島	1		○	1			
	シャンプーⅡ	2	ヘア	岩田	2		○	2			
	ワインディングⅠ①	1	全	釣谷・藤原	2		○	2			
	ワインディングⅠ②	2	ヘア・トータル	杉本・石橋	2		○	2			
	ワインディングⅠ③	2	ヘア・トータル	岩田・神田	1		○	1			
	ワインディングⅡ	2	ヘア・トータル	岩田・楢木・神田	2		○	2			
	オールウェーブ①	1	ヘア・トータル	岩田・楢木	1		○	1			
	オールウェーブ②	2	ヘア・トータル	石橋・神田	1		○	1			
	ヘアアレンジ	1	全	飯島・藤原	2		○	2			
	スタイリング基礎	1	ヘア	石橋・杉本・有村	1		○	1			
	パーマ＆カラー	1	ヘア	石橋	1		○	1			
	メイクⅠ	1	全	杉本・津久間	1		○	1			
	メイクⅡ	2	コスメ	津久間	1		○	1			
	メイクⅢ	2	コスメ	津久間	2		○	2		○	
	応用メイクⅠ	1	トータル・コスメ	津久間	1		○	1			
	応用メイクⅡ	2	コスメ	津久間	2		○	2			
	応用メイクⅢ	2	コスメ	津久間	2		○	2			

科目区分	授業科目	開講学年	開講コース	担当者	単位数		うち実務教員による授業	単位数		うちシラバス添付	備考
					昼間2年制・夜間	昼間1年制		昼間2年制・夜間	昼間1年制		
実習	エステⅠ	1	全	半藤・中務	1		○	1			
	エステⅡ	2	コスメ	中務	1		○	1			
	エステⅢ	2	コスメ	中務	2		○	2		○	
	応用エステⅠ	1	コスメ	曺・半藤	1		○	1			
	応用エステⅡ	2	コスメ	中務	2		○	2			
	応用エステⅢ	2	コスメ	半藤	2		○	2			
	ネイルⅠ	1	全	曺	1		○	1			
	ネイルⅡ	2	コスメ	岡崎	1		○	1			
	ネイルⅢ	2	コスメ	岡崎	2		○	2		○	
	応用ネイルⅠ	1	コスメ	曺	1		○	1			
	応用ネイルⅡ	2	コスメ	岡崎	2		○	2			
	応用ネイルⅢ	2	コスメ	岡崎	2		○	2			
	総合実習Ⅰ	1	全	岩田・神田・杉本・石橋・三宅・津久間	2		○	2			
	総合実習Ⅱ①	2	全	岩田・楢木・神田	2		○	2			
	総合実習Ⅱ②	2	ヘア・トータル	岩田・楢木・神田	2		○	2			
	総合実習Ⅱ③	2	ヘア・トータル	岩田・楢木・神田	2		○	2			
	総合実習Ⅱ④	2	ヘア・トータル	岩田・楢木・神田	2		○	2			
	和装着付基礎	1	コスメ	津久間・杉本	1		○	1			
	インターンシップⅠ	1	全	橘田	5		○	5			
	インターンシップⅡ	2	全	橘田	3		○	3			
	美容実習①	*1*	*(1年制)*	兵藤		*2*	○		*2*		
	美容実習②	*1*	*(1年制)*	曺		*2*	○		*2*		
	ヘア基礎	*1*	*(1年制)*	曺		*1*	○		*1*		
	メイク総合①	*1*	*(1年制)*	兵藤		*2*	○		*2*		
	メイク総合②	*1*	*(1年制)*	兵藤		*1*	○		*1*		
	スキンケア①	*1*	*(1年制)*	兵藤		*2*	○		*2*		
	スキンケア②	*1*	*(1年制)*	兵藤		*1*	○		*1*		
	ネイル総合①	*1*	*(1年制)*	曺		*2*	○		*2*		
	ネイル総合②	*1*	*(1年制)*	曺		*2*	○		*2*		
演習	舞台製作Ⅰ	1	全	牛山	5		○	5			
	舞台製作Ⅱ	2	全	牛山	5		○	5			
	社会人基礎Ⅰ	1	全	佐藤	3						
	社会人基礎Ⅱ	2	全	佐藤	3						
	接遇マナー	1	ヘア・トータル	真野	1		○	1			
	作品制作Ⅰ	1	コスメ	神田	1		○	1			
	作品制作Ⅱ	2	コスメ	釣谷	1		○	1			
	総合美容芸術	*1*	*(1年制)*	玉利		*5*	○		*5*		
	マナー	*1*	*(1年制)*	眞野		*2*	○		*2*		
	美容日本語	*1*	*(1年制)*	曺		*2*	○		*2*		
	日本語演習	*1*	*(1年制)*	本多		*2*					
総授業単位数					105	*33*		97	*31*		
卒業に必要な単位数					62	*27*					

総合美容専門課程	科目名	関係法規・制度	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年前期
総合美容学科	講座名	関係法規・制度	担当者	西村 好恵	履修区分	必修

授業の概要と方法

美容師法を中心に、美容の業務にかかわる法令や制度を学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

国家資格である美容師という職業の社会的責任を学び、自覚を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	法制度の概要 衛生行政の概要
第 2回	衛生行政を担う行政機関 美容師法の目的・用語の定義
第 3回	美容師に関する規定・養成施設の入所資格・養成施設・試験 免許と登録
第 4回	まとめ 演習問題
第 5回	美容師の義務・業務停止、免許取り消し及び再免許 管理美容師
第 6回	美容所の開設 美容所の開設者が講ずべき衛生措置
第 7回	美容所以外での業務 立入検査と環境衛生監視員
第 8回	まとめ 演習問題
第 9回	違反者に対する行政処分
第10回	不利益処を行う場合の手続き 違法または不当な処分についての審査請求または異議申し立て
第11回	罰則について 美容師法の罰則
第12回	まとめ 演習問題
第13回	関係法規のさまざま
第14回	関係法規の要約
第15回	演習問題 まとめ
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「関係法規・制度」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

西村好恵は、法学(行政学・地方自治学)の修士課程を修了し、専門知識を活かして
美容業に関連する法規・保険についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	衛生管理	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年
総合美容学科	講座名	衛生管理①(公衆衛生)	担当者	森部 肖子	履修区分	必修

授業の概要と方法

公衆衛生全般、特に、感染症、環境衛生等の知識や、日常の業務に不可欠な消毒の意義、目的および実際の消毒方法について学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

日常の業務に欠かせない消毒の目的や方法を学ぶとともに、衛生的な店舗の運営に必要な感染症、環境衛生等に関する知識を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	公衆衛生の意義と課題 公衆衛生発展の歴史・欧米の公衆衛生の歩み
第 2回	公衆衛生発展の歴史・わが国の公衆衛生の歩み 公衆衛生の具体的な課題と領域・死亡率・乳児死亡率・平均寿命の延び
第 3回	美容師と公衆衛生 保健所と美容業
第 4回	まとめ 演習問題
第 5回	予防衛生の意義と予防医学 疫病の重要性と予防衛生の推進
第 6回	母子保健、成人保健 老人保健、精神保健
第 7回	栄養と食物
第 8回	まとめ 演習問題
第 9回	環境衛生のあらまし(内容・目的と意義・環境衛生活動) 空気と健康
第10回	温度・湿度・風と健康、水と健康 日光と健康、気候と健康
第11回	衣食住と健康(衣服の衛生、食品の衛生、住居の衛生)
第12回	まとめ 演習問題
第13回	公害と環境保全(大気汚染、水質汚濁、その他の公害)
第14回	上下水道、廃棄物、衛生害虫とねずみ 理容所・美容所の環境衛生(理容所・美容所の衛生管理、衛生的取り扱い)
第15回	まとめ 演習問題
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「衛生管理」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

森部肖子は、歯科医としての23年間にわたる経験があり、医療・保健衛生の実務者として、美容業に不可欠な衛生管理についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	衛生管理	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年前期
総合美容学科	講座名	衛生管理②(消毒法)	担当者	佐々木 健	履修区分	必修

授業の概要と方法

公衆衛生全般、特に、感染症、環境衛生等の知識や、日常の業務に不可欠な消毒の意義、目的および実際の消毒方法について学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

日常の業務に欠かせない消毒の目的や方法を学ぶとともに、衛生的な店舗の運営に必要な感染症、環境衛生等に関する知識を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	消毒とは・・・ 1.病原微生物と非病原微生物 2.消毒の原理
第 2回	消毒の意義・・・ 1.汚染、感染、発病と消毒の意義 2.殺菌、消毒、滅菌、防腐の定義
第 3回	美容の業務と消毒との関係・・・ 1.消毒に関連のある法の規定 2.消毒を怠った場合の危険と美容師の責任
第 4回	まとめ 演習問題
第 5回	消毒法と適用上の注意・・・ 1.消毒の法の種類2.必要条件3.病原微生物の抵抗力 4.消毒薬の使用、保存上の注意
第 6回	理学的消毒法・・・ 1.紫外線 2.煮沸
第 7回	理学的消毒法・・・ 3.蒸気、大気圧下の蒸気 4.その他の理学的消毒法
第 8回	まとめ 演習問題
第 9回	化学的消毒法・・・ 1.アルコール類、塩素剤(次亜塩素酸ナトリウム) 2.界面活性剤(逆性石けん・両性界面活性剤)
第10回	3.グルコン酸クロルヘキシジン 4.その他の消毒薬
第11回	まとめ 演習問題
第12回	消毒薬希釈法
第13回	美容所の消毒の実際(美容所における消毒の原則・美容所の消毒設備) 美容器具類の消毒法(布片などの用具を含む)消毒法の選び方・消毒の際の注意点
第14回	消毒の実習 理容所・美容所の消毒の現状
第15回	まとめ 演習問題
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「衛生管理」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

佐々木健は、調剤薬局に勤務する傍ら全国薬剤師在宅支援連絡会でも活動し、薬剤師としての観点から、美容業に不可欠な衛生管理についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	衛生管理	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年後期
総合美容学科	講座名	衛生管理③(感染症)	担当者	佐々木 健	履修区分	必修

授業の概要と方法

公衆衛生全般、特に、感染症、環境衛生等の知識や、日常の業務に不可欠な消毒の意義、目的および実際の消毒方法について学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

日常の業務に欠かせない消毒の目的や方法を学ぶとともに、衛生的な店舗の運営に必要な感染症、環境衛生等に関する知識を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	人と感染症… 感染症と人間の社会生活、人と感染症との闘い、感染症の種類
第 2回	病原微生物… 微生物の種類、微生物の形と大きさ、微生物の構造
第 3回	病原微生物… 微生物の生活現象、微生物の増殖と環境の影響
第 4回	まとめ 演習問題
第 5回	感染症の予防… 微生物の病原性と人体の感受性、汚染・感染および発病、常在細菌叢
第 6回	感染症の予防… 免疫と予防接種
第 7回	感染症の予防… 感染症発生の要因
第 8回	まとめ 演習問題
第 9回	感染症の予防… 感染症予防の3原則
第10回	美容と感染症… 一類感染症、二類感染症、三類感染症
第11回	美容と感染症… 四類感染症・五類感染症
第12回	まとめ 演習問題
第13回	美容と感染症… 新型インフルエンザ等感染症
第14回	美容と感染症… 予防接種法で規定されている感染症
第15回	まとめ 演習問題
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「衛生管理」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

佐々木健は、調剤薬局に勤務する傍ら全国薬剤師在宅支援連絡会でも活動し、薬剤師としての観点から、美容業に不可欠な衛生管理についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	保健	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年前期
総合美容学科	講座名	保健①(人体①)	担当者	川本 義規	履修区分	必修

授業の概要と方法

人体の構造・機能について学び、皮膚・毛髪などを生物科学的に理解する。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

美容の施術をするために不可欠な、皮膚・毛髪などに関する生物科学的知識を習得する。

授業の内容・計画

第 1回	概要説明	1.人体の各部の名称 2.頭部、顔部、頚部の体表解剖学
第 2回	骨格系	1.骨の種類と構造　2.骨の連結 3.骨格器系とそのはたらき
第 3回	骨格系	4.骨の保健 5.まとめ・演習問題
第 4回	筋系	1.筋の種類と構造　2.主な骨格筋とその働き 3.顔面筋とその働き　4.理容・美容の作業と筋疲労
第 5回	筋系	5.筋系の保健 6.まとめ・演習問題
第 6回	神経系	1.神経系の成り立ち 2.中枢神経とその働き
第 7回	神経系	3.末梢神経とその働き 4.まとめ・演習問題
第 8回	感覚器系	1.視角　2.聴覚　3.平衡感覚 4.味覚　5.嗅覚
第 9回	感覚器系	6.皮膚感覚　7.深部感覚と内臓感覚 8.まとめ・演習問題
第10回	循環器系	1.血液循環の仕組み　2.血液の循環経路 3.心臓と血管のはたらき　4.リンパ管系の仕組みとはたらき
第11回	循環器系	5.循環器系の保健 6.まとめ・演習問題
第12回	呼吸器系	1.呼吸器系のあらまし　2.気道 3.肺の仕組みとガス交換
第13回	呼吸器系	4.呼吸運動 5.まとめ・演習問題
第14回	消化器系	1.消化器系のあらまし　2.消化管の仕組み 3.消化管のはたらき　4.消化腺とその働き
第15回	消化器系	5.消化と物質代謝　6.消化器系の保健 7.まとめ・演習問題
第16回	期末試験	

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「保健」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

川本義規は、歯科医としての25年間にわたる経験があり、医療・保健衛生の実務者として、美容業に不可欠な保健についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	保健	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年後期
総合美容学科	講座名	保健②(人体②)	担当者	石渡 友紀子	履修区分	必修

授業の概要と方法

人体の構造・機能について学び、皮膚・毛髪などを生物科学的に理解する。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

美容の施術をするために不可欠な、皮膚・毛髪などに関する生物科学的知識を習得する。

授業の内容・計画

第 1回	泌尿器系	泌尿器系の仕組み・尿の生成 泌尿器系の保健
第 2回	内分泌器系	人体とホルモン・下垂体(脳下垂体) 甲状腺と上皮小体・膵臓、副腎・精巣と卵巣
第 3回	内分泌器系	副腎・精巣と卵巣 内分泌器系の調節機構・ストレス、保健
第 4回	環境と生体 環境と生体	(生理的適応免疫的適応) (免疫的適応)
第 5回	人体の構造と機能	― 細胞と体液 ― 骨格系
第 6回	人体の構造と機能	― 筋系 ― 神経系
第 7回	人体の構造と機能	― 感覚器系 ― 循環器系
第 8回	人体の構造と機能	― 呼吸器系 ― 消化器系
第 9回	人体の構造と機能	― 泌尿器系 ― 内分泌系
第10回	まとめ 演習問題	
第11回	人体の構造と機能	― 皮膚の構造
第12回	人体の構造と機能	― 皮膚の付属器官の生理機能
第13回	人体の構造と機能	― 皮膚の付属器官の保健
第14回	人体の構造と機能	― 保護と手入れ(皮膚・毛・爪) ― 皮膚疾患
第15回	まとめ 演習問題	
第16回	期末試験	

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「保健」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

石渡友紀子は、薬剤師としての20年間にわたる経験があり、保健衛生の実務者として、美容業に不可欠な保健についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	保健	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年
総合美容学科	講座名	保健③(皮膚)	担当者	新田 恵子	履修区分	必修

授業の概要と方法

人体の構造・機能について学び、皮膚・毛髪などを生物科学的に理解する。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

美容の施術をするために不可欠な、皮膚・毛髪などに関する生物科学的知識を習得する。

授業の内容・計画

第 1回	皮膚の構造(表皮・真皮・皮下組織) 皮膚の部位並びに人種差
第 2回	皮膚付属器官(毛の構造、成長周期・立毛筋・脂腺・汗腺・爪)
第 3回	皮膚の循環器系と神経系
第 4回	前回までの復習、確認 演習問題
第 5回	皮膚の生理機能(対外保護作用・体温調節作用・知覚作用)
第 6回	皮膚の保健(皮膚と全身状態・精神・栄養・嗜好品) 皮膚と内臓(体内病変)
第 7回	皮膚の保健(水分と脂の状態・乾皮・脂性の肌・皮膚とホルモンの関係)
第 8回	前回までの復習、確認 演習問題
第 9回	皮膚の保健(水分と脂の状態・乾皮・脂性の肌・皮膚とホルモンの関係)
第10回	皮膚の保護とお手入れ(紫外線・PH) 毛の保護とお手入れ
第11回	皮膚疾患(発疹の種類・皮膚炎の種類)
第12回	前回までの復習、確認 演習問題
第13回	皮膚疾患(寒冷・温熱による疾患・色素異常・分泌異常)
第14回	皮膚疾患(化膿菌・ウイルス等による疾患・真菌・腫瘍)
第15回	前回までの復習、確認 演習問題
第16回	前回までの復習、確認 演習問題

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「保健」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

新田恵子は、薬剤師としての7年間にわたる経験があり、保健衛生の実務者として、
美容業に不可欠な保健についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	香粧品化学	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年
総合美容学科	講座名	香粧品化学①	担当者	篠崎　功	履修区分	必修

授業の概要と方法

美容の施術の際に使用する香粧品（化粧品、ヘアケア剤、香水など）を正しく取り扱うために、必要な知識を学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

美容の施術の際に必要となる、香粧品（化粧品、ヘアケア剤、香水など）を正しく取り扱うための知識を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	香粧品の社会的意義と品質特性、香粧品の規制
第 2回	香粧品の安定性と取り扱い上の注意、香粧品と安全性
第 3回	香粧品の対象となる人体各部の性状、水性原料
第 4回	油性原料、界面活性剤
第 5回	高分子化合物、色材
第 6回	香料、その他の配合成分、ネイル、まつ毛エクステンション用材料
第 7回	皮膚清浄用香粧品、化粧水
第 8回	クリーム、乳液、その他の基礎香粧品
第 9回	メイクアップ用香粧品
第10回	シャンプー剤、スタイリング剤
第11回	パーマ剤
第12回	ヘアカラー製品
第13回	育毛剤
第14回	芳香製品
第15回	特殊香粧品
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「香粧品化学」（日本理容美容教育センター）

担当者プロフィール

篠崎功は、化粧品会社勤を経て美容セミナーを主宰するなど、化粧品開発の実務者として、美容業に不可欠な香粧品化学についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	香粧品化学	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年
総合美容学科	講座名	香粧品化学②	担当者	品田 謙一	履修区分	必修

授業の概要と方法

美容の施術の際に使用する香粧品（化粧品、ヘアケア剤、香水など）を正しく取り扱うために、必要な知識を学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

美容の施術の際に必要となる、香粧品（化粧品、ヘアケア剤、香水など）を
正しく取り扱うための知識を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	第1章　香粧品概論まとめ 演習問題
第 2回	第2章　香粧品原用原料まとめ　人体各部の性状～界面活性剤 演習問題
第 3回	第2章　香粧品原用原料まとめ　高分子化合物～まつ毛エクステンション用材料 演習問題
第 4回	第3章　基礎化粧品まとめ 演習問題
第 5回	第4章　メイクアップ用香粧品まとめ 演習問題
第 6回	第5章　頭皮・毛髪用香粧品まとめ　シャンプー剤～パーマ剤 演習問題
第 7回	第5章　頭皮・毛髪用香粧品まとめ　ヘアカラー製品～育毛・養毛剤の原料 演習問題
第 8回	第6章　芳香製品と特殊香粧品まとめ 演習問題
第 9回	基礎科学　まとめ 演習問題
第10回	総合演習と解説①
第11回	総合演習と解説②
第12回	総合演習と解説③
第13回	総合演習と解説④
第14回	総合演習と解説⑤
第15回	総合演習と解説⑥
第16回	試験科目

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「香粧品化学」（日本理容美容教育センター）　　配付プリント

担当者プロフィール

品田謙一は、予備校で化学の講師を務める傍ら香料をテーマとする論文を発表するなどして蓄えた知識を生かし、美容業に不可欠な香粧品化学についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	文化論	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年
総合美容学科	講座名	文化論①	担当者	浦山　薫	履修区分	必修

授業の概要と方法

美容ファッションと服飾の変遷、造形や色彩の原理を学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

ヘアデザインなど美容の施術で必要な美的感覚と表現力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	日本の美容の歴史を学ぶ　－　美しさについて 文化としての美容
第 2回	ヘアスタイルの文化 メイクアップの文化
第 3回	ファッションとは 流行の仕組み・仕掛け人
第 4回	日本の美容の歴史ー髪結床・女髪結 江戸時代の美容業
第 5回	近代の美容業ー髪結から美容師へ 現代の美容業
第 6回	日本のファッション文化史　－　古代のファッション文化史　－　髪型・装身具・化粧・服装
第 7回	日本のファッション文化史　－　中世のファッション文化史　－　髪型・装身具・化粧・服装
第 8回	日本のファッション文化史　－　近世のファッション文化史　－　髪型・装身具・化粧・服装
第 9回	日本のファッション文化史　－　近代のファッション文化史　－　髪型・化粧・服装
第10回	日本のファッション文化史　－　現代のファッション文化史　ー髪　型・化粧・服装
第11回	日本のファッション文化史　－　まとめ
第12回	ヨーロッパのファッション文化史　－　古代エジプトのドレス・ヘアメイク
第13回	ヨーロッパのファッション文化史　－　古代ギリシャのドレス・ヘアメイク
第14回	滅びゆく古代ローマの美学 古代ゲルマン人の服装について
第15回	中世においてウエストラインをマークした洋服について 中世においてドレスに合わせたヘアメイク
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容文化論」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

浦山薫は、数社で契約デザイナーを務める傍ら、各地のデザインコンペティションで受賞を重ねており、工芸分野の実務者としての観点から、美容業に不可欠な美容文化についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	文化論	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年
総合美容学科	講座名	文化論②	担当者	松本 良輔	履修区分	必修

授業の概要と方法

美容ファッションと服飾の変遷、造形や色彩の原理を学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

ヘアデザインなど美容の施術で必要な美的感覚と表現力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	16世紀の膨らんだ半ズボンと巨大なスカート 17世紀のメンズファッション
第 2回	18世紀華やかなサロン文化 18世紀末～19世紀初め ファッション革命
第 3回	まとめ 19世紀 クラシックからモダンへ
第 4回	1920年代 － 現代ファッションの始まり 1930年代 － 女性らしさが戻り、やがて戦時調へ
第 5回	1950年代 － モダン・クラシックの誕生 1960年代 － 第三次ファッション革命
第 6回	1970年代 － エスニックがファッションの主流に 1980年代ー東洋から黒の衝撃
第 7回	1990年代ー何でもありのファッション まとめ
第 8回	礼装の種類 和装 － 花嫁の礼装・正式の礼装
第 9回	和装 － 花嫁の礼装・正式の礼装 － 略式の礼装・男装の礼装
第10回	洋装 － 男性の場合・女性の場合 まとめ
第11回	四季の食事 － 春
第12回	四季の食事 － 夏
第13回	四季の食事 － 秋
第14回	四季の食事 － 冬
第15回	美容と健康食 まとめ
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容文化論」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

松本良輔は、ヘア＆メイクアップの店舗を20年以上経営する傍ら、大学で非常勤としてヘアメイクの授業を担当しており、実務者として、美容業に不可欠な美容文化についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	運営管理	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年
総合美容学科	講座名	運営管理	担当者	小川 朝子	履修区分	必修

授業の概要と方法

将来美容所を経営する際の科学的な経営管理の方法と、適切な接客法について学ぶ。
ビジネス検定3級を目指す。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

マネージメントの基本を学び、美容業における運営上の管理手法を理解する。
接客法や消費者への対応方法を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	キャリアと豊かな仕事生活/ビジネスマナーの基本/円滑なコミュニケーション/就業中のマナー
第 2回	挨拶の基本/指示の受け方と報告・連絡・相談/敬語の使い方/場面や人間関係に応じた敬語表現
第 3回	話し方の基本/プレゼンテーションの基本と自己紹介/会議への参加と協力
第 4回	まとめ 演習問題
第 5回	電話応対/電話の取り次ぎと携帯電話のマナー/来客応対と面談の基本マナー 名刺交換と紹介/訪問のマナー
第 6回	接客について/ホスピタリティの要素/接客における注意事項 仕事の基本となる意識/仕事への取組み
第 7回	会社のルールと企業倫理 仕事とIT/ビジネス文書の基本と社内文書の書き方
第 8回	まとめ 演習問題
第 9回	新聞・インターネットと情報収集、分析/業種・業界の知識 会社の仕組みと売上・利益/社会保険と税金
第10回	マーケティングの基礎/マーケティング戦略
第11回	美容業の現状/美容業の今後 美容業のマーケティング戦略/美容業のためのマーケティングの実践
第12回	美容業と経営/美容業と料金/美容業と経理/美容業と労務管理/労働契約/賃金・福利厚生/ 人事管理
第13回	社会保障制度について わが国の医療保障制度/わが国の所得保障制度/美容業と社会保障制度
第14回	健康の意義/健康障害発生の原因 美容作業と疲労・健康障害/美容職場の健康管理/美容職場の作業環境管理
第15回	まとめ 演習問題
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「運営管理」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

小川朝子は、法律事務所での勤務経験とビューティビジネス修士(専門士)としての学識に基づき、美容業に不可欠な運営管理についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	美容技術理論	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	1年前期
総合美容学科	講座名	美容技術理論①	担当者	岩田	履修区分	必修

授業の概要と方法

各美容技術を学ぶと共に、器具類の操作・管理方法と衛生的、能率的に技術を行うための理論も学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

美容に用いられる器具や機械の種類、目的を理解し、正しい取り扱い方法を身につけ、美容の基礎的な技術理論を、実践に生かせるようにする。

授業の内容・計画

第 1回	美容理論について
第 2回	美容技術と用具
第 3回	シャンプーイング
第 4回	リンス、コンディショナー、トリートメント
第 5回	スキャルプトリートメント
第 6回	ヘアカッティングの基礎理論
第 7回	ヘアカッティングとは・シザースの扱い方
第 8回	ヘアカッティングの正しい姿勢・ブロッキング
第 9回	シザースによるカッティング技法
第 10回	レザーによるカッティング技法
第 11回	パーマネントウエーブの歴史と現在
第 12回	パーマネントウエーブの理論と実際
第 13回	パーマネントアラカルト
第 14回	ヘアセッティング・ヘアパーティング・ヘアシェーピング
第 15回	ヘアカーリング
第 16回	カールピニング
第 17回	ターンステム
第 18回	メイポールカール技術
第 19回	スカルプチュアカール技術
第 20回	リフトカール技術
第 21回	クロッキノールカール
第 22回	ヘアウエービング
第 23回	フィンガーウエーブの基礎技術
第 24回	スキップウエーブ
第 25回	オールウエーブ構成
第 26回	ローラーカーリング
第 27回	バックコーミング
第 28回	ブロードライ
第 29回	アイロンセッティング
第 30回	アップスタイル
第 31回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

岩田取美子は、10年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠な美容技術理論についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	美容技術理論	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年前期
総合美容学科	講座名	美容技術理論②	担当者	杉本永恵	履修区分	必修

授業の概要と方法

各美容技術を学ぶと共に、器具類の操作・管理方法と衛生的、能率的に技術を行うための理論も学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

美容に用いられる器具や機械の種類、目的を理解し、正しい取り扱い方法を身につけ、美容の基礎的な技術理論を、実践に生かせるようにする。

授業の内容・計画

第 1回	ヘアカラーリング概論、ヘアカラーの種類
第 2回	ヘアカラのタイプ別特徴
第 3回	繊毛のメカニズム、色の基本
第 4回	毛髪のアンダートーンとレベルについて
第 5回	ヘアカラーリングの注意事項、パッチテスト
第 6回	酸化染毛剤・酸性染毛料の技術プロセス
第 7回	ヘアブリーチ
第 8回	色彩の基本的知識、色の表し方
第 9回	混色 － 色の見え方
第 10回	色の情緒効果、色の好み
第 11回	色の美的効果 － 東西の色彩美意識の違い、ジャッドの色彩調和の原理、配色のつくり方
第 12回	
第 13回	時代と色彩 － 化粧と服装の色彩
第 14回	顔について － 美容とデザイン
第 15回	デザイン、デッサンについて－要素、法則
第 16回	デッサン ①シンメトリー
第 17回	デッサン ②バランス
第 18回	③対比
第 19回	デッサン ④リズム
第 20回	⑤まとめ
第 21回	電流と電気抵抗
第 22回	電流と熱・電力と電力量
第 23回	電流と磁界（磁石・電流の磁気作用・電磁誘導）
第 24回	電流の作用と電気機器
第 25回	美容技術に使用する電気機器
第 26回	エステティックについて概論
第 27回	美容におけるマッサージ理論①
第 28回	美容におけるマッサージ理論②
第 29回	フェイシャルケア技術
第 30回	フェイシャルケア技術・ボディケア技術
第 31回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容技術理論」（日本理容美容教育センター）

担当者プロフィール

杉本永恵は、4年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠な美容技術理論についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	美容技術理論	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
総合美容学科	講座名	美容技術理論③	担当者	釣谷恵美	履修区分	必修

授業の概要と方法

各美容技術を学ぶと共に、器具類の操作・管理方法と衛生的、能率的に技術を行うための理論も学ぶ。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

美容に用いられる器具や機械の種類、目的を理解し、正しい取り扱い方法を身につけ、美容の基礎的な技術理論を、実践に生かせるようにする。

授業の内容・計画

第 1回	脱毛ケア技術
第 2回	カウンセリング
第 3回	物理療法と美容
第 4回	ネイル技術概論
第 5回	ネイル技術の種類
第 6回	爪の構造
第 7回	爪のカット形状・ネイル技術を行う上での注意とカウンセリング
第 8回	マニキュアについて
第 9回	ペディキュアについて
第 10回	リペア技術について
第 11回	メイクアップ概論
第 12回	顔の形態的な観察
第 13回	メイクアップと色彩
第 14回	メイクアップの基本テクニック
第 15回	ベースメイクアップ
第 16回	アイメイクアップ
第 17回	アイブロウメイクアップ
第 18回	リップメイクアップ
第 19回	フラッシュオンメイクアップ
第 20回	メイクアップまとめ
第 21回	日本髪の由来・日本髪の各部の名称
第 22回	日本髪の種類と特徴
第 23回	日本髪と調和
第 24回	日本髪の装飾品
第 25回	日本髪の技術①
第 26回	日本髪の技術②
第 27回	日本髪の手入れ法・かつらのつけ方
第 28回	かつらのつけ方
第 29回	着付の目的
第 30回	ウイッグとヘアピース
第 31回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

釣谷恵美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠な美容技術理論についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	コスメティック	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年前期
総合美容学科	講座名	コスメ総合Ⅰ①	担当者	光江弘恵	履修区分	必修

授業の概要と方法

将来、美容業に携わる者として、技術者として独り立ちするため、あるいは経営者になるために必要な力は何かを考える。

講義の達成目標

参考となる資料説明の後、自らプランを考えたり、グループで協同作業をしながら、将来をきり拓くための力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	社会人の基本	心構え、ルールとマナー
第 2回		社会で働く意義、自己啓発
第 3回		身だしなみ、表情と声
第 4回		あいさつの所作、お辞儀、立ち座り
第 5回		敬語、クッション言葉
第 6回		あいさつのことば、接客用語
第 7回		エントリーシート、自己紹介文(自分分析)
第 8回		自己紹介 (グループ練習)
第 9回	中間まとめ	レポート提出
第10回	仕事のスキル	接客マナー① (レセプション、名刺交換)
第11回		接客マナー② (電話応対、メール)
第12回		接客マナー③ (ホスピタリティ)
第13回		ビジネス用語・文書
第14回		テーブルマナー、席次
第15回		美容サロンのロールプレイング (受付、お客様チェック)
第16回	期末試験	ロールプレイングによる試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

毎回、プリント教材を配布する。

担当者プロフィール

光江弘恵は、化粧品会社において30年にわたり営業及び商品管理に従事する傍ら、ソシオエステティックの普及に務めた。

総合美容専門課程	科目名	コスメティック	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年後期
総合美容学科	講座名	コスメ総合Ⅰ②	担当者	瀧野公子	履修区分	必修

授業の概要と方法

将来、美容業に携わる者として、技術者として独り立ちするため、あるいは経営者になるために必要な力は何かを考える。

講義の達成目標

参考となる資料説明の後、自らプランを考えたり、グループで協同作業をしながら、将来をきり拓くための力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	業務理解	店頭クリーンアップ、ディスプレイ、ポップ制作
第 2回		来店促進対策、DM作成
第 3回		応対フロー、美容カウンセリング
第 4回		クレーム対応
第 5回		タッチアップ、ハンドデモ
第 6回		サンプル準備、ハンドアウト
第 7回		商品知識
第 8回		商品説明とカウンセリング
第 9回	中間まとめの発表	
第10回	販売促進	顧客管理、台帳作成
第11回		検品、在庫管理、棚卸、発注
第12回		セット販売
第13回	店舗経営	伝票整理、売上管理
第14回		サロンの運営
第15回		人間関係の調整
第16回	期末試験 まとめのレポート作成	

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

毎回、プリント教材を配布する。

担当者プロフィール

瀧野公子は、35年にわたり化粧品会社でビューティアドバイザーや営業職、新人育成等の勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、美容業に携わろうとしている学生のキャリアについての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	コスメティック	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年後期
総合美容学科	講座名	コスメ総合Ⅰ③	担当者	南部 裕子	履修区分	必修

授業の概要と方法

将来、美容業に携わる者として、技術者として独り立ちするため、あるいは経営者になるために必要な力は何かを考える。

講義の達成目標

参考となる資料説明の後、自らプランを考えたり、グループで協同作業をしながら、将来をきり拓くための力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	インターンシップ事前指導	インターンシップの心構え
第 2回		インターンシップの目標設定
第 3回		インターンシップのロールプレイ①
第 4回		インターンシップのロールプレイ②
第 5回		インターンシップの日誌作成
第 6回	就職指導(1)	はたらくことの目的・意義
第 7回		仕事の種類
第 8回		求人票の見方
第 9回	インターンシップ事後指導	インターンシップのまとめと反省
第10回	就職指導(2)	履歴書の書き方
第11回		面接の準備
第12回		面接練習①
第13回		面接練習②
第14回	就職指導(3)	報告書の書き方
第15回		会議の進め方
第16回	期末試験、まとめのレポート作成	

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

毎回、プリント教材を配布する。

担当者プロフィール

南部裕子は、薬品販売会社での営業やビューティアドバイザー等の勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、美容業に携わろうとしている学生のキャリアに関しての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	コスメティック	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年前期
総合美容学科	講座名	コスメ総合Ⅱ①	担当者	光江弘恵	履修区分	必修

授業の概要と方法

将来、美容業に携わる者として、技術者として独り立ちするため、あるいは経営者になるために必要な力は何かを考える。

講義の達成目標

参考となる資料説明の後、自らプランを考えたり、グループで協同作業をしながら、将来をきり拓くための力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	コスメティックサロンの理解	サロンにおけるビジネス・キャリア
第 2回		サロン内のコミュニケーション
第 3回		サロンのメディア活用、ビジネス用語集
第 4回		サロンの器具・用具
第 5回	ビューティコーディネーターの仕事	ビューティコーディネーターとは
第 6回		美容メニューの基本知識
第 7回		生産性を高めるフロアマネジメントワーク
第 8回		ホスピタリティを発揮するビジネスコミュニケーション
第 9回	中間考査	
第10回	ソシオエステティック概論	ソシオエステティックとは
第11回		ソシオエステティシャンの技術と心構え
第12回		ソシオエステティシャンの活動状況
第13回		ソシオエステティックの未来
第14回	レセプショニストの仕事	予約の受付、席への案内、会計
第15回		スタッフのスケジュール調整、顧客への案内・アフターフォロー
第16回	期末試験 まとめのレポート作成	

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

毎回、プリント教材を配布する。

担当者プロフィール

光江弘恵は、化粧品会社において30年にわたり営業及び商品管理に従事する傍ら、ソシオエステティックの普及に務めた。

総合美容専門課程	科目名	コスメティック	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年後期
総合美容学科	講座名	コスメ総合Ⅱ②	担当者	瀧野公子	履修区分	必修

授業の概要と方法

将来、美容業に携わる者として、技術者として独り立ちするため、あるいは経営者になるために必要な力は何かを考える。

講義の達成目標

参考となる資料説明の後、自らプランを考えたり、グループで協同作業をしながら、将来をきり拓くための力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	コミュニケーションスキル	電話のビジネスマナー(1) 職場で電話を受けたときの正しい言い回し・定番フレーズ
第 2回		電話のビジネスマナー(2) 仕事で電話をかけるときに使う礼儀正しい話し方・定番フレーズ
第 3回		文書のビジネスマナー 文書を送るときに使う文章表現ならではの言い回し
第 4回		社会人としてのあいさつ(1) 人に会ったとき・会話のきっかけ
第 5回		社会人としてのあいさつ(2) つなぎの言葉・自分自身の話をするとき・別れ際に
第 6回		ロールプレイング
第 7回	コミュニケーション力アップ	コミュニケーションスキルの確認
第 8回		コミュニケーションスキルの集計と分析
第 9回		ストローク
第10回		感情コントロール
第11回		雑談力
第12回		傾聴力(1) ラポール　～関係の構築～
第13回		傾聴力(2) 傾聴のスキル
第14回		傾聴力(3) 質問する技術
第15回		まとめのレポート作成
第16回	期末試験	

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

毎回、プリント教材を配布する。

担当者プロフィール

瀧野公子は、35年にわたり化粧品会社でビューティアドバイザーや営業職、新人育成等の勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、美容業に携わろうとしている学生のキャリアについての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	コスメティック	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年後期
総合美容学科	講座名	コスメ総合Ⅱ②	担当者	瀧野公子	履修区分	必修

授業の概要と方法

将来、美容業に携わる者として、技術者として独り立ちするため、あるいは経営者になるために必要な力は何かを考える。

講義の達成目標

参考となる資料説明の後、自らプランを考えたり、グループで協同作業をしながら、将来をきり拓くための力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	コミュニケーションスキル	電話のビジネスマナー(1) 職場で電話を受けたときの正しい言い回し・定番フレーズ
第 2回		電話のビジネスマナー(2) 仕事で電話をかけるときに使う礼儀正しい話し方・定番フレーズ
第 3回		文書のビジネスマナー 文書を送るときに使う文章表現ならではの言い回し
第 4回		社会人としてのあいさつ(1) 人に会ったとき・会話のきっかけ
第 5回		社会人としてのあいさつ(2) つなぎの言葉・自分自身の話をするとき・別れ際に
第 6回		ロールプレイング
第 7回	コミュニケーション力アップ	コミュニケーションスキルの確認
第 8回		コミュニケーションスキルの集計と分析
第 9回		ストローク
第10回		感情コントロール
第11回		雑談力
第12回		傾聴力(1) ラポール　～関係の構築～
第13回		傾聴力(2) 傾聴のスキル
第14回		傾聴力(3) 質問する技術
第15回		まとめのレポート作成
第16回	期末試験	

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

毎回、プリント教材を配布する。

担当者プロフィール

瀧野公子は、35年にわたり化粧品会社でビューティアドバイザーや営業職、新人育成等の勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、美容業に携わろうとしている学生のキャリアについての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	ヘアカッティング	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年
総合美容学科	講座名	カット基礎	担当者	釣谷恵美	履修区分	必修

授業の概要と方法

レイヤースタイルを国家試験課題採点基準に基づき把握し、ボディーポジションを正確に理解し、基礎となる点を重点的に繰り返し行いながら進行する。
クラス単位での実習形式。

講義の達成目標

美容師国家試験の合格基準に達する技術の習得の前段階への到達
基礎となる技術に基づき様々なスタイルのカットを設計し施術することができる技能の習得

授業の内容・計画

第 1回	カッティング技術理論 シザースやコームの持ち方と使い方
第 2回	シザーストレーニング
第 3回	基本のカッティング練習　ブラントカット
第 4回	基本のカッティング練習　ワンレングスカット、グラデーションカット
第 5回	基本のカッティング練習　レイヤーカット、セイムレングスカット
第 6回	基本のカッティング練習　毛量調整　シャギーカット等
第 7回	ウィックブロッキングとカットプロセスを覚える
第 8回	計測の練習
第 9回	シェープとパネルの引き出し方の把握 パネルの持ち方とシザースの角度把握
第10回	身体の立ち位置とボディーポジションの把握
第11回	カッティングプロセス①　TP～バング　長さとレイヤー ②　アウトラインブロッキング
第12回	カッティングプロセス③　アウトラインベースカット ④　サイドレイアー
第13回	カッティングプロセス⑤　バック部分下段カット ⑥　バック部分上段カット
第14回	カッティングプロセス⑦　バック部分中段カット ⑧　全体のポイントチェック修正
第15回	カッティングプロセス⑨　仕上がり確認と採点においての減点箇所確認
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容実習」(日本理容美容教育センター)　参考文献「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)
シザース・ダックカール・カットコーム・タオル・スプレイアー・クランプ・ウィック

担当者のプロフィール

釣谷恵美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師に不可欠な美容技術理論についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	シャンプーイング	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年
総合美容学科	講座名	シャンプーⅠ	担当者	岩田取美子	履修区分	必修

授業の概要と方法

用具と器具の使用法と作業姿勢を徹底的に覚え、感覚とリズムをつかむまで繰り返し指導を行う。
また、お客様にとってのリラクゼーションを追求する。
クラス単位での実習形式。

講義の達成目標

サロンにて即戦力になる技術力の習得とお客様へのリラクゼーション効果の理解

授業の内容・計画

第 1回	シャンプー実習実技理論 クロス掛け… タオルとクロスを掛ける
第 2回	ブラッシング… 姿勢、ブラシの持ち方
第 3回	ブラッシング… 手順 基本動作… 電動シャンプーイスの扱い方
第 4回	基本動作… お湯とシャワーヘッドの扱い方
第 5回	基本動作… 指の動かし方、モデル動作での練習
第 6回	プレーンリンス… 椅子とシャンプーボールの位置、準備の仕方、技術手順
第 7回	シャンプー… ファーストシャンプー
第 8回	シャンプー… セカンドシャンプー リンス… 種類と適量と塗布の仕方
第 9回	トリートメント… 種類と適量と塗布の仕方 タオルドライ… ドライ方法とターバン
第10回	基本動作… 指導チェック プレーンリンス… 指導チェック
第11回	シャンプー… 指導チェック トリートメント… 指導チェック
第12回	タオルドライ… ドライ方法とターバン指導チェック シャンプー… 中間チェック(リズムとスピード)
第13回	総合弱点箇所克服トレーニング 相モデルタイムトライアル20分
第14回	相モデルタイムトライアル20分
第15回	総合弱点箇所克服トレーニング シャンプーテスト 20分
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容実習」(日本理容美容教育センター) 参考文献:「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)
タオル・シャンプークロス・カテリーナブラシ・ダックカール

担当者のプロフィール

岩田取美子は、10年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師に不可欠な美容技術理論についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	シャンプーイング	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年
総合美容学科		シャンプーⅡ	担当者	飯島庸子	履修区分	必修

授業の概要と方法

用具と器具の使用法と作業姿勢を徹底的に覚え、感覚とリズムをつかむまで繰り返し指導を行う。
また、お客様にとってのリラクゼーションを追求する。
クラス単位での実習形式。

講義の達成目標

サロンにて即戦力になる技術力の習得とお客様へのリラクゼーション効果の理解

授業の内容・計画

第 1回	シャンプー実習実技理論の確認 クロス掛け… タオルとクロスを掛ける
第 2回	ブラッシング… 姿勢、ブラシの持ち方
第 3回	ブラッシング… 手順 基本動作… 電動シャンプーイスの扱い方
第 4回	基本動作… お湯とシャワーヘッドの扱い方
第 5回	基本動作… 指の動かし方、モデル動作での練習
第 6回	プレーンリンス… 椅子とシャンプーボールの位置、準備の仕方、技術手順
第 7回	シャンプー… ファーストシャンプー
第 8回	シャンプー… セカンドシャンプー リンス… 種類と適量と塗布の仕方
第 9回	トリートメント… 種類と適量と塗布の仕方 タオルドライ… ドライ方法とターバン
第10回	基本動作… 指導チェック プレーンリンス… 指導チェック
第11回	シャンプー… 指導チェック トリートメント… 指導チェック
第12回	タオルドライ… ドライ方法とターバン指導チェック シャンプー… 中間チェック(リズムとスピード)
第13回	総合弱点箇所克服トレーニング 相モデルタイムトライアル20分
第14回	相モデルタイムトライアル20分
第15回	総合弱点箇所克服トレーニング シャンプー実技試験 20分
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容実習」(日本理容美容教育センター) 参考文献:「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)
タオル・シャンプークロス・カテリーナブラシ・ダックカール

担当者のプロフィール

飯島庸子は、14年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師に不可欠なオールウェーブの技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	ワインディング	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	1年前期
総合美容学科	講座名	ワインディングⅠ－①	担当者	神田紗那	履修区分	必修

授業の概要と方法

サロンワークにおける施術の中で、姿勢や立ち位置～スライス～ブロッキング～巻き納めの基本工程を確実なものとして取り入れ、様々な構成を学ぶ。
クラス単位での実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

20分間で国家試験合格基準を超える技術の習得の前段階への到達
多様化するパーマの基礎技術の習得・知識の修得

授業の内容・計画

第 1回	ワインディング技術理論 用具の名称や使い方
第 2回	ウィック制作　ブロッキング～カッティング
第 3回	ブロッキング　10ブロック
第 4回	全頭60本～63本のオールパーパス構成を覚える スライスとシェープ
第 5回	上巻き　角度と巻き納め
第 6回	下巻き　角度と巻き納め
第 7回	作業姿勢とボディーポジション
第 8回	オールパーパス構成　センター、バックサイド
第 9回	オールパーパス構成　サイド オールパーパス全頭巻き　20～30分
第10回	全頭52本の国家試験新課題構成を覚える
第11回	ブロッキング　12ブロック
第12回	スライスとシェープ 上巻き　角度と巻き納め
第13回	下巻き　角度と巻き納め 作業姿勢とボディーポジション
第14回	新課題構成　センター～ネープ 新課題構成　フロント～バックサイド～ネープ
第15回	新課題構成　サイド 全頭20分　修整チェックポイント確認
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ワインディング教材　、「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献　：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

神田紗那は、4年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての、美容師に不可欠なワインディングの技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	ワインディング	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	1年後期
総合美容学科	講座名	ワインディングⅠ－②	担当者	神田紗那	履修区分	必修

授業の概要と方法

サロンワークにおける施術の中で、姿勢や立ち位置～スライス～ブロッキング～巻き納めの基本工程を確実なものとして取り入れ、様々な構成を学ぶ。
クラス単位での実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

20分間で国家試験合格基準を超える技術の習得の前段階への到達
多様化するパーマの基礎技術の習得・知識の修得

授業の内容・計画

第 1回	ワインディング技術理論 用具の名称や使い方
第 2回	ウィック制作　ブロッキング～カッティング
第 3回	ブロッキング　10ブロック
第 4回	全頭60本～63本のオールパーパス構成を覚える スライスとシェープ
第 5回	上巻き　角度と巻き納め
第 6回	下巻き　角度と巻き納め
第 7回	作業姿勢とボディーポジション
第 8回	オールパーパス構成　センター、バックサイド
第 9回	オールパーパス構成　サイド オールパーパス全頭巻き　20～30分
第10回	全頭52本の国家試験新課題構成を覚える
第11回	ブロッキング　12ブロック
第12回	スライスとシェープ 上巻き　角度と巻き納め
第13回	下巻き　角度と巻き納め 作業姿勢とボディーポジション
第14回	新課題構成　センター～ネープ 新課題構成　フロント～バックサイド～ネープ
第15回	新課題構成　サイド 全頭20分　修整チェックポイント確認
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ワインディング教材　、「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献　：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

神田紗那は、4年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての、美容師に不可欠なワインディングの技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	ワインディング	単位・時間数	1単位30時間	履修対象	1年後期
総合美容学科	講座名	ワインディングⅠ－③	担当者	神田紗那	履修区分	必修

授業の概要と方法

サロンワークにおける施術の中で、姿勢や立ち位置～スライス～ブロッキング～巻き納めの基本工程を確実なものとして取り入れ、様々な構成を学ぶ。
クラス単位での実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

20分間で国家試験合格基準を超える技術の習得の前段階への到達
多様化するパーマの基礎技術の習得・知識の修得

授業の内容・計画

第 1回	ワインディング技術理論 用具の名称や使い方
第 2回	ウィック制作　ブロッキング～カッティング ブロッキング　10ブロック
第 3回	全頭60本～63本のオールパーパス構成を覚える スライスとシェープ
第 4回	上巻き　角度と巻き納め 下巻き　角度と巻き納め
第 5回	作業姿勢とボディーポジション オールパーパス構成　センター、バックサイド
第 6回	オールパーパス構成　サイド オールパーパス全頭巻き　20～30分
第 7回	ブロッキング　12ブロック スライスとシェープ
第 8回	上巻き　角度と巻き納め 下巻き　角度と巻き納め

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ワインディング教材　、「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献　：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

神田紗那は、4年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての、美容師に不可欠なワインディングの技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	ワインディング	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年
総合美容学科	講座名	ワインディングⅡ	担当者	石橋雅美	履修区分	必修

授業の概要と方法

サロンワークにおける施術の中で、姿勢や立ち位置～スライス～ブロッキング～巻き納めの基本工程を確実なものとして取り入れ、様々な構成を学ぶ。
クラス単位での実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

20分間で国家試験合格基準を超える技術の習得
多様化するパーマの基礎技術の習得・知識の修得

授業の内容・計画

第 1回	ワインディング技術理論 用具の名称や使い方
第 2回	ウィック制作 ブロッキング～カッティング
第 3回	ブロッキング 10ブロック
第 4回	全頭60本～63本のオールパーパス構成を覚える スライスとシェープ
第 5回	上巻き 角度と巻き納め
第 6回	下巻き 角度と巻き納め
第 7回	作業姿勢とボディーポジション
第 8回	オールパーパス構成 センター、バックサイド
第 9回	オールパーパス構成 サイド オールパーパス全頭巻き 20～30分
第10回	全頭52本の国家試験新課題構成を覚える
第11回	ブロッキング 12ブロック
第12回	スライスとシェープ 上巻き 角度と巻き納め
第13回	下巻き 角度と巻き納め 作業姿勢とボディーポジション
第14回	新課題構成 センター～ネープ 新課題構成 フロント～バックサイド～ネープ
第15回	新課題構成 サイド 全頭20分 修整チェックポイント確認
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ワインディング教材 、「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献 :「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

石橋雅美は、4年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての、美容師に不可欠なワインディングの技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	オールウェーブ	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年前期
総合美容学科	講座名	オールウェーブ①	担当者	飯島庸子	履修区分	必修

授業の概要と方法

ウィッグ制作から全ての確認まで27分間で確実に作成できる技術を身につける。
理論の理解を深めながら、各項目の採点基準に照らして重点を確認する。
クラス単位での実習形式。

講義の達成目標

美容師国家試験課題である科目の合格基準に達する技術の習得

授業の内容・計画

第 1回	ヘアセッティング ≪オールウェーブセッティング≫の技術理論
第 2回	ウィッグブロッキング
第 3回	ウィッグカット
第 4回	ウィッグレザーカット
第 5回	ウィッグパーマ
第 6回	フィンガーウェーブ トローとリッジ コームと指の使い方
第 7回	フィンガーウェーブ ノーパート6段構成 作り方と幅を覚える
第 8回	ハーフウェーブとフルウェーブ
第 9回	ピンカール スカルプチュアカール
第 10回	ピンカール リフトカール左巻き
第 11回	ピンカール リフトカール右巻き
第 12回	ピンカール メイポールカール
第 13回	ピンカール クロッキノールカール
第 14回	ウェーブ面とピンカールのつながりとバランスの理解
第 15回	採点項目・構成ミス点についての理解
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ウェーブ教材 「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献 : 「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

飯島庸子は、14年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師に不可欠なオールウェーブの技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	オールウェーブ	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年後期
総合美容学科	講座名	オールウェーブ②	担当者	飯島庸子	履修区分	必修

授業の概要と方法

ウィッグ制作から全ての確認まで27分間で確実に作成できる技術を身につける。
理論の理解を深めながら、各項目の採点基準に照らして重点を確認する。
クラス単位での実習形式。

講義の達成目標

美容師国家試験課題である科目の合格基準に達する技術の習得

授業の内容・計画

第 1回	ヘアセッティング ≪オールウェーブセッティング≫の技術理論の確認 ウィッグブロッキング
第 2回	ウィッグカット ウィッグレザーカット
第 3回	ウィッグパーマ
第 4回	フィンガーウェーブ トローとリッジ コームと指の使い方の確認
第 5回	フィンガーウェーブ ノーパート7段構成 作り方と幅の確認
第 6回	ハーフウェーブとフルウェーブ
第 7回	ピンカール スカルプチュアカール
第 8回	ピンカール リフトカール左巻き
第 9回	ピンカール リフトカール右巻き
第10回	ピンカール メイポールカール
第11回	ピンカール クロッキノールカール
第12回	ウェーブ面とピンカールのつながりとバランスの確認
第13回	採点項目 構成ミス点の確認
第14回	全体のタイム確認 ≪オールウェーブセッティング≫の技術理論と照らし合わせた全体確認
第15回	25分間での作品制作と修正チェック
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ウェーブ教材 「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献 : 「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

飯島庸子は、14年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師に不可欠なオールウェーブの技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	ヘアメイク	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年前期
総合美容学科	講座名	ヘアアレンジ	担当者	楢木省悟	履修区分	選択

授業の概要と方法

基本動作と丁寧な作業をベースに、応用力を活かしたテクニックを用いて、さまざまなヘアスタイルをつくる技術を身につける。
クラス単位での実習形式。

講義の達成目標

基本動作と丁寧な作業と応用力で、幅広いデザインの作品が正確かつ短時間で作成できる。

授業の内容・計画

第 1回	アップスタイリング技術理論 ヘア実習道具説明・セッティングの方法
第 2回	ブラッシング… 一束結び、二束結び、三編み ピンの止め方と面の出し方
第 3回	ポンパドール… ブロッキング、逆毛の立て方、和櫛の使い方 逆毛と面のまとめ方、和櫛の使い方
第 4回	ポンパドール… タイムトライアル 実技試験
第 5回	夜会巻き… ブロッキング、逆毛の立て方、ねじり方、ピニングの方法 フロントの作り方
第 6回	夜会巻き… タイムトライアル 実技試験
第 7回	新日本髪… すき毛作り、ブロッキング、すき毛の止め方 まげの種類と作り方
第 8回	新日本髪… タイムトライアル 実技試験
第 9回	カラーリングの方法と実践
第10回	カラーリングの方法と実践
第11回	人頭ヘアー制作
第12回	人頭ヘアー制作
第13回	和装コンテスト、ヘアー制作
第14回	舞台、人頭ヘアー制作
第15回	舞台、人頭ヘアー制作
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容実習」(日本理容美容教育センター)　参考文献「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)
リングコーム・カテリーナブラシ・ダックカール・アメピン・オニピン・台皿

担当者のプロフィール

楢木省悟は、美容専門学校に勤務する傍ら、介護の仕事にも携わり、美容師に不可欠なホスピタリティの重要さを伝えながら、授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	ヘアメイク	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年後期
総合美容学科	講座名	スタイリング基礎	担当者	楢木省悟	履修区分	選択

授業の概要と方法

資料での説明を受けてから、デモンストレーション後に実践する。
各回のテーマに沿って学びつつ、美容全般についての見識を深め、学習成果の報告・発表を行う。
希望者による実習形式。

講義の達成目標

サロンワークが十分にこなせる技術を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	スタイル作成 ： スタイルアレンジの撮影、アングルの決め方
第 2回	カメラ撮影 ： アングルの決め方
第 3回	ヘアブロー ： クリエイティブ ブロー
第 4回	ヘアセッティング ： 仕上げの美しい面の作り方
第 5回	ヘアアレンジ ： ヘアアレンジの種類と方法、毛先のレザーカットによる質感作り
第 6回	ヘアアレンジ ： トータルメイクコンテストにおけるヘア指導
第 7回	デザイン作成 ： デッサンやテーマ、画像作成、色彩(ヘアカラー)のバランス
第 8回	デザイン作成 ： ヘア土台の作り方・バランスのとり方
第 9回	アートヘア ： 素材作り・形・イメージ
第 10回	似合うスタイルとは ： 顔骨格からの的確なフォルム診断
第 11回	サロンワーク ： サロンワークに活かせる簡単アレンジ
第 12回	サロンワーク実践 ： アレンジ作品、制作と指導
第 13回	作品制作 ： 模倣アップスタイル作品のデザイン、制作と指導
第 14回	模擬試験 ： 実技 … 模倣アップスタイル試験(30分間) ※練習と本番
第 15回	模擬試験 ： 成果報告発表
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

4/5以上の出席と実技試験の本校採点基準で100点満点中70点以上をクリアした者に対し、授業態度及び宿題、レポート等の提出内容を加味して、5段階で評価する。

使用教材

別途配布資料あり
ブラシ・コーム・ウィック・ドライアー・ピン・クランプ

担当者のプロフィール

楢木省悟は、美容専門学校に勤務する傍ら、介護の仕事にも携わり、美容師に不可欠なホスピタリティの重要さを伝えながら、授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	パーマ&カラー	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年
総合美容学科	講座名	パーマ&カラー	担当者	石橋雅美	履修区分	必修

授業の概要と方法

パーマ並びにカラーリングに関する基礎知識及び実践的技術を習得する。
希望者による実習形式。

講義の達成目標

サロンにて即戦力になる技術力の習得とお客様へのリラクゼーション効果の理解

授業の内容・計画

第 1回	カラーの分類　酸性染毛剤・脱色剤・毛髪着色料
第 2回	カラー理論　ヘアカラー剤の種類と区分
第 3回	カラー剤の発色仕組み　染毛剤と脱色・脱染　発色の関係
第 4回	薬剤の作り方　計量の方法と1・2剤の混合方法
第 5回	薬剤の塗り方　薬剤の取り方と、用具(ハケ)の使いかたと塗布量
第 6回	薬剤塗布レッスン
第 7回	パーマ理論① 毛髪と薬剤
第 8回	パーマ理論② ロッドのサイズと形状・ステムの角度と巻き収め
第 9回	毛髪診断　損傷毛・撥水毛
第10回	巻き方の基本パターン
第11回	ストレートパーマのプロセスと注意点
第12回	ロングウェーブのロッド巻きパターン
第13回	クセ毛タッチのウィービングスタイル
第14回	巻き髪風毛先カールパーマ
第15回	縮毛矯正 毛髪と薬剤・アイロン技術
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容実習」(日本理容美容教育センター)　参考文献:「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)
タオル・シャンプークロス・カテリーナブラシ・ダックカール

担当者のプロフィール

石橋雅美は、17年の美容室の勤務経験があり、美容関係の実務者として
美容師にお不可欠なパーマとカラーリングについての知識と技能を伝える授業を展開している。

総合美容専門課程	科目名	メイクアップ	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年前期
総合美容学科	講座名	メイクⅠ	担当者	杉本永恵	履修区分	必修

授業の概要と方法

40分間で基本となるナチュラルメイクを施術する技能を身につけるためのトレーニングを行う。
クラス単位での実習形式。

講義の達成目標

ハリウッドメイク検定3級合格の基準に適応する技術の習得
スキンケア基礎・メイク基本技術・メイク基礎理論の習得

授業の内容・計画

第 1回	メイクアップアーティストとしての心構え　メイク道具名称 顔の名称　フェースプロポーション
第 2回	接客マナー
第 3回	ベースメイクアップ コントロールカラー、ファンデーションの種類
第 4回	ファンデーションテクニック リキッドファンデーションテクニック
第 5回	ファンデーションカラー フェースパウダー
第 6回	アイメイク…　アイシャドー、アイライン
第 7回	アイメイク…　マスカラ、アイブロウ
第 8回	リップ…　仕上げ、口紅の種類、リップテクニック
第 9回	チーク…　ハイライト、シャドウ ベースから仕上げまで
第10回	相モデル　フルメイク　40分
第11回	相モデル　フルメイク　40分
第12回	相モデル　フルメイク　40分
第13回	相モデル　フルメイク　40分
第14回	相モデル　フルメイク　40分
第15回	メイクアップ検定　3級実技試験対策
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容実習」(日本理容美容教育センター)　参考文献:「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)
アイブロウペンシル・アイライナー・マスカラ・パフ・タオル・メイクパレット・クレンジングミルク・コットン

担当者のプロフィール

杉本永恵は、4年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師に不可欠なメイクアップの技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	メイクアップ	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年前期
総合美容学科	講座名	メイクⅡ	担当者	曺　銀淑	履修区分	必修

授業の概要と方法

40分間で基本となるナチュラルメイクを施術する。
スキンケア基礎・メイク基本技術・メイク基礎理論を習得する。
クラス単位での実技形式。2コマ続きで実施する。

講義の達成目標

ハリウッドメイク検定3級合格基準とした技術の習得
スキンケア基礎・メイク基本技術・メイク基礎理論の習得

授業の内容・計画

第 1回	メイクアップアーティストとしての心構え、メイク道具名称
	顔の名称、フェースプロポーション
第 2回	接客マナー
	ベースメイクアップ
第 3回	コントロールカラー、ファンデーションの種類
	ファンデーションテクニック
第 4回	リキッドファンデーションテクニック
	ファンデーションカラー
第 5回	フェースパウダー
	アイメイク… アイシャドー
第 6回	アイメイク… アイライン、マスカラ
	アイメイク… アイブロウ
第 7回	リップ… 仕上げ、口紅の種類
	リップ… リップテクニック
第 8回	チーク… ハイライト
	チーク… シャドウ
第 9回	ベースから仕上げまで
第10回	相モデル フルメイク 40分
第11回	相モデル フルメイク 40分
第12回	相モデル フルメイク 40分
第13回	相モデル フルメイク 40分
第14回	メイクアップ検定 4級実技試験対策
第15回	メイクアップ検定 3級実技試験対策
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ハリウッドメイクアップ検定2級テキスト

担当者のプロフィール

曺　銀淑は4年シュウ・ウエムラに勤務、美容師免許も取得し、ハリウッド大学院大学を修了している。
美容関連業務に14年携わり、実務者としてヘアメイク・コスメティックの技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	メイクアップ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
総合美容学科	講座名	メイクⅢ	担当者	津久間由美	履修区分	選択

授業の概要と方法

お客様を素顔より綺麗にメイクアップすることができ、肌の悩みや欠点をカバーし好感度のあるメイクに仕上げることができる技術を身につける。
2コマ連続の形で実施する。

講義の達成目標

サロンワークやブライダル、成人式で実践できるように仕上げる。
メイクアップアーティスト検定3級レベルに到達する。

授業の内容・計画

第 1回	ベースメイクアップ	… いろいろな肌の質感 … 修正メイクアップのいろいろ
第 2回	ベースメイクアップ 目元のメイク	… スキントラブルテクニック … さまざまな目元とアイメイク
第 3回	目元のメイク	… アイシャドウデザイン … アイシャドウデザイン、付けまつげ、アイラッシュカット
第 4回	眉	… 眉の毛流、眉の位置、眉の色＆アイブローテクニック … 眉のイメージ
第 5回	眉 まとめ	… 眉のトリミング … ここまでの復習
第 6回	リップ 仕上げ	… リップの形、イメージ、描き方と実習 … チーク、ハイライト、シャドウについて
第 7回	フルメイク	… 50分でスキンケアから仕上げまで確認チェック … フルメイク40分＆メイク理論学科対策
第 8回	模擬試験 イメージメイク	… フルメイク40分＆メイク学科テスト … イメージの捉え方
第 9回	イメージメイク	… 配置の効果 … イメージメイクアップ
第10回	ブライダルメイク	… 洋装ブライダル … 和装ブライダル
第11回	ブライダルメイク 色彩	… デコルテ・背中・腕・手などのボディメイク … 対比の効果
第12回	色彩	… コスチュームと照明 … メイクの色バランス
第13回	フルメイク実習	… テーマ かっこいい … テーマ アイドル
第14回	フルメイク実習	… テーマ セクシー … テーマ キャリアウーマン
第15回	フルメイク実習	… テーマ 女優
第16回	模擬試験	… フルメイク51分＆学科模試

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教

ハリウッドメイクアップ検定2級テキスト

担当者のプロフィール

津久間由美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠なメイクアップの技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	メイクアップ	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年後期
総合美容学科	講座名	応用メイクⅠ	担当者	津久間由美	履修区分	T 選択 C 必修

授業の概要と方法

40分間で基本となるナチュラルメイクを施術する。
スキンケア基礎・メイク基本技術・メイク基礎理論を習得する。
クラス単位での実技形式。

講義の達成目標

ハリウッドメイク検定3級合格基準とした技術の習得
スキンケア基礎・メイク基本技術・メイク基礎理論の習得

授業の内容・計画

第 1回	接客マナー
	ベースメイクアップ
第 2回	コントロールカラー、ファンデーションの種類 ファンデーションテクニック
	リキッドファンデーションテクニック ファンデーションカラー
第 3回	フェースパウダー アイメイク… アイシャドー
	アイメイク… アイライン、マスカラ アイメイク… アイブロウ
第 4回	リップ… 仕上げ、口紅の種類 リップ… リップテクニック
	チーク… ハイライト チーク… シャドウ
第 5回	ベースから仕上げまで
	相モデル フルメイク 40分
第 6回	相モデル フルメイク 40分
	相モデル フルメイク 40分
第 7回	相モデル フルメイク 40分
	相モデル フルメイク 40分
第 8回	メイクアップ検定 3級実技試験対策
	メイクアップ検定 4級実技試験対策

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教

ハリウッドメイクアップ検定2級テキスト

担当者のプロフィール

津久間由美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠なメイクアップの技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	メイクアップ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年前期
総合美容学科	講座名	応用メイクⅡ	担当者	津久間由美	履修区分	選択

授業の概要と方法

お客様を素顔より綺麗にメイクアップすることができ、肌の悩みや欠点をカバーし好感度のあるメイクに仕上げることができる技術を身につける。
2コマ連続の形で実施する。

講義の達成目標

サロンワークやブライダル、成人式で実践できるように仕上げる。
メイクアップアーティスト検定3級レベルに到達する。

授業の内容・計画

第 1回	ベースメイクアップ	… いろいろな肌の質感
第 2回	ベースメイクアップ	… 修正メイクアップのいろいろ
第 3回	ベースメイクアップ	… スキントラブルテクニック
第 4回	目元のメイク	… さまざまな目元とアイメイク
第 5回	目元のメイク	… アイシャドウデザイン
第 6回	目元のメイク	… アイシャドウデザイン、付けまつげ、アイラッシュカット
第 7回	眉	… 眉の毛流、眉の位置、眉の色＆アイブローテクニック
第 8回	眉	… 眉のイメージ
第 9回	眉	… 眉のトリミング
第 10回	まとめ	… ここまでの復習
第 11回	リップ	… リップの形、イメージ、描き方と実習
第 12回	仕上げ	… チーク、ハイライト、シャドウについて
第 13回	フルメイク	… 50分でスキンケアから仕上げまで確認チェック
第 14回	フルメイク	… フルメイク40分＆メイク理論学科対策
第 15回	模擬試験	… フルメイク40分＆メイク学科テスト
第 16回	イメージメイク	… イメージの捉え方

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教

ハリウッドメイクアップ検定2級テキスト

担当者のプロフィール

津久間由美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠なメイクアップの技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	メイクアップ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
総合美容学科	講座名	応用メイクⅢ	担当者	津久間由美	履修区分	選択

授業の概要と方法

お客様を素顔より綺麗にメイクアップすることができ、肌の悩みや欠点をカバーし好感度のあるメイクに仕上げることができる技術を身につける。
2コマ連続の形で実施する。

講義の達成目標

サロンワークやブライダル、成人式で実践できるように仕上げる。
メイクアップアーティスト検定3級レベルに到達する。

授業の内容・計画

第 1回	イメージメイク	… 配置の効果
第 2回	イメージメイク	… イメージメイクアップ
第 3回	ブライダルメイク	… 洋装ブライダル
第 4回	ブライダルメイク	… 和装ブライダル
第 5回	ブライダルメイク	… デコルテ・背中・腕・手などのボディメイク
第 6回	色彩	… 対比の効果
第 7回	色彩	… コスチュームと照明
第 8回	色彩	… メイクの色バランス
第 9回	フルメイク実習	… テーマ かっこいい
第 10回	フルメイク実習	… テーマ アイドル
第 11回	フルメイク実習	… テーマ セクシー
第 12回	フルメイク実習	… テーマ キャリアウーマン
第 13回	フルメイク実習	… テーマ 女優
第 14回	模擬試験	… フルメイク50分＆学科模試
第 15回	模擬試験	… フルメイク50分＆学科模試
第 16回	模擬試験	

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教

ハリウッドメイクアップ検定2級テキスト

担当者のプロフィール

津久間由美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠なメイクアップの技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	エステティック	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年前期
総合美容学科	講座名	エステⅠ	担当者	小澤 英	履修区分	必修

授業の概要と方法

スキンケア・マッサージの効果を体験する。相モデルで実習・試験を行う。
クラス単位での実習形式。

講義の達成目標

ハリウッドフェイシャルマッサージ技術の習得、スキンケア基礎・マッサージ理論の習得
ハリウッド化粧品についての知識の修得

授業の内容・計画

第 1回	エステティック技術理論 マッサージの効果と注意点
第 2回	準備物とマッサージ技術のステップ フェイスメイクのクレンジング法　ふきとり技術
第 3回	スチームタオル・ソフトチーフの使い方 マッサージと血管のつながり
第 4回	ハンドマッサージ 手のひらのマッサージツボ
第 5回	マッサージクリームののばし方 基本マッサージの順序
第 6回	口角と口周りのマッサージ、頬のマッサージ マッサージ後のケア
第 7回	蒸しタオルのかけ方 酵素パックの効果と使用方法
第 8回	フェイシャルローラーの使い方 フェイシャル～デコルテまでマッサージ(首・肩・背中)
第 9回	18番ハリウッドマッサージ　拭き取り～スチームタオル
第10回	18番ハリウッドマッサージ　1～5 6～10
第11回	18番ハリウッドマッサージ　11～15 16～18
第12回	18番ハリウッドマッサージ　1～18
第13回	18番ハリウッドマッサージ　1～18
第14回	18番ハリウッドマッサージ　実技試験　25分間
第15回	脱毛ワックス技術　注意事項
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「美容実習」(日本理容美容教育センター)
ビューティモイスチャー・AXIAスキンローション・AXIAスキンミルク・ローションパッター・エタノール
マッサージクリーム・クレンジングクリーム・イルジャークリーム・バスタオル1枚・タオル1枚・手順プリント

担当者のプロフィール

小澤　英は、15年にわたる美容院での勤務・経営経験があり、美容関連の実務者として、
美容師の仕事の幅を拡げるエステティックについての技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	エステティック	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年前期
総合美容学科	講座名	エステⅡ	担当者	半藤径子	履修区分	必修

授業の概要と方法

スキンケア・マッサージの効果を体験する。相モデルで実習・試験を行う。
クラス単位での実習形式。

講義の達成目標

ハリウッドフェイシャルマッサージ技術の習得、スキンケア基礎・マッサージ理論の習得
ハリウッド化粧品についての知識の修得

授業の内容・計画

第 1回	エステティック技術理論 マッサージの効果と注意点
第 2回	準備物とマッサージ技術のステップ フェイスメイクのクレンジング法　ふきとり技術
第 3回	スチームタオル・ソフトチーフの使い方 マッサージと血管のつながり
第 4回	ハンドマッサージ 手のひらのマッサージツボ
第 5回	マッサージクリームののばし方 基本マッサージの順序
第 6回	口角と口周りのマッサージ、頬のマッサージ マッサージ後のケア
第 7回	蒸しタオルのかけ方 酵素パックの効果と使用方法
第 8回	フェイシャルローラーの使い方 フェイシャル～デコルテまでマッサージ(首・肩・背中)
第 9回	18番ハリウッドマッサージ　拭き取り～スチームタオル
第10回	18番ハリウッドマッサージ　1～5 6～10
第11回	18番ハリウッドマッサージ　11～15 16～18
第12回	18番ハリウッドマッサージ　1～18
第13回	18番ハリウッドマッサージ　1～18
第14回	18番ハリウッドマッサージ　実技試験　25分間
第15回	脱毛ワックス技術　注意事項
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

教科書　:「美容実習」(日本理容美容教育センター)
ビューティモイスチャー・AXIAスキンローション・AXIAスキンミルク・ローションパッター・エタノール
マッサージクリーム・クレンジングクリーム・イルジャークリーム・バスタオル1枚・タオル2枚・手順プリント

担当者のプロフィール

半藤径子は、3年間の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師の仕事の幅を拡げるエステティックについての技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	エステティック	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
総合美容学科	講座名	エステⅢ	担当者	中務 真澄	履修区分	選択

授業の概要と方法

スキンケア・マッサージの効果を体験する
相モデルで実習・試験を行う
2コマ連続の形で実施する。

講義の達成目標

ハリウッドフェイシャルマッサージ技術の習得
スキンケア基礎・マッサージ理論の習得　ハリウッド化粧品を学ぶ
ハリウッド国際エステティック検定5級習得を目標。

授業の内容・計画

第 1回	エステティック技術理論 マッサージの効果と注意点
第 2回	準備物とマッサージ技術のステップ フェイスメイクのクレンジング法　ふきとり技術
第 3回	スチームタオル・ソフトチーフの使い方 マッサージと血管のつながり
第 4回	ハンドマッサージ 手のひらのマッサージツボ
第 5回	マッサージクリームののばし方 基本マッサージの順序
第 6回	口角と口周りのマッサージ、頬のマッサージ マッサージ後のケア
第 7回	蒸しタオルのかけ方 酵素パックの効果と使用方法
第 8回	フェイシャルローラーの使い方 フェイシャル～デコルテまでマッサージ(首・肩・背中)
第 9回	18番ハリウッドマッサージ　拭き取り～スチームタオル
第10回	18番ハリウッドマッサージ　1～5 6～10
第11回	18番ハリウッドマッサージ　11～15 16～18
第12回	18番ハリウッドマッサージ　1～18
第13回	18番ハリウッドマッサージ　1～18
第14回	18番ハリウッドマッサージ　実技試験　25分間
第15回	脱毛ワックス技術　注意事項
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ハリウッドエステティック検定2級テキスト

担当者のプロフィール

中務真澄は、12年間にわたるエステティシャンとしての勤務経験があり、美容関連の実務者としての、美容師の仕事の幅を広げるエステティックについての技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	エステテック	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年後期
総合美容学科	講座名	応用エステⅠ	担当者	半藤径子	履修区分	選択

授業の概要と方法

美容室で行えるエステティック技術を習得する。
希望者による実習形式。

講義の達成目標

美容室での施術の合い間に複合的に行える技術を学ぶ

授業の内容・計画

第 1回	ガースンエステ
第 2回	ガースンエステ
第 3回	ガースンエステ
第 4回	ガースンエステ
第 5回	ワクスパック
第 6回	ワクスパック
第 7回	ハンドマッサージ
第 8回	3分間マッサージ
第 9回	3分間マッサージ
第10回	手のツボマッサージ
第11回	手のツボマッサージ
第12回	複合トリートメント
第13回	複合トリートメント
第14回	複合トリートメント
第15回	複合トリートメント
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

エステ教材　「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献 ：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

半藤径子は、3年間の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師の仕事の幅を拡げるエステティックについての技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	エステティック	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年前期
総合美容学科	講座名	応用エステⅡ	担当者	中務 真澄	履修区分	選択

授業の概要と方法

サロンで実践できるスキンケアの理論と方法、ハンドマッサージ技術、アロマセラピーの知識を学ぶ。

2コマ連続の形で実施する。

講義の達成目標

お客様の肌を見てスキンケアのアドバイスや簡単なトリートメントができるようになる。

授業の内容・計画

第 1回	エステティックに必要なスキンケアの知識(皮膚) 肌の見方(カウンセリング①)
第 2回	エステティックに必要なスキンケアの知識(肌トラブル) 肌の見方(カウンセリング②)
第 3回	カウンセリング実習
第 4回	カウンセリング実習
第 5回	カウンセリング実習
第 6回	エステティックに必要なスキンケアの知識(季節の肌トラブル) スキンケアトリートメント
第 7回	エステティックに必要なスキンケアの知識(季節の肌トラブル) スキンケアトリートメント
第 8回	エステティックに必要なスキンケアの知識(季節の肌トラブル) スキンケアトリートメント
第 9回	スキンケアトリートメント
第10回	スキンケアトリートメント
第11回	ハンドマッサージ
第12回	ハンドマッサージ アロマセラピー基礎理論
第13回	アロマセラピー基礎理論
第14回	スキンケア総合
第15回	スキンケア総合
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)

・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ハリウッドエステティック検定2級テキスト

担当者のプロフィール

中務真澄は、12年間にわたるエステティシャンとしての勤務経験があり、美容関連の実務者としての、美容師の仕事の幅を広げるエステティックについての技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	エステティック	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
総合美容学科	講座名	応用エステⅢ	担当者	半藤径子	履修区分	選択

授業の概要と方法

サロンで実践できるスキンケアの理論と方法、ハンドマッサージ技術、アロマセラピーの知識を学ぶ。
2コマ連続の形で実施する。

講義の達成目標

お客様の肌を見てスキンケアのアドバイスや簡単なトリートメントができるようになる。

授業の内容・計画

第 1回	エステティックに必要なスキンケアの知識(皮膚) 肌の見方(カウンセリング①)
第 2回	エステティックに必要なスキンケアの知識(肌トラブル) 肌の見方(カウンセリング②)
第 3回	カウンセリング実習
第 4回	カウンセリング実習
第 5回	カウンセリング実習
第 6回	エステティックに必要なスキンケアの知識(季節の肌トラブル) スキンケアトリートメント
第 7回	エステティックに必要なスキンケアの知識(季節の肌トラブル) スキンケアトリートメント
第 8回	エステティックに必要なスキンケアの知識(季節の肌トラブル) スキンケアトリートメント
第 9回	スキンケアトリートメント
第10回	スキンケアトリートメント
第11回	ハンドマッサージ
第12回	ハンドマッサージ アロマセラピー基礎理論
第13回	アロマセラピー基礎理論
第14回	スキンケア総合
第15回	スキンケア総合
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ハリウッドエステティック検定2級テキスト

担当者のプロフィール

半藤径子は、3年間の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師の仕事の幅を拡げるエステティックについての技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	ネイル	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年前期
総合美容学科	講座名	ネイルⅠ	担当者	岡崎　蘭	履修区分	必修

授業の概要と方法

ネイルケア・赤ポリッシュカラーリング・フラットアートを学び、JNECネイル検定3級に準じて72分間で仕上げるトレーニングを行う
クラス単位での実習形式。

講義の達成目標

JNECネイル検定5級合格

授業の内容・計画

第 1回	ネイル理論… ネイルの歴史、ネイル技術体系、爪の構造と働き、 ネイルのための皮膚科学、ネイルのための生理解剖学
第 2回	ネイル理論… 爪の病気とトラブル、消毒法、マッサージ理論、 ネイル用化粧品、色彩理論、ネイルカウンセリング
第 3回	ネイル理論… プロフェッショナリズム、サロン環境 ネイルケア… テーブルセッティング
第 4回	ネイルケア… プレマニキュア、手指消毒、ポリッシュオフ
第 5回	ネイルケア… ファイリング、プッシュアップ
第 6回	ネイルケア… キューティクルクリーン、ニッパー
第 7回	ネイルケア工程30分トレーニング
第 8回	ネイルカラーリング… 油分除去、 ポリッシュの塗布方法 ベースコート塗布方法、修正
第 9回	ネイルカラーリング… 赤ポリッシュ塗布方法、修正 トップコート塗布方法、修正
第10回	ネイルカラーリング工程30分トレーニング
第11回	ネイルカラーリング工程30分トレーニング
第12回	フラットアート… 絵の具の扱い方、ふでの動かし方、5分でトレーニング
第13回	全工程70分トレーニング
第14回	全工程70分テスト
第15回	全工程70分テスト ハンドマッサージ15分
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ネイル教材　　「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献　：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

岡崎蘭は、3年間の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、美容師の仕事の幅を拡げるネイルについての技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	ネイル	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年前期
総合美容学科	講座名	ネイルⅡ	担当者	岡崎　蘭	履修区分	選択

授業の概要と方法

サロンワークで通用するネイルケア・リペア・チップラップ・フラットアートに関する技能および知識を、実習形式で学ぶ。

講義の達成目標

JNECネイル検定2級合格を目ざす。

授業の内容・計画

第 1回	ネイルイクステンション(チップラップ)基礎知識 ネイルケア … テーブルセッティング、カウンセリング
第 2回	ネイルケア … プレマニキュア … 手指消毒、ポリッシュオフ
第 3回	ネイルケア … ファイリング … プッシュアップ
第 4回	ネイルケア … プッシュアップ … キューティクルクリーン、ニッパー
第 5回	ネイルケア … キューティクルクリーン、ニッパー イクステンション … チップラップ
第 6回	イクステンション … チップラップ
第 7回	ネイルケア … タイムトライアル 35分
第 8回	チップラップ … タイムトライアル 20分
第 9回	チップラップ … タイムトライアル 20分
第10回	フラットアート … テーマにそってデザインを考える … 5分 トレーニング
第11回	第一課題 35分 タイムトライアル 第二課題 55分 タイムトライアル
第12回	全工程 タイムトライアル
第13回	全工程 タイムトライアル
第14回	全工程 タイムトライアル
第15回	全工程 チェックテスト 全工程 テスト
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

教科書 ：「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献 ：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

岡崎蘭は、3年間の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、美容師の仕事の幅を拡げるネイルについての技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	ネイル	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
総合美容学科	講座名	ネイルⅢ	担当者	岡崎　蘭	履修区分	選択

授業の概要と方法

ジェルネイルを施術するために必要な基礎的知識と技術の修得。
プロとしてサロンワークに必要な専門知識と技術の修得。
2コマ続きの実習形式。

講義の達成目標

JNAジェルネイル検定初級、中級、上級　合格を目ざす。
ジェルネイルアート、フラットアートを学ぶ。

授業の内容・計画

第 1回	ジェルネイル概論　ジェルネイルの基礎知識 ジェルネイル　テイブルセッティング、ドライケア、プレパレーション
第 2回	ジェルネイル　ワンカラー、ジェルオフ技術
第 3回	ジェルアート　ピーコック ジェルネイル初級　タイムトライアル　60分
第 4回	ジェルネイル初級　テスト　60分 ジェルデザイン　カラーグラデーション、フレンチスタイル
第 5回	ジェルデザイン　カラーグラデーション、フレンチスタイル
第 6回	ジェルイクステンション　2～3ミリ　クリアイクステンション
第 7回	ジェルネイル中級　タイムトライアル　85分
第 8回	ジェルネイル中級　テスト　85分 ジェルイクステンション　クリアスカルプチュア5ミリ～10ミリ
第 9回	ジェルイクステンション　クリアスカルプチュア5ミリ～10ミリ ジェルイクステンション　フレンチスタイル
第10回	ジェルイクステンション　チップオーバーレイ ジェルイクステンション　チップオーバーレイ　デザインフラワー
第11回	ジェルネイル上級　タイムトライアル　85分
第12回	ジェルネイル上級　テスト　85分 ジェルネイルアート　①
第13回	ジェルネイルアート　② ジェルネイルアート　③
第14回	フラットアート① フラットアート②
第15回	フラットアート③ 作品制作　ネイルアート技術を用いたチップ製作
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

教科書　：「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献　：「日本理美容教育センター　美容技術理論教科書

担当者のプロフィール

岡崎蘭は、3年間の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、美容師の仕事の幅を拡げるネイルについての技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	ネイル	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年後期
総合美容学科	講座名	応用ネイルⅠ	担当者	曺　銀淑	履修区分	選択

授業の概要と方法

美容室で行えるネイル技術を習得する。
希望者による実習形式。

講義の達成目標

ネイル3級技術をベースに、お客様に不快感を与えない技術の習得を目指す。

授業の内容・計画

第 1回	ネイルケア
第 2回	ネイルケア
第 3回	ネイルケアカラー
第 4回	ネイルケアカラー
第 5回	ネイルトリートメント(ケアカラー、マッサージ)
第 6回	ネイルトリートメント(ケアカラー、マッサージ)
第 7回	ネイルトリートメント(ケアカラー、マッサージ)
第 8回	ネイルトリートメント(ケアカラー、マッサージ)
第 9回	自由制作
第10回	自由制作
第11回	自由制作
第12回	自由制作
第13回	ネイルトリートメント(ケアカラー、マッサージ、パック)
第14回	ネイルトリートメント(ケアカラー、マッサージ、パック)
第15回	ネイルトリートメント(ケアカラー、マッサージ、パック)
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

教科書　：「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献　：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

曺　銀淑は4年シュウ・ウエムラに勤務、美容師免許も取得し、ハリウッド大学院大学を修了している。
美容関連業務に14年携わり、実務者としてヘアメイク・コスメティックの技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	ネイル	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年前期
総合美容学科	講座名	応用ネイルⅡ	担当者	岡崎 蘭	履修区分	選択

授業の概要と方法

ネイルケアの基礎を習得し、カラーに関する知識を深める。
理論の理解から、デモンストレーションを経て施術を行う。
2コマ続きの実習形式で行う。

講義の達成目標

検定試験合格と、サロンワーク実践レベルの技術を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	検定概要 … ネイル理論、生理解剖学、色彩理論、用具
第 2回	検定概要 … ネイル理論、生理解剖学、色彩理論、用具
第 3回	ネイルケア … テーブルセッティング、ファイリング、削り、クリーンナップ
第 4回	ネイルケア … テーブルセッティング、ファイリング、削り、クリーンナップ
第 5回	ネイルケア … ネイルケア応用、カットスタイル別ファイリング
第 6回	ネイルケア … ネイルケア応用、カットスタイル別ファイリング
第 7回	イクステンション … チップ＆ラップ
第 8回	イクステンション … チップ＆ラップ
第 9回	ネイルアート … フラットアート デザインの応用例
第 10回	ネイルアート … フラットアート デザインの応用例
第 11回	ネイル2級検定試験のチェック
第 12回	タイムトライアル … ネイル2級 150分 タイムトライアル
第 13回	タイムトライアル … ネイル2級 150分 タイムトライアル
第 14回	タイムトライアル … ネイル2級 150分 タイムトライアル
第 15回	模擬試験ネイル2級検定模擬試験
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

タイムトライアルでの技術未到達者には、作品提出を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

JNAベーシックシステム、JNEC過去問題集
エメリーボード・ポリッシュ・キューティクルニッパー他

担当者のプロフィール

岡崎蘭は、3年間の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、
美容師の仕事の幅を拡げるネイルについての技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	ネイル	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
総合美容学科	講座名	応用ネイルⅢ	担当者	岡崎 蘭	履修区分	選択

授業の概要と方法

ネイル検定2級の力量をベースに、さらなる技術の向上をめざす。
2コマ続きの実習形式で行う。

講義の達成目標

SBSメイクアップアーティスト検定1級合格

授業の内容・計画

第 1回	検定概要の確認 … ネイル理論、生理解剖学、色彩理論、用具
第 2回	ネイルケア … テーブルセッティング、ファイリング、削り、クリーンナップ
第 3回	ネイルケア … ネイルケア応用、カットスタイル別ファイリング
第 4回	カラーリング … ネイルカラーリング応用
第 5回	リペア … グルーオンテクニック、ラップテクニック
第 6回	リペア … グルーオンテクニック、ラップテクニック
第 7回	イクステンション … チップ＆ラップ
第 8回	イクステンション … チップ＆ラップ
第 9回	チップラップ … チップ選び、装着、削り
第 10回	チップラップ … チップ選び、装着、削り
第 11回	ネイル1級検定試験のチェック
第 12回	タイムトライアル … ネイル1級 150分 タイムトライアル
第 13回	タイムトライアル … ネイル1級 150分 タイムトライアル
第 14回	タイムトライアル … ネイル1級 150分 タイムトライアル
第 15回	模擬試験ネイル1級検定模擬試験
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

各自で練習した場合には、チェックとアドバイスを行う。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

メイクアップアーティスト検定テキスト
メイクパレット・ブラシセット・ファンデーション他

担当者のプロフィール

岡崎蘭は、3年間の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、
美容師の仕事の幅を拡げるネイルについての技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	総合実習Ⅰ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	1年
総合美容学科	講座名	総合実習Ⅰ	担当者	杉本永恵	履修区分	必修

授業の概要と方法

国家試験に向けて試験課題を総合的に練習する。
クラス単位での実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

国家試験合格を目指す。

授業の内容・計画

第 1回	国家試験の流れと準備
第 2回	衛生チェックの流れと事前準備
第 3回	衛生チェックの流れと事前準備
第 4回	第一課題の流れと実践
第 5回	第一課題の流れと実践
第 6回	第一課題の流れと実践
第 7回	第一課題の流れと実践
第 8回	第一課題の流れと実践
第 9回	第一課題の流れと実践
第10回	第二課題の流れと実践
第11回	第二課題の流れと実践
第12回	第二課題の流れと実践
第13回	第二課題の流れと実践
第14回	第二課題の流れと実践
第15回	第二課題の流れと実践
第16回	国家試験対策

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント
参考文献 ： 「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

杉本永恵は、4年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師の国家試験合格に必要な知識及び技能を確かなものとする授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	総合実習Ⅱ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年前期
総合美容学科	講座名	総合実習Ⅱ－①	担当者	釣谷恵美	履修区分	必修

授業の概要と方法

国家試験に向けて試験課題を総合的に練習する。
クラス単位での実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

国家試験合格を目指す。

授業の内容・計画

第 1回	国家試験の流れと準備
第 2回	衛生チェックの流れと事前準備
第 3回	衛生チェックの流れと事前準備
第 4回	第一課題の流れと実践
第 5回	第一課題の流れと実践
第 6回	第一課題の流れと実践
第 7回	第一課題の流れと実践
第 8回	第一課題の流れと実践
第 9回	第二課題の流れと実践
第10回	第二課題の流れと実践
第11回	第二課題の流れと実践
第12回	第二課題の流れと実践
第13回	第二課題の流れと実践
第14回	国家試験対策
第15回	国家試験対策
第16回	国家試験対策

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント
参考文献 ：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

釣谷恵美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠な美容技術理論についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	総合実習Ⅱ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年前期
総合美容学科	講座名	総合実習Ⅱ－②	担当者	釣谷恵美	履修区分	必修

授業の概要と方法

国家試験に向けて試験課題を総合的に行う。
クラス単位での実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

国家試験合格を目指す。

授業の内容・計画

第 1回	第一課題の流れと実践
第 2回	第一課題の流れと実践
第 3回	第一課題の流れと実践
第 4回	第一課題の流れと実践
第 5回	第一課題の流れと実践
第 6回	第一課題の流れと実践
第 7回	第一課題の流れと実践
第 8回	第一課題の流れと実践
第 9回	第一課題の流れと実践
第10回	第一課題の流れと実践
第11回	第一課題の流れと実践
第12回	第一課題の流れと実践
第13回	第一課題の流れと実践
第14回	国家試験対策
第15回	国家試験対策
第16回	国家試験対策

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント
参考文献 ：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

釣谷恵美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠な美容技術理論についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	総合実習Ⅱ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
総合美容学科	講座名	総合実習Ⅱ－③	担当者	釣谷恵美	履修区分	必修

授業の概要と方法

国家試験に向けて試験課題を総合的に行う。
クラス単位での実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

国家試験合格を目指す。

授業の内容・計画

第 1回	第二課題の流れと実践
第 2回	第二課題の流れと実践
第 3回	第二課題の流れと実践
第 4回	第二課題の流れと実践
第 5回	第二課題の流れと実践
第 6回	第二課題の流れと実践
第 7回	第二課題の流れと実践
第 8回	第二課題の流れと実践
第 9回	第二課題の流れと実践
第10回	第二課題の流れと実践
第11回	第二課題の流れと実践
第12回	第二課題の流れと実践
第13回	国家試験対策
第14回	国家試験対策
第15回	国家試験対策
第16回	**国家試験対策**

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント
参考文献 ：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

釣谷恵美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、
美容師に不可欠な美容技術理論についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	総合実習Ⅱ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
総合美容学科	講座名	総合実習Ⅱ－④	担当者	釣谷恵美	履修区分	必修

授業の概要と方法

国家試験に向けて試験課題を総合的に行う。
クラス単位での実習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

国家試験合格を目指す。

授業の内容・計画

第 1回	第一課題の流れと実践
第 2回	第一課題の流れと実践
第 3回	第一課題の流れと実践
第 4回	第一課題の流れと実践
第 5回	第一課題の流れと実践
第 6回	第一課題の流れと実践
第 7回	第二課題の流れと実践
第 8回	第二課題の流れと実践
第 9回	第二課題の流れと実践
第10回	第二課題の流れと実践
第11回	第二課題の流れと実践
第12回	第二課題の流れと実践
第13回	国家試験対策
第14回	国家試験対策
第15回	国家試験対策
第16回	**国家試験対策**

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント
参考文献 ：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

釣谷恵美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠な美容技術理論についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	和装着付	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	1年
総合美容学科	講座名	和装着付基礎	担当者	藤原 るみ子	履修区分	選択

授業の概要と方法

和装着付に関する種類や礼装等の知識を身につけ、様々な体型に合う着付・帯結びを習得する。またサロン業務に影響する仕上がりまでの時間も視野に入れて行う。
希望者による演習形式。2コマ連続で実施する。

講義の達成目標

25分間で体型補整を施したうえ、基本となる着付を施術する。

授業の内容・計画

第 1回	着付実習理論 着物の種類と礼装
第 2回	各用具と名称 補正作り
第 3回	長襦袢のたたみ方・保管方法
第 4回	着物のたたみ方・保管方法
第 5回	足袋の着用 裾除け合わせ
第 6回	肌襦袢合わせと着用
第 7回	補正合わせ－ 作成したタオル・コットン・ガーゼ等を体型に合わせて使用
第 8回	長襦袢の着付－ 半衿の襟芯合わせ～衿抜き合わせ
第 9回	長襦袢の着付－ 胸紐結びと着丈調整、伊達締め結び
第10回	着物の着付－ 裾合わせ、腰紐結び、裾丈調整
第11回	着物の着付－ お端折合わせ、伊達締め結び
第12回	帯結び－ お太鼓結び、帯締め、帯揚げ
第13回	全体修正チェックの方法と箇所
第14回	着付相モデルタイム取り
第15回	着付実技模擬試験25分 和装着付コンテスト練習
第16回	**実技試験** **和装着付コンテスト**

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

着付教材　　「美容実習」(日本理容美容教育センター)
参考文献　：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

藤原るみ子は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師の仕事の幅を拡げる着付についての技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	舞台制作	単位・時間数	5単位・150時間	履修対象	1年後期
総合美容学科	講座名	舞台制作Ⅰ	担当者	ジェニー牛山	履修区分	選択

授業の概要と方法

トータルビューティ学習の集大成として、ヘア、メイク、ファッションの技術を総合的に用いて、舞台制作と発表を行う。

毎週10時間をかけて、1～4年合同での演習形式。

講義の達成目標

音響、照明、演出、出演を分担しながら、力を合わせて制作する。

演出家や教員・上級生からのアドバイスを受け止めて、スキルアップする。

授業の内容・計画

第 1週	Fashion & Beauty Show の目的、スケジュールの理解。グループ分け。
第 2週	候補作品の研究
第 3週	グループごとのテーマ、登場人物の決定
第 4週	グループごとの役割分担の決定
第 5週	時代、背景の考証
第 6週	舞台構成の研究
第 7週	音楽と衣裳の研究
第 8週	企画書の完成、発表
第 9週	ヘアー、メイク、衣裳の制作
第10週	ステージパフォーマンスの研究
第11週	ステージング
第12週	ヘアー、メイク、衣裳の修整
第13週	ステージパフォーマンスの修整
第14週	会場準備、リハーサル
第15週	本番、会場片付け

授業前の準備及び授業後の復習

・活動前の準備の指示及び必要に応じての資料配布

・活動後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント

担当者のプロフィール

ジェニー牛山は、10年間にわたる美容院勤務ののち、美容専門学校での実践を通して美容史や美容健康食の研究を深めてきた。美容関連の実務者としての観点から、知識を広げ、チームワークのたいせつさを体験することで、美容師としての資質を向上させる授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	舞台制作	単位・時間数	5単位・150時間	履修対象	2年後期
総合美容学科	講座名	舞台制作Ⅱ	担当者	ジェニー牛山	履修区分	選択

授業の概要と方法

トータルビューティ学習の集大成として、ヘア、メイク、ファッションの技術を総合的に用いて、舞台制作と発表を行う。
毎週10時間をかけて、1～4年合同での演習形式。

講義の達成目標

音響、照明、演出、出演を分担しながら、力を合わせて制作する。
演出家や教員と意見交換し、下級生の相談に乗りながら、スキルアップする。

授業の内容・計画

第 1週	Fashion & Beauty Show の目的、スケジュールの理解。グループ分け。
第 2週	候補作品の研究
第 3週	グループごとのテーマ、登場人物の決定
第 4週	グループごとの役割分担の決定
第 5週	時代、背景の考証
第 6週	舞台構成の研究
第 7週	音楽と衣裳の研究
第 8週	企画書の完成、発表
第 9週	ヘアー、メイク、衣裳の制作
第10週	ステージパフォーマンスの研究
第11週	ステージング
第12週	ヘアー、メイク、衣裳の修整
第13週	ステージパフォーマンスの修整
第14週	会場準備、リハーサル
第15週	本番、会場片付け

授業前の準備及び授業後の復習

・活動前の準備の指示及び必要に応じての資料配布
・活動後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント

担当者のプロフィール

ジェニー牛山は、10年間にわたる美容院勤務ののち、美容専門学校での実践を通して美容史や美容健康食の研究を深めてきた。美容関連の実務者としての観点から、知識を広げ、チームワークのたいせつさを体験することで、美容師としての資質を向上させる授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	社会人基礎	単位・時間数	3単位・90時間	履修対象	1年
総合美容学科	講座名	社会人基礎Ⅰ	担当者	佐藤 和彦	履修区分	選択

授業の概要と方法

有識者の講演、研修旅行、ダンスなどさまざまな機会をとらえて、社会人として必要とされる知識、コミュニケーション能力、健康維持の方法などを身につける。
1～4年合同で、講義も織り交ぜながら演習形式で行う。

講義の達成目標

日本文化の理解、コミュニケーション能力の開発、健康維持の方法の習得等さまざまな社会人として必要とされる知識・能力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	オリエンテーション
第 2回	礼法
第 3回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 4回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 5回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 6回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 7回	気功
第 8回	稲作(田植え…伝統文化の理解)
第 9回	校外学習(明治神宮散策…伝統文化の理解)
第10回	校外学習(明治神宮散策…伝統文化の理解)
第11回	講演会
第12回	講演会
第13回	就職説明会
第14回	就職説明会
第15回	ヒップホップ
第16回	いのちの学習・献血
第17回	講演会
第18回	講演会
第19回	ジャズダンス
第20回	稲作(刈り入れ…伝統文化の理解)
第21回	美術館見学
第22回	美術館見学
第23回	講演会
第24回	講演会
第25回	気功
第26回	いのちの学習・献血
第27回	救急救命士講座
第28回	救急救命士講座
第29回	まとめのレポート作成
第30回	まとめのレポート作成

授業前の準備及び授業後の復習

・必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント

担当者のプロフィール

佐藤和彦は、42年間にわたって都立高等学校に勤務し、若者の教育に携わってきた。
専門学校副校長としての立場から、美容師も含めた社会人として不可欠な規範意識、生命と健康をたいせつにする意識などを高め、広汎な知識を吸収できる授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	社会人基礎	単位・時間数	3単位・90時間	履修対象	2年
総合美容学科	講座名	社会人基礎Ⅱ	担当者	佐藤 和彦	履修区分	選択

授業の概要と方法

有識者の講演、研修旅行、ダンスなどさまざまな機会をとらえて、社会人として必要とされる知識、コミュニケーション能力、健康維持の方法などを身につける。

1～4年合同で、講義も織り交ぜながら演習形式で行う。

講義の達成目標

日本文化の理解、コミュニケーション能力の開発、健康維持の方法の習得等さまざまな社会人として必要とされる知識・能力を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	オリエンテーション
第 2回	礼法
第 3回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 4回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 5回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 6回	校外研修(清里高原…アクティブラーニング、連帯感の醸成)
第 7回	気功
第 8回	稲作(田植え…伝統文化の理解)
第 9回	校外学習(明治神宮散策…伝統文化の理解)
第10回	校外学習(明治神宮散策…伝統文化の理解)
第11回	講演会
第12回	講演会
第13回	就職説明会
第14回	就職説明会
第15回	ヒップホップ
第16回	いのちの学習・献血
第17回	講演会
第18回	講演会
第19回	ジャズダンス
第20回	稲作(刈り入れ…伝統文化の理解)
第21回	美術館見学
第22回	美術館見学
第23回	講演会
第24回	講演会
第25回	気功
第26回	いのちの学習・献血
第27回	救急救命士講座
第28回	救急救命士講座
第29回	まとめのレポート作成
第30回	まとめのレポート作成

授業前の準備及び授業後の復習

・必要に応じての資料配布

・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント

担当者のプロフィール

佐藤和彦は、42年間にわたって都立高等学校に勤務し、若者の教育に携わってきた。
専門学校副校長としての立場から、美容師も含めた社会人として不可欠な規範意識、生命と健康をたいせつにする意識などを高め、広汎な知識を吸収できる授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	接遇マナー	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年
総合美容学科	講座名	接遇マナー	担当者	眞野聖子	履修区分	選択

授業の概要と方法

サロン業務と同様の時間をかけて、接客とサロン業務を総合的に学ぶ。
希望者による演習形式。

講義の達成目標

サロン業務と接客を経験することで、就職した際にスムーズに業務を行えるようにする。

授業の内容・計画

第 1回	サロン業務とは サロンの1日の流れ
第 2回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第 3回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第 4回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第 5回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第 6回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第 7回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第 8回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第 9回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第10回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第11回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第12回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第13回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第14回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第15回	サロン業務－ 朝礼、準備、接客、片付け、終礼
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

配付プリント

担当者のプロフィール

眞野聖子は、航空会社勤務の間に社内教育を担当し、対人関連の実務者として、
美容師に不可欠な接客についての技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	容姿美学	単位・時間数	2単位・30時間	履修対象	1年通年
総合美容学科	講座名	容姿美学	担当者	兵藤洋子	履修区分	必修

授業の概要と方法

各回のテーマに沿った講義を行い、レポートの提出を求める。

講義の達成目標

トータルビューティ容姿美学で心身ともに美しく輝き、国際的に活躍できる魅力的なビジネス人材をめざす。

授業の内容・計画

第 1回	3大排泄美容
第 2回	4つの肌タイプ
第 3回	皮膚の構造
第 4回	日焼け対策
	化粧品説明
第 5回	季節の肌のお手入れ法
第 6回	美しさ
	きれいさ
第 7回	ヘアスタイリング
第 8回	メイクアップ
	ネイルケア
第 9回	エステティック
	婚礼
第 10回	化粧品
	理美容化粧品産業
第 11回	理容師
	美容師
第 12回	化粧品
	ビューティアドバイザー
第 13回	ヘアデザイナー
	メイクアップアーティスト
第 14回	ネイリスト
	エステティシャン
第 15回	コスメティシャン
	トータルビューティ

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

参考資料を配布

担当者プロフィール

兵藤洋子は、美容院や化粧品会社において15年間にわたる勤務経験があり、化粧品販売の実務者としての観点から、美容業に不可欠な化粧品および美容関連の仕事についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	服飾美学	単位・時間数	1単位・15時間	履修対象	1年前期
総合美容学科	講座名	服飾美学	担当者	ジェニー牛山	履修区分	必修

授業の概要と方法

各回のテーマに沿った講義を行い、レポートの提出を求める。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

トータルビューティ服飾美学で装いの真価を学び、国際的に活躍できる魅力的な
ビジネス人材をめざす。

授業の内容・計画

第 1回	美しさ おしゃれ
第 2回	服装 装飾
第 3回	スタイル ファッション産業
第 4回	ファッションスタイリスト ファッションアドバイザー
第 5回	ファッションデザイナー ファッションモデル
第 6回	着付 装飾具、アクセサリー
第 7回	カバン 履物
第 8回	着付師 ファッション&ビューティ経営類型
第 9回	オートクチュールとプレタポルテ オーダーメイドとレディメイド
第10回	カラーコーディネイト ビジュアルセラピー
第11回	西洋と日本のファッション史 美容文化史から見る女性のファッション
第12回	美容文化史～時代のファッションリーダー事例1～ 美容文化史～時代のファッションリーダー事例2～
第13回	美容文化史～時代のファッションリーダー事例3～ 服飾史
第14回	トータルビューティから見る服飾美 成果発表～ファッション&ビューティショー～
第15回	成果発表～ファッション&ビューティショー～

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

参考資料を配布

担当者プロフィール

ジェニー山中は、美容院において勤務ののち、ハリウッド美容専門学校校長として活躍する傍ら、美容健康食と美容文化の研究を続けてきた。美容関連の実務者としての観点から、美容業に不可欠な服飾美についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	生活美学	単位・時間数	1単位・15時間	履修対象	1年後期
総合美容学科	講座名	生活美学	担当者	玉利かおる	履修区分	必修

授業の概要と方法

各回のテーマに沿った講義を行い、レポートの提出を求める。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

トータルビューティ生活美学で自他ともに明るく楽しき生きる術を身につけ、国際的に活躍できる魅力的なビジネス人材をめざす。

授業の内容・計画

第 1回	楽しみ 生きがい
第 2回	生き方 マナー
第 3回	躾 習慣
第 4回	芸術 家庭
第 5回	ライフスタイル産業 ライフスタイリスト
第 6回	芸術家 芸能人
第 7回	インテリアデザイナー テーブルコーディネーター
第 8回	人生観 旅行
第 9回	芸術鑑賞 友人
第10回	住宅 ガーデン
第11回	ビューティライフ ホスピタリティマナー
第12回	おもてなしの心 生命の四季
第13回	生命の四季の美容 生命のサイクル
第14回	五感のトータルヒーリング メンタルセラピー
第15回	アロマセラピー ビューティセラピー

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

参考資料を配布

担当者プロフィール

玉利かおるは、テレビ局アナウンサーとしての13年間にわたる勤務経験があり、コミュニケーション関連の実務者としての観点から、美容業に不可欠なホスピタリティについての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	環境美学	単位・時間数	1単位・15時間	履修対象	1年前期
総合美容学科	講座名	環境美学	担当者	川島鋼太郎	履修区分	必修

授業の概要と方法

各回のテーマに沿った講義を行い、レポートの提出を求める。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

トータルビューティ環境美学で人の暮らしのベースを理解し、国際的に活躍できる魅力的なビジネス人材をめざす。

授業の内容・計画

第 1回	自然と人間
第 2回	社会と地域
第 3回	市街地・郊外
第 4回	観光 六本木ヒルズ
第 5回	environment 環境産業
第 6回	環境デザイナー 建築デザイナー
第 7回	生活環境 都市計画
第 8回	社会環境 観光施設
第 9回	自然環境 田植え
第10回	脱穀 自然食
第11回	自然療法 日本の風土
第12回	五感利用療法～音楽療法～ 五感利用療法～芸術療法～
第13回	五感利用療法～イメージ療法～ 明治神宮を知る～敬う心～
第14回	明治神宮参拝 社会の変化と環境
第15回	美容文化研究 環境教育

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

参考資料を配布

担当者プロフィール

川島鋼太郎は、商事会社における勤務経験があり、国際関係の実務者としての観点から、美容業に不可欠な国際感覚・生活環境についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	美容実習	単位・時間数	2単位・30時間	履修対象	1年前期
総合美容学科	講座名	美容実習①	担当者	兵藤洋子	履修区分	必修

授業の概要と方法

美容の技術を順次経験し、理解を深める。
2コマ続きの実習形式。

講義の達成目標

美容の基礎を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	シャンプーイング1
第 2回	シャンプーイング3
第 3回	ヘアカッティング1
第 4回	ヘアカッティング3
第 5回	パーマネントウエービング1
第 6回	パーマネントウエービング3
第 7回	ヘアセッティング1
第 8回	ヘアセッティング3
第 9回	ヘアカラーリング1
第10回	ヘアカラーリング3
第11回	メイクアップ1
第12回	メイクアップ3
第13回	ネイル技術2
第14回	エステティック2
第15回	着付技術1
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

必要に応じて、参考資料を配布する。

担当者プロフィール

兵藤洋子は、美容院や化粧品会社において15年間にわたる勤務経験があり、化粧品販売の実務者としての観点から、美容師として不可欠なさまざまな技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	美容実習	単位・時間数	2単位・30時間	履修対象	1年前期
総合美容学科	講座名	美容実習②	担当者	曺 銀淑	履修区分	必修

授業の概要と方法

美容の技術を順次経験し、理解を深める。
2コマ続きの実習形式。

講義の達成目標

美容の基礎を身につける。

授業の内容・計画

第 1回	シャンプーイング2
第 2回	シャンプーイング4
第 3回	ヘアカッティング2
第 4回	ヘアカッティング4
第 5回	パーマネントウエービング2
第 6回	パーマネントウエービング4
第 7回	ヘアセッティング2
第 8回	ヘアセッティング4
第 9回	ヘアカラーリング2
第10回	ヘアカラーリング4
第11回	メイクアップ2
第12回	ネイル技術1
第13回	エステティック1
第14回	エステティック3
第15回	着付技術2

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

必要に応じて、参考資料を配布する。

担当者プロフィール

曺　銀淑は4年シュウ・ウエムラに勤務、美容師免許も取得し、ハリウッド大学院大学を修了している。
美容関連業務に14年携わり、実務者としてヘアメイク・コスメティックの技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	ヘアメイク	単位・時間数	1単位・15時間	履修対象	1年後期
総合美容学科	講座名	ヘア基礎	担当者	曺　銀淑	履修区分	選択

授業の概要と方法

実習により、各種機器を用いて様々なヘアスタイルをマスターする。

講義の達成目標

まとめ髪等の基本を理解する。
様々なヘアアレンジ等を施すことができるようになる。

授業の内容・計画

第 1回	一束まとめ実習 ヘアアレンジ復習
第 2回	シニヨン、おだんご リクルート風ヘア実習、試験
第 3回	リクルート風ヘア実習、試験 ホットカーラー
第 4回	ホットカーラー(下巻) 三つ編み
第 5回	ホットカーラー(上巻、下巻) ヘアアレンジ(団子)
第 6回	ヘアアレンジ
第 7回	ホットカーラー　スタイリング
第 8回	浴衣に合うスタイリング実習、テスト
第 9回	ヘアアイロン
第10回	ヘアアイロン ヘアアイロン「フォワード巻」
第11回	ヘアアイロン「フォワード巻」
第12回	カールアイロン「リバース巻」 三つ編み、編みこみアレンジ
第13回	三つ編み、編みこみアレンジ カールアイロン「MIX]巻
第14回	カールアイロン「MIX]巻 おだんごのまとめ
第15回	表編みこみ 裏編みこみ

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ヘア教材、および必要に応じて、参考資料を配布する。

担当者プロフィール

曺　銀淑は4年シュウ・ウエムラに勤務、美容師免許も取得し、ハリウッド大学院大学を修了している。
美容関連業務に14年携わり、実務者としてヘアメイク・コスメティックの技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	メイクアップ	単位・時間数	2単位・30時間	履修対象	1年前期
総合美容学科	講座名	メイク総合①	担当者	兵藤 洋子	履修区分	選択

授業の概要と方法

メイクアップの意義に関する講義を交えながら、デモンストレーション後に各自で実習に取り組む。2コマ続きの実習形式。

講義の達成目標

メイクアップの基本的技術を習得する。

授業の内容・計画

第 1回	メイクアップの基本(メイクアップの順序、フェイスプロポーション、顔の名称、顔の陰影)
	〃
第 2回	〃 ベースメイクアップの理解と実習
第 3回	ベースメイクアップの理解と実習 ①ファンデーション ②おしろい
	〃
第 4回	〃
第 5回	ポイントメイクアップの理論と実習 ポイントメイクアップの理論と実習 アイシャドー、アイライナー、マスカラ、アイブロウ
第 6回	〃
第 7回	〃
第 8回	仕上げ ①ほほ紅 ②フェイスパウダー ③メイクの仕上がりチェック 仕上げ 実習 ①ほほ紅 ②フェイスパウダー ③メイクの仕上がりチェック
第 9回	〃 メイクアップ ナチュラルメイクテスト
第10回	肌性別・トラブル別メイクアップ 脂っぽい肌、ニキビあと、シミ
	〃
第11回	〃 色彩(カラー知識)
第12回	〃
第13回	メイクアップとの関わりのヘアスタイルとファッション 卒業制作企画(メイク、ヘア、衣装、ウォーキング)
第14回	〃
第15回	〃

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ハリウッド独自のプロ仕様メイク教材使用 メイクパレット
ハリウッド化粧品のファンデーション、メイクアップベース(プリント配布)

担当者プロフィール

兵藤洋子は、美容院や化粧品会社において15年間にわたる勤務経験があり、化粧品販売の実務者としての観点から、美容師として不可欠なさまざまな技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	メイクアップ	単位・時間数	1単位・15時間	履修対象	1年後期
総合美容学科	講座名	メイク総合②	担当者	兵藤 洋子	履修区分	選択

授業の概要と方法

メイクアップの意義に関する講義を交えながら、デモンストレーション後に各自で実習に取り組む。メイク①の復習。

講義の達成目標

メイクアップの基本的技術を習得する。

授業の内容・計画

第 1回	メイクアップの基本(メイクアップの順序、フェイスプロポーション、顔の名称、顔の陰影)
	〃
第 2回	〃 ベースメイクアップの理解と実習
第 3回	ベースメイクアップの理解と実習 ①ファンデーション ②おしろい
	〃
第 4回	〃
第 5回	ポイントメイクアップの理論と実習 ポイントメイクアップの理論と実習 アイシャドー、アイライナー、マスカラ、アイブロウ
第 6回	〃
第 7回	〃
第 8回	仕上げ ①ほほ紅 ②フェイスパウダー ③メイクの仕上がりチェック 仕上げ 実習 ①ほほ紅 ②フェイスパウダー ③メイクの仕上がりチェック
第 9回	〃 メイクアップ ナチュラルメイクテスト
第10回	肌性別・トラブル別メイクアップ 脂っぽい肌、ニキビあと、シミ
	〃
第11回	〃 色彩(カラー知識)
第12回	〃
第13回	メイクアップとの関わりのヘアスタイルとファッション 卒業制作準備(メイク、ヘア、衣装、ウォーキング)
第14回	〃
第15回	〃 卒業制作発表会
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ハリウッド独自のプロ仕様メイク教材使用 メイクパレット
ハリウッド化粧品のファンデーション、メイクアップベース(プリント配布)

担当者プロフィール

兵藤洋子は、美容院や化粧品会社において15年間にわたる勤務経験があり、化粧品販売の実務者としての観点から、美容師として不可欠なさまざまな技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	スキンケア	単位・時間数	2単位・30時間	履修対象	1年前期
総合美容学科	講座名	スキンケア①	担当者	兵藤 洋子	履修区分	選択

授業の概要と方法

デモンストレーション後、各自が同様に実習する手つき・順番を個別に指導する。
2コマ続きの実習形式。

講義の達成目標

メイ・ウシヤマ先生の三大排泄美容論に基づき肌を美しくする技術を習得する。
実技を主体に「セルフエステで自分の肌を美しく」を会得すれば、内部進学も可能。

授業の内容・計画

第 1回	スチームタオルの作り方、ハンドマッサージ
第 2回	ハンドマッサージ
第 3回	18番マッサージ
第 4回	18番マッサージ
第 5回	18番マッサージ 18番マッサージのテスト
第 6回	ハンドマッサージ
第 7回	酵素パック美容
第 8回	酵素パック美容 ハンドマッサージ
第 9回	ハンドマッサージ 18番マッサージ
第10回	18番マッサージ
第11回	スキンケア
第12回	スキンケア
第13回	セルフエステ
第14回	セルフエステ 首・デコルテマッサージ
第15回	首・デコルテマッサージ スキンケアのテスト

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ハリウッド化粧品、オオセラインローション、ミルク、クレンジングクリーム、洗顔料、酵素パック

担当者プロフィール

兵藤洋子は、美容院や化粧品会社において15年間にわたる勤務経験があり、化粧品販売の実務者としての観点から、美容師として不可欠なさまざまな技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	スキンケア	単位・時間数	1単位・15時間	履修対象	1年後期
総合美容学科	講座名	スキンケア②	担当者	兵藤 洋子	履修区分	選択

授業の概要と方法

デモンストレーション後、各自が同様に実習する手つき・順番を個別に指導する。
スキンケア①の復習。

講義の達成目標

メイ・ウシヤマ先生の三大排泄美容論に基づき肌を美しくする技術を習得する。
実技を主体に「セルフエステで自分の肌を美しく」を会得すれば、内部進学も可能。

授業の内容・計画

第 1回	スチームタオルの作り方、ハンドマッサージ
第 2回	ハンドマッサージ
第 3回	18番マッサージ
第 4回	18番マッサージ
第 5回	18番マッサージ 18番マッサージのテスト
第 6回	ハンドマッサージ
第 7回	酵素パック美容
第 8回	酵素パック美容 ハンドマッサージ
第 9回	ハンドマッサージ 18番マッサージ
第10回	18番マッサージ
第11回	スキンケア
第12回	スキンケア
第13回	セルフエステ
第14回	セルフエステ 首・デコルテマッサージ
第15回	首・デコルテマッサージ スキンケアのテスト
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ハリウッド化粧品、オオセラインローション、ミルク、クレンジングクリーム、洗顔料、酵素パック

担当者プロフィール

兵藤洋子は、美容院や化粧品会社において15年間にわたる勤務経験があり、化粧品販売の実務者としての観点から、美容師として不可欠なさまざまな技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	ネイル	単位・時間数	2単位・30時間	履修対象	1年前期
総合美容学科	講座名	ネイル総合①	担当者	曺　銀淑	履修区分	選択

授業の概要と方法

ネイルのケアカラーからポリッシュの塗り方およびアートの描き方を学ぶ。
2コマ続きの実習形式。

講義の達成目標

授業内容を理解し、それを通して時間内に作品を仕上げ、ベーシックな技術をしっかり身につける。

授業の内容・計画

第 1回	ネイルとは(ネイルの資格について)
第 2回	ネイルの構造(正面図)
第 3回	ネイルの構造(断面図)
第 4回	学科テスト(正面図、断面図) 道具の使い方、セッティングの説明
第 5回	爪の形と特徴について　説明 爪の形と特徴について　復習
第 6回	爪の形と特徴について　テスト ネイルケア手順説明
第 7回	スクエアオフ　型を削る練習 ラウンド　型を削る練習
第 8回	赤ポリッシュ塗布練習(ペーパー)
第 9回	ネイルの型を整える練習 ネイル学科(ベース、カラー、トップの役割)
第10回	赤ポリッシュ塗布練習(自爪) 爪甲の型、5つの型の特徴、ポリッシュの特徴、ベース・トップの役割　復習
第11回	セルフケア、赤ポリッシュ塗布 アート(筆の使い方)、ドット練習
第12回	ネイルデザイン(ドットアートをアレンジしたデザイン) ネイルアート(ヒョウ柄)実習
第13回	ネイルアート(ヒョウ柄をアレンジしたデザイン)
第14回	ネイルアート(リボンの描き方)
第15回	ネイルアート(フレンチネイルアートの描き方) ネイル総合テスト
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ネイル教材

担当者プロフィール

曺　銀淑は4年シュウ・ウエムラに勤務、美容師免許も取得し、ハリウッド大学院大学を修了している。
美容関連業務に14年携わり、実務者としてヘアメイク・コスメティックの技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	ネイル	単位・時間数	2単位・30時間	履修対象	1年後期
総合美容学科	講座名	ネイル総合②	担当者	曺　銀淑	履修区分	選択

授業の概要と方法

ネイルのケアカラーからポリッシュの塗り方およびアートの描き方を学ぶ。
ネイル①の復習。

講義の達成目標

授業内容を理解し、それを通して時間内に作品を仕上げ、ベーシックな技術をしっかり身につける。

授業の内容・計画

第 1回	ネイルの構造(正面図)
第 2回	ネイルの構造(断面図)
第 3回	道具の使い方、セッティングの確認
第 4回	爪の形と特徴について　復習 爪の形と特徴について　テスト
第 5回	ネイルケア手順の確認
第 6回	スクエアオフ　型を削る　復習
第 7回	ラウンド　型を削る　復習
第 8回	赤ポリッシュ塗布　復習
第 9回	ネイル学科(ベース、カラー、トップの役割)　復習
第10回	爪甲の型、5つの型の特徴、ポリッシュの特徴、ベース・トップの役割　復習
第11回	アート(筆の使い方)、ドット　復習練習
第12回	ネイルデザイン(ドットアートをアレンジしたデザイン) ネイルアート(ヒョウ柄をアレンジしたデザイン)
第13回	ネイルアート(リボンの描き方) ネイルアート(フレンチネイルアートの描き方)
第14回	ネイルアート(ハロウィーンネイル)製作
第15回	ネイル総合テスト
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ネイル教材

担当者プロフィール

曺　銀淑は4年シュウ・ウエムラに勤務、美容師免許も取得し、ハリウッド大学院大学を修了している。
美容関連業務に14年携わり、実務者としてヘアメイク・コスメティックの技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	総合美容芸術	単位・時間数	5単位・75時間	履修対象	1年前期
総合美容学科	講座名	総合美容芸術	担当者	玉利かおる	履修区分	選択

授業の概要と方法

各種イベントを学生同士の協力のもと企画・実施して、チームワークの必要性を学び、自己の可能性を広げることで、美容業界人としての自覚を育む。4コマ続きの実習形式。

講義の達成目標

さまざまな形で自己表現を試みることで、自己の発見や他者への理解を深める。

授業の内容・計画

第 1回	校内コンテスト
第 2回	ウォーキング1 パフォーマンス1
第 3回	トータルビューティコンテスト
第 4回	ダンス1 ヘア、メイク、ネイル1
第 5回	ウォーキング2 パフォーマンス2
第 6回	ダンス2 ヘア、メイク、ネイル2
第 7回	ウォーキング3 パフォーマンス3
第 8回	ネイルエキスポ
第 9回	ダンス3 ヘア、メイク、ネイル3
第10回	ウォーキング4 パフォーマンス4
第11回	ダンス4 ヘア、メイク、ネイル4
第12回	ビューティショーリハーサル
第13回	ビューティショー本番
第14回	卒業制作
第15回	卒業制作

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

必要に応じて、参考資料を配布する。

担当者プロフィール

玉利かおるは、テレビ局アナウンサーとしての13年間にわたる勤務経験があり、パフォーマンス関連の実務者としての観点から、美容業の展開に役立つ美的感覚の養成や自己表現のしかたへの理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	マナー	単位・時間数	2単位・30時間	履修対象	1年後期
総合美容学科	講座名	マナー	担当者	眞野聖子	履修区分	選択

授業の概要と方法

各回のテーマに沿った講義を行い、レポートの提出を求める。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

ビューティビジネスに必要なマナーを磨き、国際的に活躍できる魅力的な社会人をめざす。

授業の内容・計画

第 1回	生活マナー
第 2回	言葉のマナー
第 3回	クレームへの対応
第 4回	社会人としての言葉遣い
第 5回	文章のマナー
第 6回	手紙のマナー
第 7回	メールのマナー
第 8回	席次のマナー
第 9回	日本の冠婚葬祭のマナー①
第 10回	日本の冠婚葬祭のマナー②
第 11回	接客マナー①
第 12回	接客マナー②
第 13回	日本の祝日・祭日
第 14回	日本の四季
第 15回	和食

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

参考資料を配布

担当者プロフィール

眞野聖子は、航空会社勤務の間に社内教育を担当し、対人関連の実務者として、
美容師に不可欠な接客についての技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	日本語理解	単位・時間数	2単位・30時間	履修対象	1年前期
総合美容学科	講座名	美容日本語	担当者	曺　銀淑	履修区分	選択

授業の概要と方法

ヘアー、メイク、スキンケアに関連する専門用語（日本語）を学び、1年間で美容専門用語の基礎を徹底して学ぶことにより、2年制への編入につながるカリキュラムである。

講義の達成目標

美容技術の授業内容を十分理解できるように、専門用語の意味と使い方理解する。

授業の内容・計画

第 1回	メイクの小道具の名前
第 2回	顔の名称
第 3回	ブラシ類、顔の名称　復習
第 4回	ブラシ類、顔の名称　テスト
第 5回	メイクの専門用語
第 6回	〃
第 7回	メイクの専門用語　復習
第 8回	スキンケアに関連する美容用語（スキンケア用品）
第 9回	〃
第10回	〃
第11回	スキンケアに関連する美容用語　復習
第12回	〃
第13回	美容専門用語テスト対策
第14回	〃
第15回	確認テスト
第16回	スキンケア（手荒れ）肌について
第17回	〃
第18回	〃
第19回	メイクに関連する美容用語
第20回	〃
第21回	美容用語（漢字）の読み方、意味について説明
第22回	〃
第23回	メイクに関連する美容用語（事前準備について）
第24回	〃
第25回	美容技術（ヘア）に関連する用語
第26回	ヘア（道具についての名称、使い方、アップスタイルの関連用語）
第27回	〃
第28回	ヘアに関連する美容用語　復習
第29回	確認テスト対策
第30回	確認テスト

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

メイク、スキンケア、ヘアの各テキスト

担当者プロフィール

曺　銀淑は4年シュウ・ウエムラに勤務、美容師免許も取得し、ハリウッド大学院大学を修了している。
美容関連業務に14年携わり、実務者としてヘアメイク・コスメティックの技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	日本語理解	単位・時間数	2単位・30時間	履修対象	1年前期
総合美容学科	講座名	日本語演習	担当者	本多　浩一	履修区分	選択

授業の概要と方法

日本語の特徴について再確認し、場面にふさわしい話し方を身につける。
講義と実践を組み合わせた体験型の学習方法で行う。

講義の達成目標

職場において自らの意思を間違いなく伝えることができて、お客様に対しては失礼のない応対が可能となるスキルを身につける。

授業の内容・計画

第 1回	日本語の発音・発声練習
第 2回	日本語の表記
第 3回	日本語の構成
第 4回	日本語での会話
第 5回	まちがいやすい日本語表現
第 6回	しきたりと日本文化(1)
第 7回	しきたりと日本文化(2)
第 8回	場面演習(1)
第 9回	職場でのマナーを考える　①表情・声　②身だしなみ ③人間関係とコミュニケーション　④動作
第 10回	仕事の場面での敬語　①敬語の種類と使い方
第 11回	仕事の場面での敬語　②敬語とクッション言葉 ③クッション言葉の実践
第 12回	場面演習(2)
第 13回	電話を受ける　①基本の言葉づかい　②電話の内容をメモに
第 14回	場面演習(3)
第 15回	ビジネス文書　①メール ②レター ③往復ハガキ
第 16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

毎時、パワーポイント対応のプリントを使用する。

担当者プロフィール

本多浩一は、40年にわたり都立高等学校で教育に携わり、その指導経験を活かして、美容業に不可欠なコミュニケーション能力についての理解を深める授業を展開する。